TEPRA PRO

ラベルソフト SRCD1
取扱説明書

Win・セットアップ

Win・SPC3

Win・SPC9

Win・SDM9

Mac・SMA3

KING JIM

はじめに

このたびは、「テプラ」PROをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ラベルソフトには、パソコンでラベルを作成する「シンプルラベルソフト SPC3」(Windows用)、「PCラベルシステム SPC9」(Windows用)、「シンプルラベルソフト SMA3」(Mac OS X用)、および「テプラ」PRO本体のデータをパソコンにバックアップする「DATAメモリーシステム SDM9」(Windows用)が含まれています。これらラベルソフトをお使いいただく際は、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

ラベルソフトを本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。

- 本製品の使用を原因とする損害·逸失利益などにつきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は、「シンプルラベルソフト SPC3」、「PCラベルシステムSPC9」、「DATA メモリーシステム SDM9」、および「シンプルラベルソフト SMA3」について書かれています。対応する「テプラ」PRO本体の機能や操作およびテープカートリッジの使いかたについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本書は、基本ソフト日本語Windows 7/Vista/XPまたはMac OS X 10.6 Snow Leopard/10.5 Leopard/10.4 Tigerのいずれかがコンピュータにセットアップされていること、またそれらのコンピュータを使用するうえでの基本的な用語や操作について、既に理解されていることを前提に書かれています。用語や基本操作などについての不明な点は、ご使用いただいているコンピュータやOSのマニュアルなどをご覧ください。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書はラベルソフト完成前に印刷されるため、一部仕様と異なる箇所が存在する可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、KING JIM、「テプラ」、「テプラ」PRO、Pテープマークはいずれも株式会社キングジムの登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Apple、Mac、Mac OSは米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
IntelおよびIntelロゴはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
ソフトウェア使用許諾契約書につきましては、インストール時にご確認ください。

◉安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
ご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

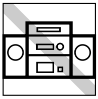
● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

⚠ ⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⃠ ⃠ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠注意

⃠ このディスクはパーソナルコンピュータ用の「CD-ROM」です。一般オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音量により障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。



⚠ 長時間の使用による目などの疲労に注意しましょう。

「テプラ」で得られるラベルについて

⚠ 塩化ビニールのように可塑剤入り材料などの被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や被着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書の使いかた

本書は次の表記で記述します。

メニュー、コマンド、ダイアログボックスについて

【 表 記 】	【 説 明 】
［ファイル］	メニュー名は［ ］で囲みます。
［ファイル］－［開く］	コマンド名はメニュー名のあとに［ ］で囲みます。 続けておこなう操作は［ ］－［ ］と表示します。
［キャンセル］	ボタン名は［ ］で囲みます。
［定型］	タブ名は［ ］で囲みます。
「用紙の置き方」	項目名は「 」で囲みます。

マウスの操作について

【 表 記 】	【 説 明 】
ポイント	マウスカーソルを目的の位置に合わせる操作です。
クリック	マウスの左ボタンを1回押す操作です。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを続けて2回クリックする操作です。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離す操作です。
右クリック	マウスの右ボタンを1回押す操作です。 ※Macには右ボタンのないマウスもあります。

その他

【 表 記 】	【 説 明 】
❶ ❷	操作手順を示しています。
＜Shift＞	パソコンのキーボードのキーを示しています。
参照	関連する事項の参照ページを案内します。必要に応じて参照先をお読みください。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

本文中で使用している画面は、日本語Windows Vista、Mac OS X 10.5の画面を例に説明しています。お使いのパソコンの設定によっては画面のサイズや一部のデザインが異なる場合があります。

ラベルソフトの紹介

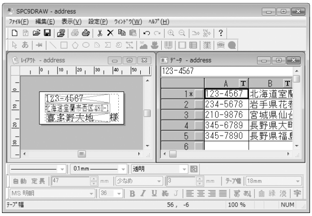
ラベルソフトには、以下の4種類のソフトウェアが含まれています。

■「シンプルラベルソフト SPC3」(Windows用)

簡単なラベル編集ソフトです。
初めて「テプラ」PROをパソコン接続でお使いになる方に、お勧めです。

- 「テプラ」のラベル編集がパソコンでできる！
- 機能を絞った簡単操作！
- 「アドレス」「メディア」用など便利な「デザインフォーム」！
- イメージファイルも盛りだくさん！

■「PCラベルシステム SPC9」(Windows用)



機能豊富なラベル編集ソフトです。
画像やイラストを自由に配置するなどレイアウトに凝ったラベル編集ができます。

- XLS/XLSX/CSV形式データが利用できる「流し込み印刷」！
- 「定型外国語」で「日本語・英語・中国語・韓国語」の4ヶ国語ラベルを作成！
- バーコードは11規格！QRコードを搭載！

■「DATAメモリーシステム SDM9」(Windows用)

データ転送ソフトです。

- 「テプラ」PRO本体のデータをパソコンで保存できる！
- 外字がパソコンで編集できる！
- 「テプラ」PRO本体のあて名、名前データはパソコンでも利用可能！

■「シンプルラベルソフト SMA3」(Mac OS X用)

Mac OS X用のラベル編集ソフトです。

- 「テプラ」のラベル編集がMacで！
- 便利な「デザインフォーム」を搭載！
- イメージファイルも盛りだくさん！

目次

はじめに

● 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
● 本書の使いかた 2
● ラベルソフトの紹介 3
● 目次 4

Windows・セットアップ編

● パソコンにインストールする 8
　動作環境 8
　アプリケーション、プリンタドライバをインストールする 9
　アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする 16
　共有プリンタとして使う場合のインストール手順 19
● パソコンと「テプラ」PRO 本体を接続する 20

Windows 用「シンプルラベルソフト SPC3」編

●「シンプルラベルソフト SPC3」の起動～終了 22
　起動する 22
　新規作成 23
　テープ設定を変更する 23
　ファイルを開く 24
　デザインフォームで作成 25
　SPC3を終了する 26
● SPC3 の基本操作 27
　文字を入力する 27
　印刷する 28
　文書を保存する 30
● 文字の編集 31
　書体を変更する 31
　文字サイズを変更する 31
　装飾を指定する 32
● イメージファイルを挿入する 33
● 日付・時刻を挿入する 35
● 外枠を挿入する 36

Windows 用「PC ラベルシステム SPC9」編

●「PC ラベルシステム SPC9」の起動～終了 38
　起動する 38
　新規作成 39
　テープ設定を変更する 41
　ファイルを開く 42
　デザインフォームで作成 43
　SPC9を終了する 45
● SPC9 の基本操作 46
　文字を入力する 46
　図形を描画する 48
　印刷する 49
　文書を保存する 52
● 文字の編集 53
● 図形の編集 58
● ブロックを編集する 61
● 流し込み機能 68
● 貼り合わせラベルを印刷する（貼り合わせ印刷） 81
● 地紋を挿入する 83
● 表組みを挿入する 86
● アートテキストを挿入する 88
● イメージファイルを挿入する 90
● 記号を挿入する 92
● 定型外国語を挿入する 93
● 連番を設定する 97
● バーコードを挿入する 100
● カスタマバーコードを挿入する 105
● 日付・時刻を挿入する 107
● 外枠を挿入する 108
● 市販のアプリケーションから印刷してみよう 109

データ転送ソフト「DATA メモリーシステム SDM9」編

● 転送ソフトの特長 116

Mac OS X・セットアップ編

● Macにインストールする 118
動作環境 118
アプリケーション、プリンタドライバを
インストールする 119
アプリケーション、プリンタドライバを
アンインストールする 122

Mac OS X用
「シンプルラベルソフト SMA3」編

●「シンプルラベルソフト SMA3」の
起動〜終了 126
起動する 126
新規作成 127
テープ設定を変更する 127
ファイルを開く 128
デザインフォームで作成 129
SMA3を終了する 130
● SMA3の基本操作 131
文字を入力する 131
印刷する 132
文書を保存する 134
● 文字の編集 135
● イメージファイルを挿入する 137
● 日付・時刻を挿入する 139
● 外枠を挿入する 140
● 市販のアプリケーションから印刷する 141

付録

● テープカートリッジを使いわける 144
● 故障かな？ と思ったら 145
● 索引 147

Windows・セットアップ編

Windowsで本製品をはじめてお使いの方はここからお読みください。
必要なソフトをパソコンにインストールします。

パソコンにインストールする

動作環境

インストールする前に、お使いのパソコンが以下の条件に合っているかを確認してください。

インストールできるパソコンの条件

対応OS	日本語Windows 7/Vista/XP ※32ビット版、64ビット版に対応 （各OSの推奨環境以上でお使いください）
対応PC	PC/AT互換機 対応OSが正常に動作するパーソナルコンピュータ
ハードディスク占有容量	約100MB
ドライブ	CD-ROMドライブ
ディスプレイ	解像度800×600（SVGA）/High Color以上
インターフェイス	USB接続

!! 注意 !!

- Windows 2000/Me/98SE/98/NTでは動作しません。対応OS以外での動作は保証しません。
- Windowsをアップグレードしたパソコンでは正しく動作しないことがあります。
- お使いのパソコン環境によっては、正しく動作しない場合があります。
- 他のOSのエミュレート環境での動作は保証できません。
- 古いアプリケーションソフトやドライバはあらかじめアンインストールしてから、インストールしてください。
- Windows 7/Vista/XPでインストールする際には、必ずAdministrator権限で実行してください。
- SPC3/SPC9の対応機種はSR950、SR930、SR920、SR750、SR720、SR550、SR530、SR520、SR520X、SR3900P、SR3700P、SR3500Pです。
- SDM9はSR3900P/SR3700P/SR3500Pに対応していません。
- アプリケーションとプリンタドライバは、CD-ROMに含まれる組み合わせでご使用ください。異なる組み合わせでは印刷できません。
- パソコン接続専用機（SR3900P/SR3700P/SR3500P）以外の機種はUSBケーブルが同梱されていません。別途ご購入ください。

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

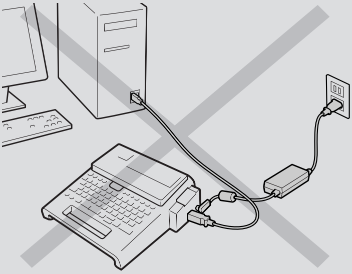
以下の4つのソフトをインストールします。

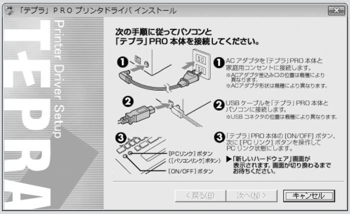
「シンプルラベルソフト SPC3」	簡単なラベルの作成が手軽にできるラベル編集ソフトです。
「PCラベルシステム SPC9」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
「DATAメモリーシステム SDM9」	「テプラ」PRO本体のデータをパソコンに転送・保存(バックアップ)する転送ソフトです(SR3900P/SR3700P/SR3500PではSDM9はインストールされません)。
プリンタドライバ	パソコンから「テプラ」PRO本体で印刷するために必要なソフトです。

!! 注意 !!

画面で指示されるまで「テプラ」PRO本体をパソコンに接続しないでください。

手順⑮で、画面による指示があるまで「テプラ」PRO本体をパソコンに接続しないでください。





手順⑮の画面

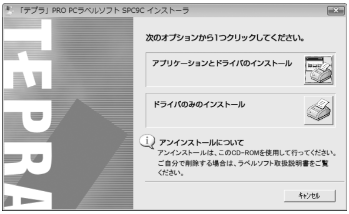
- プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」PRO本体をパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの追加」画面が表示されます。すぐに [キャンセル] をクリックしパソコンから「テプラ」PRO本体をはずしてください。必ずプリンタドライバをインストールしてから接続してください。
- 本取扱説明書は、CD-ROMに含まれるラベル編集ソフト「シンプルラベルソフト SPC3」、「PCラベルシステム SPC9」、転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」、プリンタドライバのインストールや使いかたについて説明する内容になっており、Windowsやパソコンの操作については詳しく説明しておりません。また、Windowsやパソコンについて、最低限の操作(マウス操作やファイルの扱いなど)を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合はWindowsやパソコンの説明書をお読みください。
- CD-ROMに含まれるプログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 1台のパソコンに同じ機種の「テプラ」PRO本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」PRO本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- 複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。ただし、Windows XPの場合、Administrator権限以外のユーザーでは定型外国語は使えません。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

❷ 同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

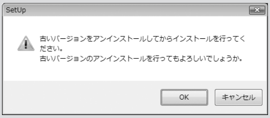
インストールプログラムが起動します。



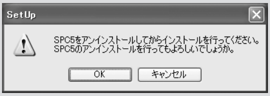
Windows 7/Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されます。
「続行」または「はい」をクリックし継続してください。

MEMO

- 古いアプリケーションがインストールされている場合は、右の画面が表示されます。必ずアンインストールしてからインストールをおこなってください。



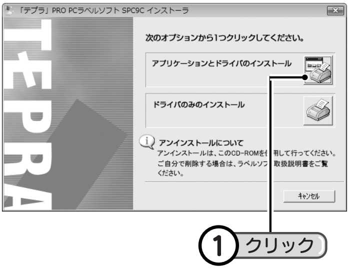
SPC5がインストールされている場合は、右の画面が表示されます。必ずアンインストールしてからインストールをおこなってください。



- インストールプログラムが起動しない場合は、次の操作をしてください。
  ① ［コンピュータ］（Windows 7は［コンピューター］、Windows XPは［マイコンピュータ］）を開く
  ② ［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする
- 右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、［機能の追加／変更］で変更できます。
  古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、削除してから本ソフトをインストールしてください。

❸「アプリケーションとドライバのインストール」をクリックする

プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、アプリケーション、プリンタドライバの両方をインストールします。

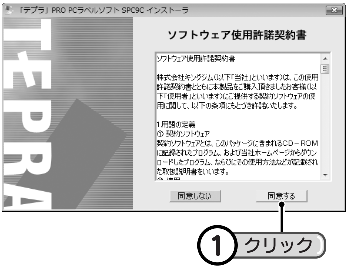


MEMO

「ドライバのみのインストール」をクリックした場合は、手順❺で機種名を選択したあと、手順⓬に進みます。

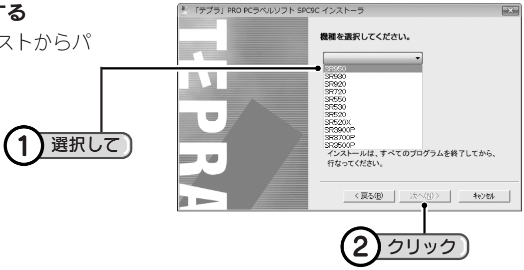
❹ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は「同意する」をクリックする

同意しない場合は「同意しない」をクリックしてください。インストールは中止されます。



❺機種を選択し、［次へ］をクリックする

右側の ▾ をクリックして表示されるリストからパソコンと接続する機種を選択します。



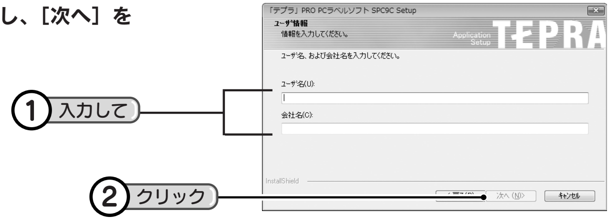
MEMO

接続する機種以外を選択するとインストールできません。

❻内容を確認して［次へ］をクリックする

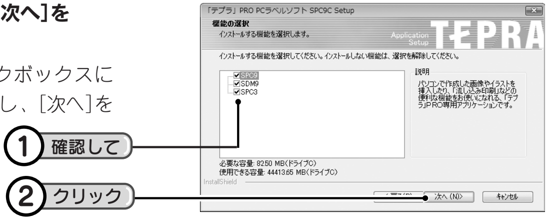
次へ進みます →

❼ ユーザー名と会社名を入力し、［次へ］をクリックする



❽ インストールする項目を確認し、[次へ]をクリックする

SPC9、SDM9、SPC3のチェックボックスにチェック☑が入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。

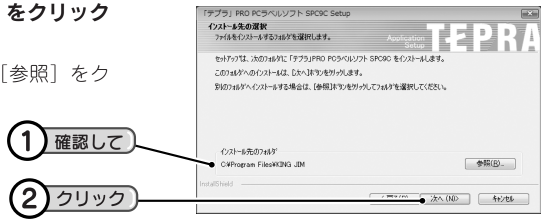


MEMO

SR3900P/SR3700P/SR3500Pを初めてインストールする時は、SDM9の項目は表示されません。

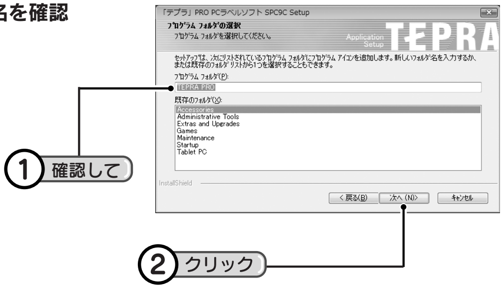
❾ インストール先を確認し、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は［参照］をクリックすると変更できます。



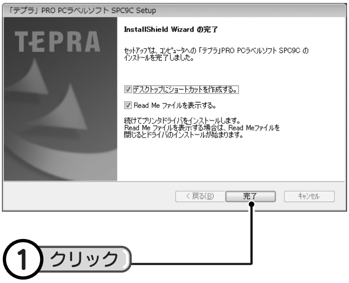
❿ インストールするプログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックする

インストールが開始されます。

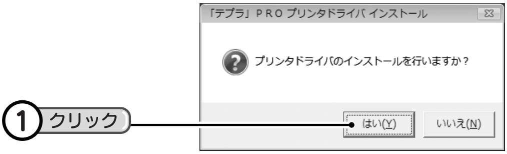


⑪ それぞれ必要な項目をチェックし［完了］をクリックする

アプリケーションのインストールが終了するとショートカットと［Read me］ファイルの表示を確認する画面が表示されます。
［Read me］ファイルは、本書に記載されていない最新情報が記載されていますので必ず確認してください。
読み終わったら右上の☒(閉じる)をクリックして終了できます。
続いてプリンタドライバのインストールに進みます。



⑫ ［はい］をクリックする



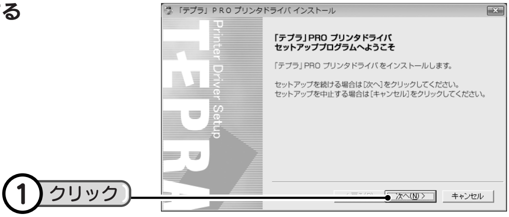
!! 注意 !!

お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。

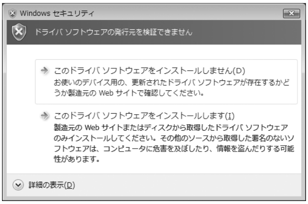
MEMO

ここで［いいえ］をクリックするとプリンタドライバのインストールは中止されます。

⑬ 内容を確認して［次へ］をクリックする



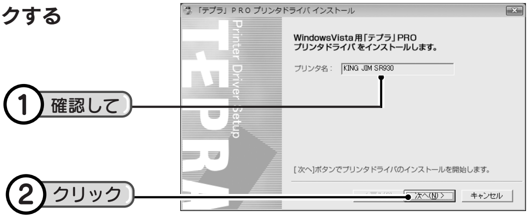
「Windowsセキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。



次へ進みます

⑭ 機種名を確認して［次へ］をクリックする

インストールが開始されます。



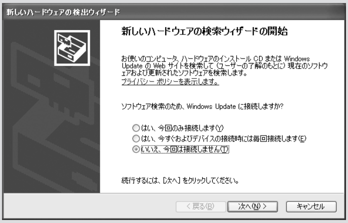
⑮ 画面に表示される指示に従って「テプラ」PRO本体をパソコンに接続し、パソコンリンク状態にする

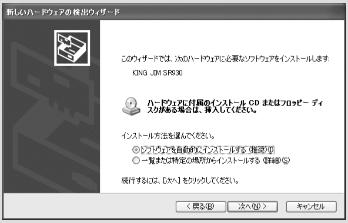
「新しいハードウェア」のインストールが実行されます。しばらくするとインストールが完了し、手順⑯の画面が表示されます。

MEMO

ハードウェア検出ウィザードが表示された場合(画面はWindows XP)

インストール時に、まれに「ハードウェア検出ウィザード」が表示される場合があります。「Windows Updateの接続」では「いいえ、今回は接続しません」を選択します。「インストール方法」は「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択します。





お使いのOSによって指定する［inf］ファイルが異なります。下記ディレクトリ内の［inf］ファイルを選択してください。

32bit版OSの場合

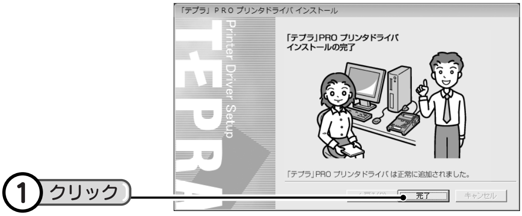
E:(お使いのCD-ROMドライブ)¥Driver¥SRxx¥win32¥***.inf

64bit版OSの場合

E:(お使いのCD-ROMドライブ)¥Driver¥SRxx¥x64¥***.inf

⑯ ［完了］をクリックする

インストールが終了します。



!! 注意 !!

プリンタの削除は「アプリケーションの追加と削除」か「CD-ROM」のインストールプログラムで削除してください。

参照 ☞P.16「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」

MEMO

ネットワーク管理者の方へ

本機は、ネットワーク上のWindows 7/Vista/XPパソコンに接続し、共有プリンタに設定して印刷することができます。ただし、ネットワークの環境や、ネットワーク上のパソコンにインストールされているデバイスによっては、共有プリンタとして正常に機能しないことがあります。

共有プリンタで使用する場合は、サーバ側とクライアント側の双方にインストールが必要です。

参照 ☞P.19「共有プリンタとして使う場合のインストール手順」

アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

!! 注意 !!

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、かならず下記に記載の手順でおこなってください。
- プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンから「テプラ」PRO本体をはずしてください。

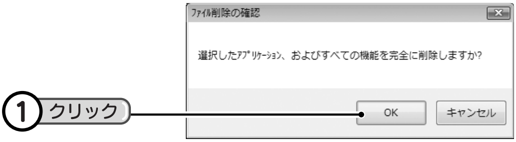
❶ 同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れて、インストールプログラムを起動する

❷ ［削除］をクリックする

アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。

❸ ［OK］をクリックする

アンインストールが開始されます。



MEMO

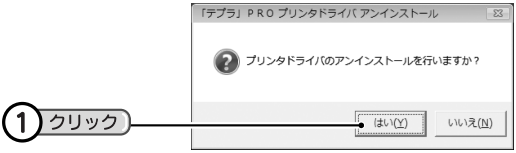
プリンタドライバのみをアンインストールするときは、ここで［キャンセル］をクリックしてアプリケーションのアンインストールを中止し、手順❹へ進みます。

❹ ［完了］をクリックする

続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。

❺ ［はい］をクリックする

プリンタの選択画面に進みます。

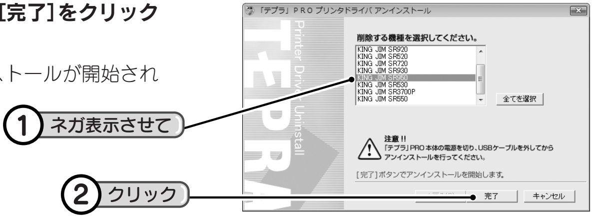


MEMO

ここで［いいえ］をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

❻ 削除する機種をネガ表示し、[完了]をクリックする

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。



❼ ［はい］をクリックする

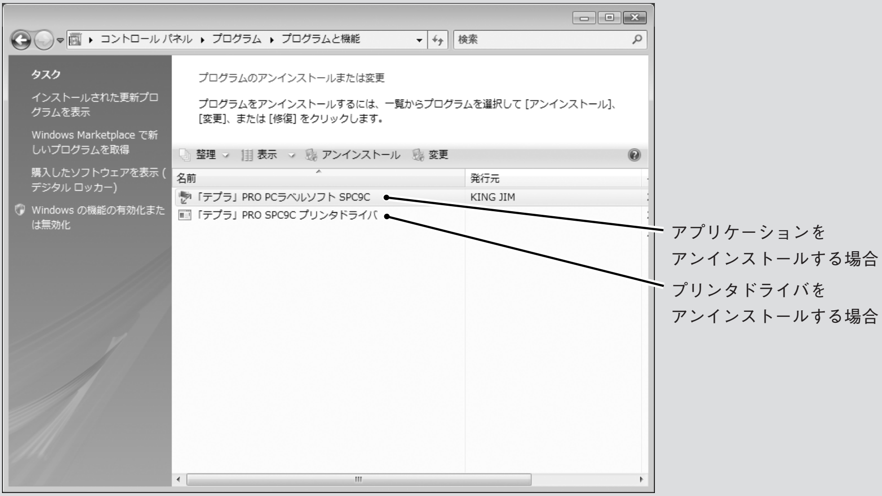
パソコンが再起動されます。

!! 注意 !!

- プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- プリンタの削除は「アプリケーションの追加と削除」か「CD-ROM」のインストールプログラムで削除してください。

MEMO

アプリケーションSPC9とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル] ー [プログラムのアンインストール] (Windows XPは「プログラムの追加と削除」) からでも操作できます。ただし、CD-ROMからのアンインストールとは異なり、アプリケーション用(「テプラ」PRO PCラベルソフト SPC9C) とプリンタドライバ用(「テプラ」PRO SPC9Cプリンタドライバ) と分かれていますので、必要に応じてアンインストールをおこなってください。



共有プリンタとして使う場合のインストール手順

ネットワーク環境下で、別のパソコンから「テプラ」PROを印刷する場合は下記の方法でプリンタドライバをインストールしてください。

サーバ側の操作：

❶ サーバとなるパソコンに、あらかじめパスワード付きのユーザーアカウントを登録しておく

❷ ❶のユーザーでログインし、同梱のCD-ROMからインストールする

参照 ☞P.9「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」

❸ プリンタフォルダから、インストールされた「テプラ」PROを「共有」に設定する

クライアント側の操作：

❹ クライアント側でインストール操作の手順⓮までおこなう。

参照 ☞P.9「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」

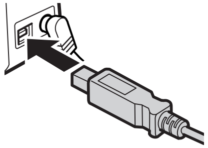
❺ 手順⓯で、Explorerなどを使いネットワーク上のサーバーにログインし、共有設定されている「テプラ」PROのプリンタのアイコンをダブルクリックする

❻ しばらくして手順⓰の画面になるので［完了］をクリックする

‼注意‼

- 上記❻で「テプラ」専用のアプリケーション連携モジュールをインストールします。この操作をしないと正常に、印刷、データ転送がおこなえません。
- クライアントパソコンもインストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。
- 共有プリンタとして使う場合、64ビット版OSは、OSの制限により使えない場合があります。またOSの「追加ドライバ」が必要な場合があります。
  詳しくは当社のホームページをご覧ください。http://www.kingjim.co.jp/
- ドライバインストール時にウィルス対策ユーティリティなどのプログラムが常駐していると「Option UI Manager Service」を検知する場合があります。その場合は「許可」または「OK」してください。
- 「DATAメモリーシステム SDM9」は、共有設定されたネットワークプリンタ上の「テプラ」PRO本体には接続できません。

パソコンと「テプラ」PRO本体を接続する



❶ 「テプラ」PRO本体にACアダプタとUSBケーブルを接続する

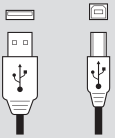
※ 機種によりUSBケーブルの差込口の位置が異なりますので、本体取扱説明書の「各部の名前とはたらき」を参照してください。

❷ USBケーブルのもう一方をパソコンのUSBコネクタに接続する

MEMO

コネクタの形状と向きを確認してから接続してください。

Aタイプ USBコネクタ
パソコンのコネクタに使われているのはこのAタイプのUSBコネクタです。



Bタイプ USBコネクタ
「テプラ」PRO本体のUSBコネクタに使われているのはこのBタイプのUSBコネクタです。

❸ 「テプラ」PRO本体にテープカートリッジをセットする

❹ 「テプラ」PRO本体の電源をONにする

パソコン接続専用機はACアダプタを接続することで電源がONになります。
テープカートリッジをセットした直後は、テープ送りを実行し、テープのたるみを取ります。

❺ 「テプラ」PRO本体をパソコンリンク状態にする

［パソコンリンク］または［PCリンク］ボタンを操作します。
パソコン接続専用機は、パソコンに接続すると自動的にパソコンリンク状態になるため、操作する必要はありません。

!! 注意 !!

- Windowsプリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」PRO本体をパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの追加」画面が表示されます。すぐに［キャンセル］をクリックしパソコンから「テプラ」PRO本体をはずして、かならず同梱のCD-ROMでプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。
  参照 P.9「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- 1台のWindowsパソコンに同じ機種の「テプラ」PRO本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」PRO本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- USBハブは使用しないでください。
- データ転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」は、パソコンに「テプラ」PRO本体を複数接続した状態では通信できません。パソコンに接続する「テプラ」PRO本体は1台にしてご使用ください。
- 「DATAメモリーシステム SDM9」は、共有設定されたネットワークプリンタ上の「テプラ」PRO本体には接続できません。

Windows用「シンプルラベルソフトSPC3」編

Windows用「シンプルラベルソフト SPC3」でラベルを作るときの操作方法を説明します。

◯「シンプルラベルソフト SPC3」の起動～終了

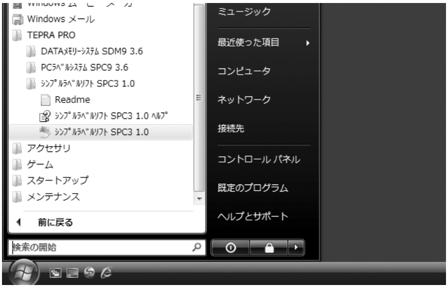
起動する

❶「シンプルラベルソフト SPC3」を起動する

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［TEPRA PRO］－［シンプルラベルソフト SPC3 1.0］－［シンプルラベルソフト SPC3 1.0］をクリックします。

MEMO

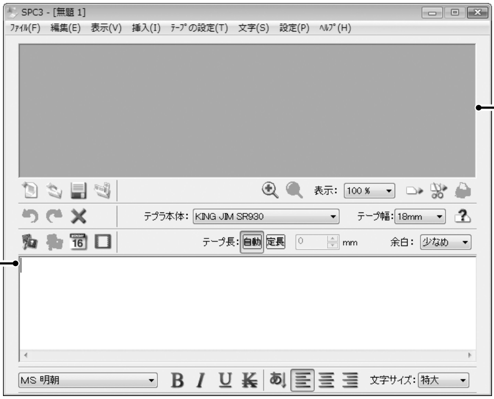
インストール時に、デスクトップにショートカットを作った場合は、デスクトップの［シンプルラベルソフト SPC3 1.0］アイコンをダブルクリックしても起動できます。



MEMO

プリンタドライバがインストールされていない場合は、「使用できる「テプラ」が見つかりません。」というメッセージが表示されます。「シンプルラベルソフト SPC3」の「機種」設定が「－－－」の状態になります。プリンタドライバをインストールしてください。

SPC3が起動します。



テキストボックス：文字を入力する

プレビュー：ラベルイメージが表示される

新規作成

❶ (新規)をクリックする

新規ラベルが表示されます。

MEMO

編集中のラベルが保存されていない場合は、保存を確認する画面が表示されます。必要に応じて保存してください。

参照 ☞P.30「文書を保存する」

テープ設定を変更する

テープ設定はツールバーで変更できます。

①機種の選択 ： 接続している「テプラ」PRO本体名を選択します。

②テープ幅 ： 「テプラ」PRO本体にセットしているテープ幅を選択します。(テープ幅取得)をクリックすると、「テプラ」PRO本体にセットされているテープ幅を読み取ります。テープ幅は、本体がパソコンリンク状態で、パソコンと接続されているときに読み取れます。

③テープ長 ： ［定長］を選択すると、ラベルの長さを10mm～2300mmの範囲で指定できます。［自動］を選択すると、文章の長さに応じてテープの長さが自動的に調節されます。

④余白 ： ラベルの前後の余白の長さを設定します。初期設定は「少なめ」です。

MEMO

- テープの長さや幅、余白は、レイアウト編集中でも変更できます。
- テープ設定は［テープの設定］メニューでも変更できます。

ファイルを開く

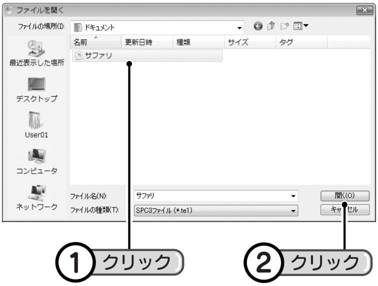
ファイルに保存してあるラベルを表示するには、目的のファイルを開きます。

❶ **（開く）をクリックする**

［開く］画面が表示されます。

❷ **ファイルを指定して［開く］をクリックする**

［開く］画面にファイルがない場合は、「ファイルの場所」の や（1つ上のフォルダ）などをクリックして、保存した場所を表示させます。



指定したファイルが表示され編集ができます。

参照☞P.27「文字を入力する」

MEMO

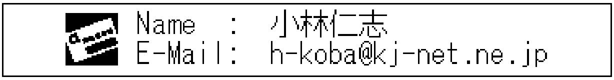
ここでは事前に「サファリ」というファイルを保存していた場合を例に説明しています。初期状態では「サファリ」というファイルは存在しません。

参照☞P.30「文書を保存する」

デザインフォームで作成

あらかじめ用意されているデザインフォームを利用すれば、簡単にラベルを作ることができます。それぞれのデザインフォームのレイアウトは、デザインフォームを選択する画面で確認できます。

例：

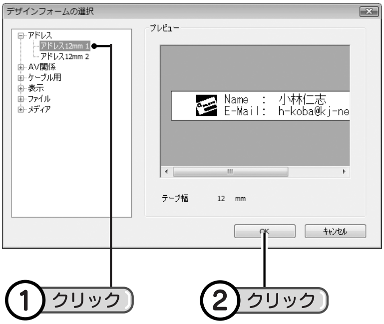


❶ （デザインフォーム）をクリックする

［デザインフォームの選択］の選択画面が表示されます。

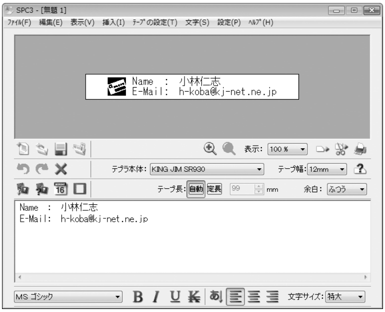
❷ デザインフォームを指定して［OK］をクリックする

分類名の前にある＋をクリックすると、その中に含まれている内容が表示されます。



指定したデザインフォームが表示され編集ができます。

参照 P.27「文字を入力する」

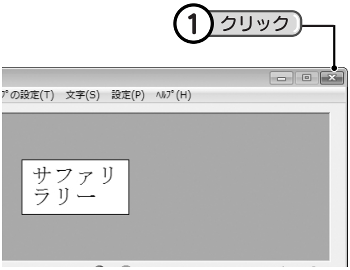


!! 注意 !!

- 「インデックスラベル」の横書きは、上下反転しません。
- 「ケーブル表示ラベル」の入力は1行目のみおこなってください。

SPC3を終了する

❶ **画面右上の[×]をクリックする**
文書が保存されていれば、そのままウィンドウが閉じます。



MEMO
SPC3の終了は、［ファイル］ー［終了］を選択しても実行できます。

!! 注意 !!
編集中のラベルが保存されていない場合は、保存を確認する画面が表示されます。［はい］を選択すると［名前を付けて保存］画面が表示されます。保存を確認する画面で［いいえ］を選択すると、作った内容が破棄されSPC3を終了します。一度データの内容が破棄されると、もとに戻すことができませんので充分注意してください。
参照 ☞P.30「文書を保存する」

SPC3の基本操作

文字を入力する

❶ テキストボックスに文字を入力する

文字入力後、キーボードの＜変換＞キーで変換し、＜Enter＞キーで確定します。
文字確定後＜Enter＞キーを押すと、次の行に改行され、2行目が入力できます。
ラベルの状態は、プレビューで確認できます。

テキストボックス　　　　プレビュー

MEMO

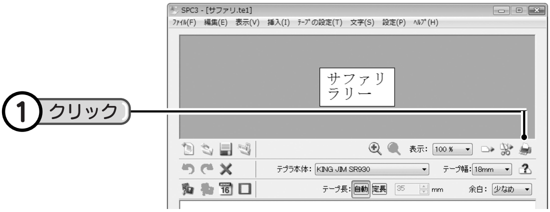
- 入力できる最大文字数は1000文字、最大行数は6行です。
- 印刷できる行はテープ幅により異なります。プレビューで確認しながら入力してください。
- 表示されるプレビューはイメージです。実際のラベルとは多少の誤差があります。
- 文字を縦書きにするときは、あ（縦書き）をクリックします。

印刷する

❶ **「テプラ」PRO本体に印刷するサイズに合ったテープカートリッジがセットされていることを確認する**

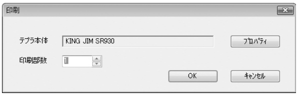
❷ **「テプラ」PRO本体をパソコンリンク状態にする**
SR3900P/SR3700P/SR3500Pは、パソコンとUSB接続することで印刷可能状態になります。キーボードのある「テプラ」PRO本体の場合は［パソコンリンク］または［PCリンク］ボタンを操作します。

❸ **(印刷)をクリックする**
［印刷］画面が表示されます。



［印刷］画面は、［ファイル］－［印刷］を選択しても表示されます。

❹ **印刷の設定画面の内容を確認する**



プリンタ機種　：プリンタ機種が接続している「テプラ」PRO本体であることを確認します。違う「テプラ」PRO本体が選択されているときは、［キャンセル］をクリックして印刷を中止し、編集画面で機種を選択しなおしてください。
参照 P.23「テープ設定を変更する」

印刷部数　：同じラベルを複数印刷するときは、「印刷部数」を変更します。

MEMO

- ［印刷］画面で［プロパティ］をクリックすると、用紙の設定、テープカットの方法、テープ幅確認メッセージの有無などを変更できる［プロパティ］画面が表示されます。
  プリンタドライバの初期設定を変更したい場合は、［コントロールパネル］から開く［プリンタ］（Windows 7 は［デバイスとプリンターの表示］、Windows XPは［プリンタとFAX］）画面で設定してください。
- 耐熱ラベル、透明つや消しラベルを使用するとき、あるいは上質紙ラベル、アイロン転写テープ、グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は、［プロパティ］画面のグラフィックスタブで「濃度」を「+3」に設定してください。
  参照 P.144「テープカートリッジを使いわける」

!! 注意 !!

- 耐熱ラベル、アイロンラベル、マグネットテープ、透明つや消しラベルを使用するときは、［プロパティ］画面のオプションタブをクリックし、「テープカットしない」に設定してください。
  参照☞P.144「テープカートリッジを使いわける」
- ハーフカット搭載機種で、耐熱ラベル、アイロンラベル、アイロン転写テープ、マグネットテープ、透明つや消しラベル、熱収縮チューブ、ロングテープ、上質紙ラベル、ケーブル表示ラベルを使用するときは、［プロパティ］画面のオプションタブをクリックし、「ハーフカットしない」に設定してください。
  参照☞P.144「テープカートリッジを使いわける」

5 ［OK］をクリックする

テープ幅確認のメッセージが表示されます。

6 テープ幅を確認する

テープ幅設定値　：　設定したテープ幅が表示されます。

装着テープ幅　：　「テプラ」PRO本体に装着されているテープカートリッジのテープ幅が表示されます。

「テープ幅設定値」と「装着テープ幅」が異なっていると、正確な印刷結果が得られません。そのときは［キャンセル］をクリックして［テープ幅設定値］と［装着テープ幅］が揃うように設定してください。

MEMO

テープ幅確認メッセージは、表示しないように設定することもできます。表示しないように設定するには、［プロパティ］画面のオプションタブをクリックし、「テープ幅確認メッセージを表示する」のチェックマークをはずしてください。

7 ［OK］をクリックする

印刷を開始します。

!! 注意 !!

- 本機の印刷中や、テープ送り時にACアダプタ・USBケーブルをはずさないでください。印刷やテープ送りができなくなります。
- 長いラベルを印刷する場合、印刷開始までに時間がかかる場合があります。
- 塗りつぶしの多いイラスト、文字などによっては印刷するとカスレが発生することがあります。
- 印刷中にスクリーンセーバや省エネルギー機能などが開始されると、画面表示や印刷に問題が発生することがあります。このような場合はスクリーンセーバや省エネルギー機能の設定を解除してお使いください。

文書を保存する

作ったラベルの保存は、現在のファイル名でそのまま保存する「上書き保存」と、別のファイル名を入力して保存する「名前を付けて保存」があります。

❶ (保存)をクリックする

ファイルを開いた場所に同じ名前で上書き保存します。新規に作成したラベルの場合は、[名前を付けて保存]画面が表示されます(手順❷へ)。

❷ ファイル名を入力して[保存]をクリックする

作った文書が保存されます。

「保存する場所」の▼やなどをクリックして、保存場所を変更することもできます。

MEMO

- 上書き保存は、[ファイル] ー [上書き保存] を選択しても実行できます。
- 別のファイル名で保存する場合は、[ファイル] ー [名前を付けて保存] を選択します。[名前を付けて保存] を選択すると、手順❷の [名前を付けて保存] 画面が表示され、ファイルの名前を変更できます。

!! 注 意 !!

- 上書き保存をおこなうと、開いたもとのファイルの内容が書き換わります。充分に確認してから上書き保存をしてください。
- SPC3では、SPC3ファイル(TE1)形式で保存されます。TE1形式で保存したファイルは、PCラベルシステムSPC9で開くことはできません。

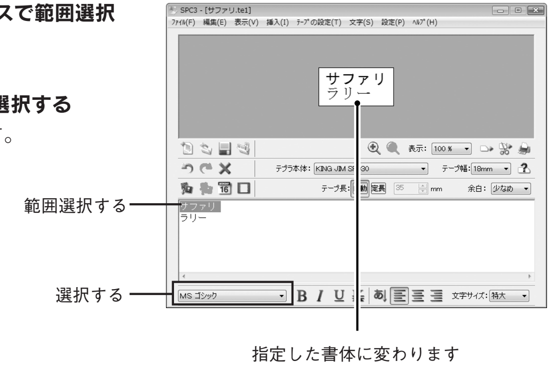
文字の編集

入力した文字は、書体やサイズを変更したり、装飾することができます。

書体を変更する

1. **変更したい部分をテキストボックスで範囲選択する**

2. **［フォント］のリストから書体を選択する**
   選択した範囲の書体が変更されます。



MEMO

- パソコンに内蔵されている書体（True Typeフォントのみ）が指定できます。
- 書体によっては、字形などが乱れることがあります。

文字サイズを変更する

1. **［文字サイズ］のリストからサイズを選択する**
   文書全体の文字サイズが変更されます。

Win・SPC3

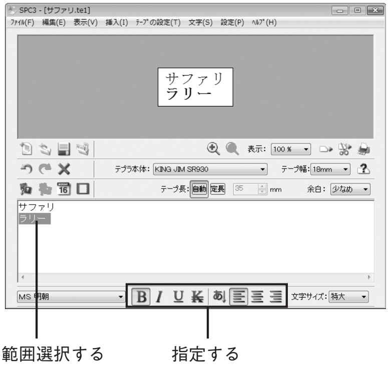
装飾を指定する

❶ 変更したい部分をテキストボックスで範囲選択する

❷ 機能ボタンで装飾を指定する

選択した範囲の装飾が変更されます。

ボタン	内容
B（太字）	文字を太字にします。
I（斜体）	文字を斜体にします。
U（下線）	文字に下線をつけます。
K（取消し線）	文字に二重線の取り消し線をつけます。
あ（縦書き）	テキスト全体を縦書きにします。
（左寄せ）	テキストを左側基準で配置します。複数行のテキストは左寄せになります。テープ長を固定した場合、入力したテキストがテープ長を越えるとテキストの右端が切れます。
（中央合わせ）	テキストをラベルの中央に配置します。複数行のテキストも中央合わせになります。テープ長を固定した場合、入力したテキストがテープ長を越えるとテキストの両端が切れます。
（右寄せ）	テキストを右側基準で配置します。複数行のテキストは右寄せになります。テープ長を固定した場合、入力したテキストがテープ長を越えるとテキストの左端が切れます。



MEMO

- 機能のボタンを再度クリックすると装飾を解除します。
- 書体によっては、字形などが乱れることがあります。

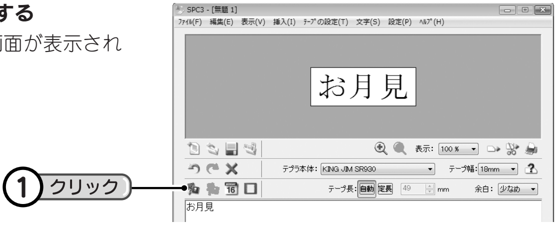
イメージファイルを挿入する

「シンプルラベルソフト SPC3」には、いろいろなイメージファイルがあり、イメージを確認しながら挿入できます。

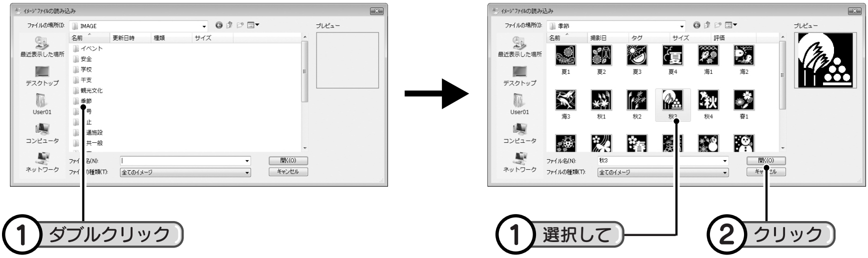
イメージを挿入する

❶ （イメージの挿入）をクリックする

［イメージファイルの読み込み］画面が表示されます。



❷ カテゴリをダブルクリックで開き、挿入するイメージを選択し、［開く］をクリックする



指定したイメージファイルがラベルの左端に挿入され、プレビューで確認できます。
イメージの位置は［イメージ設定］で変更します。

MEMO

市販のアプリケーションで作成したイメージファイル（BMP、JPEG、WMF、EMF、GIF、TIFF形式のファイル）を挿入する場合は、手順❷で目的のイメージファイルの保存先とファイル名を指定してください。ただし、場合によりイメージファイルが挿入できないことがあります。イメージは自動的に白黒（2値）の画像に変換されます。

イメージの設定を変える

イメージの位置などは、挿入後に［イメージ設定］画面で変更できます。

❶ (イメージ設定)をクリックする

［イメージの設定］画面が表示されます。

❷ 設定を変更する

項目	内容
イメージの位置	ラベル上のイメージの位置を設定します。
白黒しきい値	カラーデータを減色する場合の白/黒の境界値を選択します。

❸ ［OK］をクリックする

MEMO

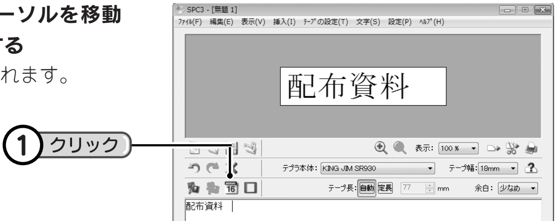
- イメージは1つだけ選択できます。
- イメージを削除するときは、「イメージの位置」を「なし」にします。
- イメージのサイズは、テープ幅に合わせて自動的に調整されます。
- イメージを「全体」に設定するとラベル全体にイメージを配置します。

日付・時刻を挿入する

日付や時刻を入力するときは、日時の数字を入力するだけで形式を選択して入力できます。

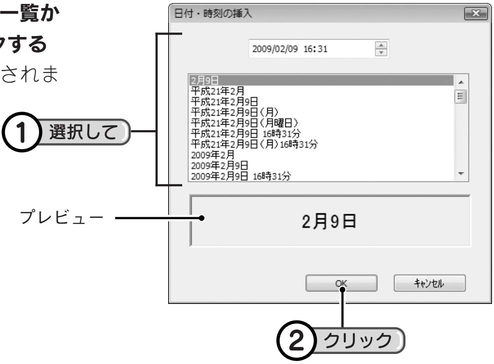
❶ 日付を入力したい位置に文字カーソルを移動し、(日付の挿入)をクリックする

［日付・時刻の挿入］画面が表示されます。

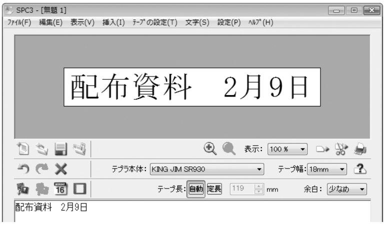


❷ 上のボックスで入力する日時を指定し、一覧から表示形式を選択し、[OK] をクリックする

入力されるイメージがプレビューに表示されます。



指定した日付のテキストが文字カーソルの位置に挿入されます。



MEMO

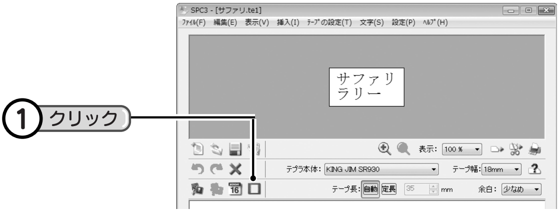
- 最初に表示される日付や時刻はパソコンの設定を利用します。
- 入力後は通常のテキストとして編集できます。

外枠を挿入する

いろいろな外枠を一覧から選択できます。

❶ □(外枠)をクリックする

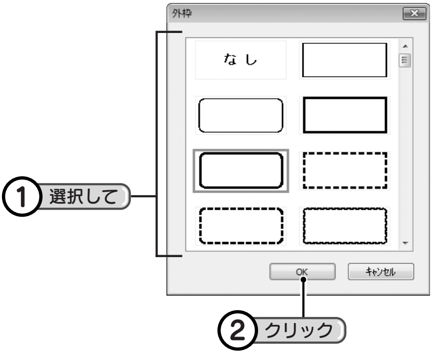
［外枠］画面が表示されます。



❷ 外枠を選択し、［OK］をクリックする

MEMO

外枠を削除するときは「なし」を選択します。



選択した外枠がラベルに挿入され、プレビューで確認できます。

MEMO

テキストが入力されていないと外枠はプレビューされません。

Windows用
「PCラベルシステム SPC9」編

Windows用「PCラベルシステム SPC9」でラベルを作るときの
操作方法を説明します。

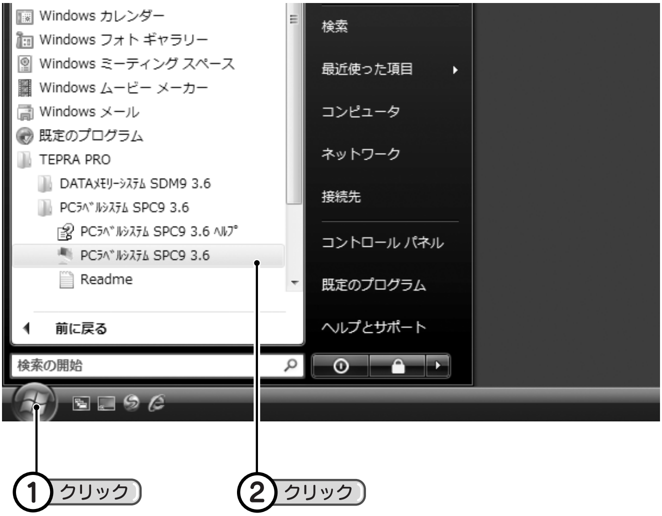
◯「PCラベルシステム SPC9」の起動～終了

起動する

❶「PCラベルシステム SPC9」を起動する

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［TEPRA PRO］－［PCラベルシステム SPC9 3.6］－［PCラベルシステム SPC9 3.6］をクリックします。
SPC9が起動します。

MEMO
インストール時に、デスクトップにショートカットを作った場合は、デスクトップの［PC ラベルシステム SPC9 3.6］アイコンをダブルクリックしても起動できます。



［新規作成］画面が表示されます。

MEMO
Windows XP で制限付きユーザーの場合、システムにフォントを登録する権限がないため、起動時に「定型外国語機能はお使いになれません」、「韓国語フォントファイルをシステムに登録できません」などのメッセージが表示されます。その場合でもアプリケーションの起動はできますが、定型外国語機能は無効になります。

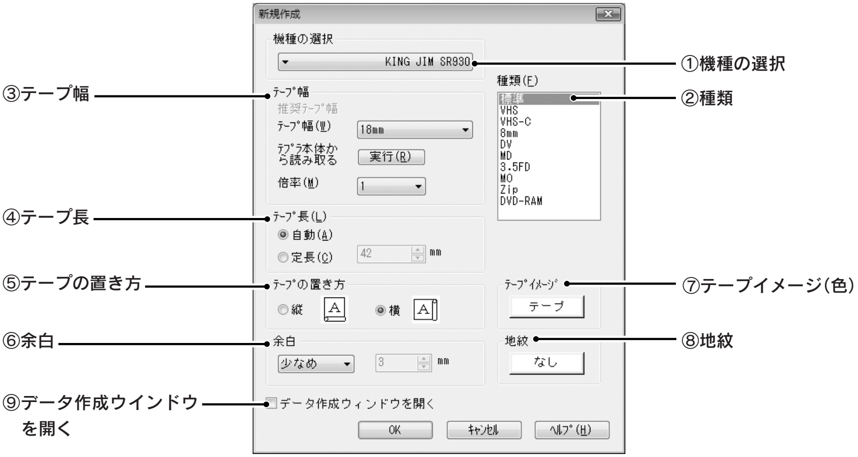
新規作成

ラベルを新規に作るときは、最初にテープの幅や長さなどを設定します。

❶「PCラベルシステムSPC9」を起動する

［新規作成］画面が表示されます。

❷「新規作成」画面で各項目を設定する



①機種の選択：接続している「テプラ」PRO本体名を選択します。

②種類：目的に合ったラベルを選択します。特になければ「標準」を選択します。「標準」以外を選択すると、「テープ幅」、「倍率」、「テープ長」、「テープの置き方」、「余白」が自動的に設定されます。

③テープ幅：

推奨テープ幅	「種類」で指定した推奨のテープ幅を表示します。
テープ幅	右側の ▾ をクリックして表示されるリストから「テプラ」PRO本体にセットしているテープ幅を選択します。
テプラ本体から読み取る	［実行］をクリックすると、「テプラ」PRO本体にセットされているテープ幅を読み取ります。テープ幅は、本体がパソコンリンク状態でパソコンと接続されているときに読み取れます。
倍率	テープ幅×倍率で貼り合わせるテープを作成します。例えば「2倍」の場合、画面ではテープが2枚貼り合わされます。

④テープ長：

自動	文章の長さに応じてテープの長さが自動的に調節されます。
定長	指定した長さのラベルを作ります。長さは、右側のテキストボックスに数字を入力するか ⬍ で10mm ～2300mmの範囲で指定します。

⑤テープの置き方：

縦	テープが縦置きで表示されます（テキストは縦書きになります）。
横	テープが横置きで表示されます（テキストは横書きになります）。

⑥余白：ラベルの前後の余白の長さを設定します。右端の ▾ をクリックして選択します。「数値指定」を選択したときは、右側にあるテキストボックスに数値を入力します。初期設定は「少なめ」（SR3500Pは「ふつう」）です。

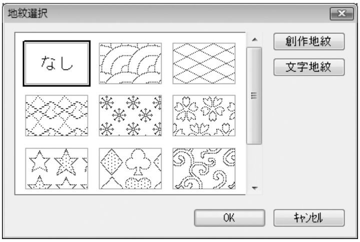
次へ進みます ➔

⑦テープイメージ

：表示するテープの色の種類を選択します。クリックすると、[テープイメージ] 画面が表示されるので、テープの色を選択して［OK］をクリックします。「ユーザ」を選択すると、「テープ色」と「インク色」を変更できます。使用するテープと同じ設定にすると、画面上でイメージを確認できます。この設定はパソコンの画面上でイメージを確認するためのもので、印刷には反映されません。

⑧地紋　：地紋の種類を選択します。クリックすると、[地紋選択]画面が表示されるので、地紋を選択して [OK] をクリックします。[創作地紋] や [文字地紋] も編集できます。

参照 P.83「地紋を挿入する」



⑨データ作成ウィンドウを開く

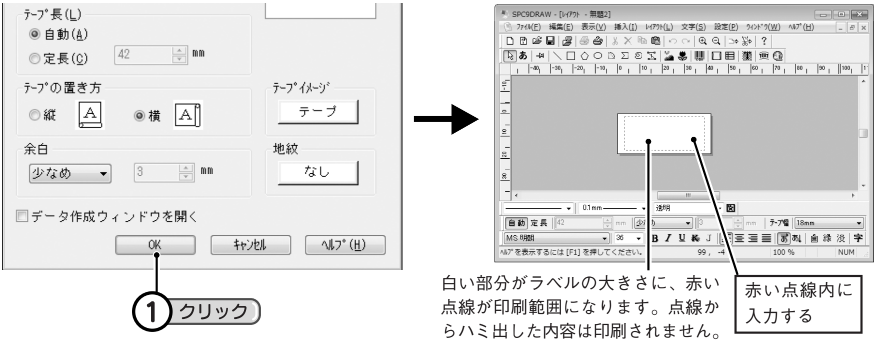
：チェックするとレイアウト編集画面と同時にデータ作成ウィンドウも開きます。

参照 P.69「データを新規作成する」

❸ すべての項目を指定したあと［OK］をクリックする

レイアウト編集画面に設定したテープが表示され、入力や編集が可能になります。

参照 P.46「文字を入力する」



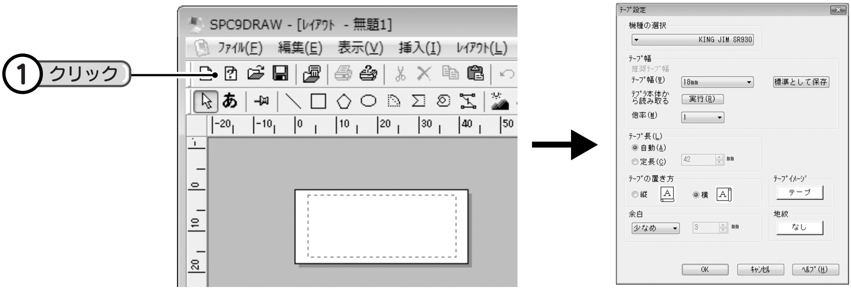
MEMO

- テープの長さや幅、余白は、レイアウト編集画面上でもテープ設定ツールバーの各ボタンで変更できます。また、これらの操作は、(テープの設定)をクリックするか［ファイル］－［テープの設定］を指定して表示される[テープ設定]画面でも変更できます。**参照 P.41「テープ設定を変更する」**
- ハーフカット搭載機種で「ハーフカットしない」に設定している場合、およびハーフカット未搭載機種では、入力された内容やテープ設定に関わらず、約20mm以下のラベルは印刷できません。
- ブロックの位置関係がわかりづらいときは、[表示] メニューでグリッドやガイドラインを表示することもできます。

テープ設定を変更する

新規作成時にテープの設定をしたあとでも、［テープ設定］画面やテープ設定ツールバーで変更できます。

［テープ設定］画面 ：（テープの設定）をクリックするか［ファイル］－［テープの設定］を指定して開きます。項目の設定方法は［新規作成］画面と同様です。
参照 ☞P.39「新規作成」



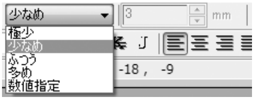
テープ設定ツールバー：「PCラベルシステム SPC9」のレイアウト編集画面下部に表示されます。

①テープ長 ：テープの長さを「自動」か「定長」のどちらかで設定します。自動と定長のボタンのうち、設定されているボタンが押された状態になります。

自動	テープの長さを自動にします。
定長	テープの長さを指定します。このボタンを押すと、右側のテキストボックスで数値が指定できるようになります。

②余白 ：ラベルの前後の余白をリストから選択します。「数値指定」を選択したときは、右側のテキストボックスで数値が指定できるようになります。

＊SR3500Pでは、余白「極少」「少なめ」にした場合カットマークが印刷されることがあります。「地紋」を設定してもカットマークは解除されません。



③テープ幅 ：ﾃｰﾌﾟ幅をクリックすると、「テプラ」PRO本体にセットされているテープ幅を読み取ります。テープ幅は、本体がパソコンリンク状態でパソコンと接続されているときに読み取れます。

または、右側の ▾ をクリックして本体にセットしているテープ幅を選択します。

Win・SPC9

ファイルを開く

ファイルに保存してあるラベルを表示するには、目的のファイルを開きます。

❶ 標準ツールバーの をクリックする

［開く］画面が表示されます。

MEMO

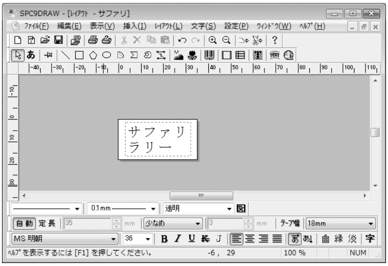
［ファイル］ー［開く］を選択しても、［開く］画面が表示されます。

❷ ファイルを指定して［開く］をクリックする

［開く］画面にファイルがない場合は、「ファイルの場所」の ▾ や （1つ上のフォルダ）などをクリックして、保存した場所を表示させます。

指定したファイルが表示され編集ができます。

参照☞P.46「文字を入力する」



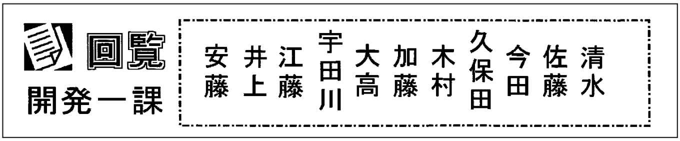
MEMO

- SPC9では、「SPC9 DRAW3ファイル（TPC）形式」のほか、「SPC5 DRAWファイル（TPB）形式」、「SPC9 DRAWファイル（TPA）形式」のファイルを開くことができます。
  「ファイルの種類」の ▾ をクリックして形式を選ぶと、対応するファイルが表示され、選択できるようになります。
- ここでは事前に「サファリ」というファイルを保存していた場合を例に説明しています。初期状態では「サファリ」というファイルは存在しません。
  参照☞P.52「文書を保存する」

デザインフォームで作成

あらかじめ用意されているデザインフォームを利用すれば、簡単にラベルを作ることができます。
それぞれのデザインフォームのレイアウトは、操作途中の［デザインフォームの選択］画面（手順❷）で確認できます。

例：



❶ **標準ツールバーのをクリックする**

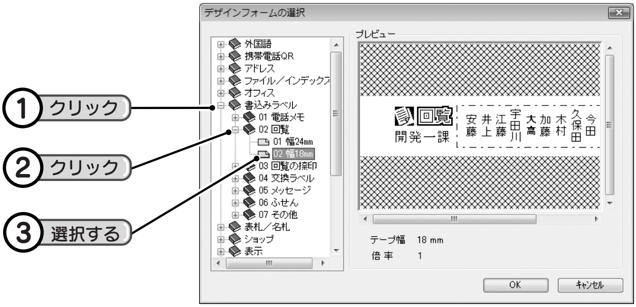
［デザインフォームの選択］画面が表示されます。

MEMO

［ファイル］ー［デザインフォーム］を選択しても、［デザインフォームの選択］画面が表示されます。

❷ **分類の一覧から目的のデザインを選択する**

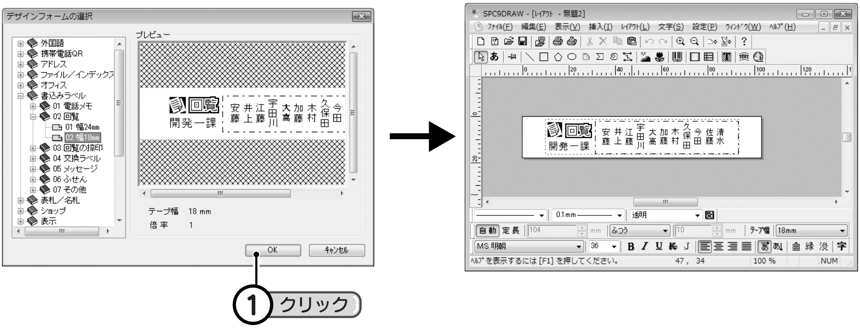
分類名の前にある+をクリックすると、その中に含まれている内容が表示されます。更に小分類名の+をクリックし、目的のラベルを選択すると、ラベルのデザイン、テープ幅、倍率が確認できます。



次へ進みます

❸ [OK] をクリックする

選択されたデザインのラベルが表示されます。



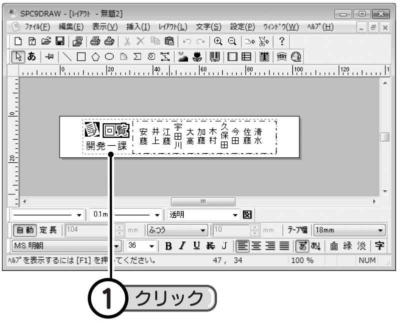
MEMO

- 流し込み枠のあるデザインフォームを選択したときは、デザインフォームを選択して[OK]をクリックすると、それに対応したデータ作成画面が自動的に表示されます。データを入力するか、利用するデータを開いてください。
参照 P.70「既にあるデータを読み込む」
参照 P.71「データを入力する」
- 機種により使用できるデザインフォームのラベル幅が異なります。接続している機種を確認して、デザインフォームを選択してください。機種の設定は、[テープ設定] 画面で確認できます。
参照 P.41「テープ設定を変更する」

❹ ラベルの内容を変更する

レイアウト編集画面で読み込んだデザインフォームの文字や記号、イラストなどをクリックして選択し、変更します。

参照 P.46「文字を入力する」



!! 注意 !!

塗りつぶしの多い図形、文字などによっては、印刷するとカスレが発生することがあります。

MEMO

デザインフォームでは、書き換えの頻繁なテキスト(文字)データについては、通常のテキストブロック同様、ダブルクリックして内容を変更できますが、あまり変更の必要のない記号やイラストについては、誤って変更しないよう、ロックが指定してあります。これらロックされているデータについても、ロックを解除すれば変更できるようになります。

参照 P.66「ブロックをロックする」

SPC9を終了する

❶ 画面右上の[×]をクリックする

文書が保存されていれば、そのままウィンドウが閉じます。

MEMO

SPC9の終了は、［ファイル］ー［終了］を選択しても実行できます。

!! 注意 !!

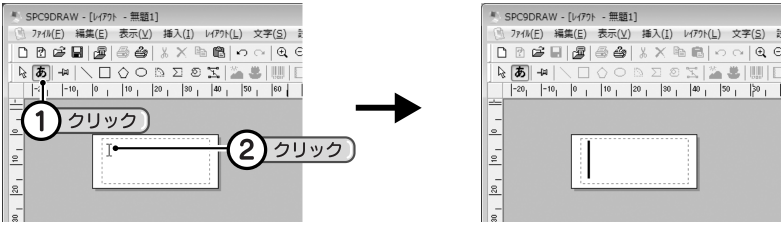
文書を保存しないまま終了操作をおこなったときは、保存を確認する画面が表示され、[はい]を選択すると[名前を付けて保存]画面が表示されます。保存を確認する画面で[いいえ]を選択すると、作った内容が破棄されSPC9を終了します。一度データの内容が破棄されると、もとに戻すことができませんので充分注意してください。

SPC9の基本操作

文字を入力する

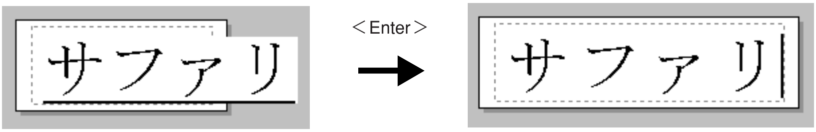
❶ あをクリックし、文字を入力する位置をクリックする

文字を入力できる状態になります。



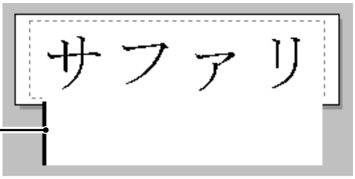
❷ 文字を入力する

文字入力後、キーボードの＜変換＞キーで変換し、＜Enter＞キーで確定します。



!! 注意 !!

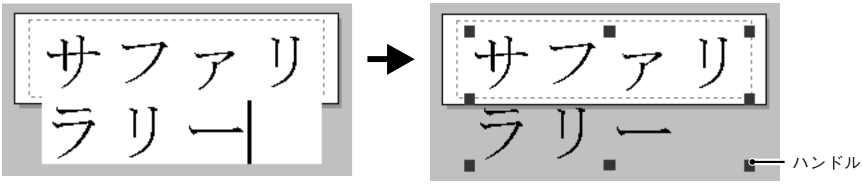
中国語や韓国語を入力･テキスト編集することはできません。



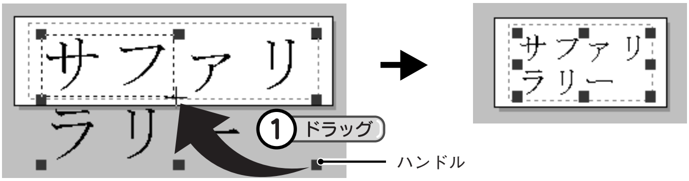
文字確定後＜Enter＞キーを押すと、次の行に改行され、2行目が入力できます。

❸ テキストブロック以外の場所をクリックする

テキストブロックがハンドルつきで表示されます。



❹ カドのハンドルをドラッグして、テキストブロックの枠サイズをラベル幅に合わせる

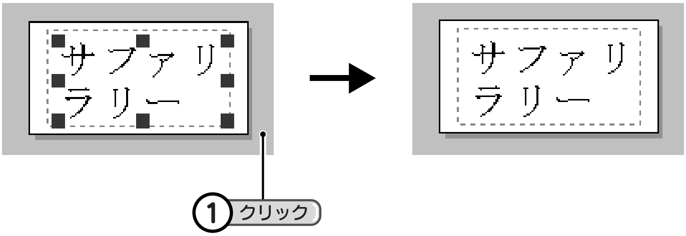


MEMO

- ハンドル表示中のテキストブロックは、内容、位置、枠サイズを変更できます。
  枠サイズを変更するときは、ハンドルをドラッグします。
  カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに文字サイズを拡大、縮小できます。
  また、キーボードの＜Shift＞もしくは＜Ctrl＞キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの大きさを自由に変更しながら拡大、縮小できます。
- 表示されるオブジェクトのサイズ･位置はイメージです、実際のラベルとは多少の誤差があります。
- 文字を縦書きにするときは、ハンドル表示中に文字ツールバーの（縦書き）をクリック（または［文字］メニューから［縦書き］を選択）します。

❺ テキストブロック以外の場所をクリックする

ハンドルが消えてテキストブロックが確定します。

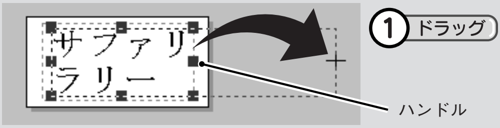


MEMO

改行したテキストブロックを1行に戻す場合は、次の操作をしてください。

❶ 右辺中央のハンドルをドラッグして、テキストブロックの枠サイズを広げる

もとの行がブロックで折り返されている場合は、ここで、1行になります。
もとの行が＜Enter＞キーで改行されている場合は、手順❷以降の操作で改行を削除します。



❷ テキストブロックをダブルクリックして「テキスト編集」の状態にする

テキストブロック内に文字カーソルが表示され、文字を入力できる状態になります。
テキストの編集は、テキストブロックを右クリックしたときに表示される「テキストの編集」を選択しても文字を入力できる状態になります。

❸ 文字カーソルを1行目の行末に移動し、＜Delete＞キーを押す

改行が削除され、1行になります。必要に応じてテキストブロックのサイズを変更してください。
改行の削除は、文字カーソルを2行目の行頭に移動してから＜BackSpace＞キーを押しても操作できます。

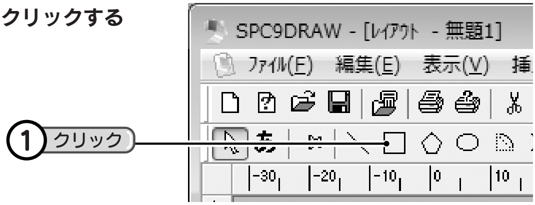
図形を描画する

ツールボタン を利用すると、さまざまな図形を描画できます。

（直線）………… 直線を描きます。
（四角形）……… 四角形を描きます。
（正多角形）…… 正多角形を描きます。
（円）…………… 円を描きます。
（扇形）………… 扇形、弓形、円弧を描きます。
（連続直線）…… 連続した直線で図形を描きます。
（自由線）……… フリーハンドで図形を描きます。
（ベジェ曲線）… ベジェ曲線で図形を描きます。

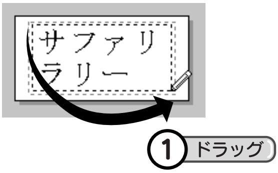
例 ：四角形を描画する

❶ ツールバーの（四角形）ボタンをクリックする



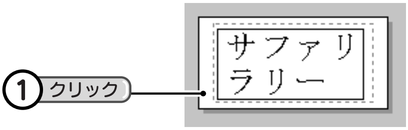
❷ 描画する始点から終点までマウスでドラッグする

四角形を描画できます。



❸ 図形以外の場所をクリックする

ハンドルが消えて図形が確定します。



MEMO

- 四角形の場合は、右上カドのハンドルをドラッグすると角の丸みを調整できます。
- 正多角形の場合は、手順❶の操作後に開く［正多角形の設定］画面で多角形の角数と形を設定したあとに、描画できます。
- 図形を描画する線種や線の太さ、塗りつぶしなどは、ハンドル表示中に図形ツールバーで設定します。

参照 ☞P.58「図形の編集」

印刷する

❶ **「テプラ」PRO本体に印刷するサイズに合ったテープカートリッジがセットされていることを確認する**

❷ **「テプラ」PRO本体の電源を入れたあと、［パソコンリンク］または［PCリンク］ボタンを操作してパソコンリンク状態にする。**
「テプラ」PRO本体のディスプレイに「パソコン通信可能」または「PC通信可能」が点滅します。SR3900P/SR3700P/SR3500Pは、パソコンとUSB接続することで印刷可能状態になります。

❸ **(印刷)をクリックする**
［印刷］画面が表示されます。

MEMO

- ［印刷］画面は、［ファイル］ー［印刷］を選択しても表示されます。
- レイアウト編集画面で(プリンタプロパティ)をクリックすると、用紙の設定、テープカットの方法、テープ幅確認メッセージの有無などを変更できる［プロパティ］画面が表示されます。また、上記［印刷］画面で［プロパティ］をクリックしても、［プロパティ］画面が表示されます。
この［プロパティ］から変更したプリンタドライバの設定内容はアプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。プリンタドライバの初期設定を変更したい場合は、［コントロールパネル］から開く［プリンタ］（Windows 7 は［デバイスとプリンターの表示］、Windows XPは［プリンタとFAX］）画面で設定してください。
- 耐熱ラベル、透明つや消しラベルを使用するとき、あるいは上質紙ラベル、アイロン転写テープ、グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は、［プリンタプロパティ］画面のグラフィックスタブで「濃度」を「+3」に設定してください。
参照 ☞P.144「テープカートリッジを使いわける」

!! 注意 !!

- 印刷中や、テープ送り時にACアダプタ・USBケーブルをはずさないでください。印刷やテープ送りができなくなります。
- 長いラベルを印刷する場合、印刷開始までに時間がかかる場合があります。
- 耐熱ラベル、アイロンラベル、マグネットテープ、透明つや消しラベルを使用するときは、［プリンタプロパティ］画面のオプションタブをクリックし、「テープカットしない」に設定してください。
参照 ☞P.144「テープカートリッジを使いわける」
- ハーフカット搭載機種で、耐熱ラベル、アイロンラベル、アイロン転写テープ、マグネットテープ、透明つや消しラベル、熱収縮チューブ、ロングテープ、上質紙ラベル、ケーブル表示ラベルを使用するときは、［プリンタプロパティ］画面のオプションタブをクリックし、「ハーフカットしない」に設定してください。
参照 ☞P.144「テープカートリッジを使いわける」

次へ進みます

❹ ［印刷］画面の内容を確認する

プリンタ機種
印刷部数

プリンタ機種　：プリンタ機種が接続している「テプラ」PRO本体であることを確認します。違う「テプラ」PRO本体が選択されているときは、［キャンセル］をクリックして印刷を中止し、［テープ設定］画面で機種を選択しなおしてください。
参照☞P.41「［テープ設定］画面」

印刷部数　：同じラベルを複数印刷するときは、「印刷部数」を変更します。複数印刷を指定しても、貼り合わせラベル以外では順序印刷を変更できません。

❺ 内容が正しければ［OK］をクリックする

テープ幅確認のメッセージが表示されます。

❻ テープ幅を確認する

テープ幅設定値　：［新規作成］や［テープ設定］画面などで設定したテープ幅が表示されます。
参照☞P.39「新規作成」
参照☞P.41「テープ設定を変更する」

装着テープ幅　：「テプラ」PRO本体に装着されているテープカートリッジのテープ幅が表示されます。
「テープ幅設定値」と「装着テープ幅」が異なっていると、正確な印刷結果が得られません。そのときは［キャンセル］をクリックして［テープ幅設定値］と［装着テープ幅］が揃うように設定してください。

MEMO

テープ幅確認メッセージは、表示しないように設定することもできます。表示しないように設定するには、［プリンタプロパティ］画面のオプションタブをクリックし、「テープ幅確認メッセージを表示する」のチェックマークをはずしてください。

❼ ［OK］をクリックする

印刷を開始します。「印刷中」の画面で［中止］をクリックすると、印刷を中止します。

!! 注意 !!

- 本機の印刷中や、テープ送り時にACアダプタ・USBケーブルをはずさないでください。印刷やテープ送りができなくなります。
- 塗りつぶしの多い図形、文字などによっては印刷するとカスレが発生することがあります。

Win・SPC9

文書を保存する

作ったラベルの保存は、現在のファイル名でそのまま保存する「上書き保存」と、別のファイル名を入力して保存する「名前を付けて保存」があります。

❶ (保存)をクリックする

ファイルを開いた場所に同じ名前で上書き保存します。新規に作成したラベルの場合は、[名前を付けて保存] 画面が表示されます(手順❷へ)。

❷ ファイル名を入力して [保存] をクリックする

作った文書が保存され、編集画面に戻ります。
「保存する場所」の ▼ や などをクリックして、保存場所を変更することもできます。

MEMO

- 上書き保存は、[ファイル] ― [上書き保存] を選択しても実行できます。
- 別のファイル名で保存する場合は、[ファイル] ― [名前を付けて保存] を選択します。[名前を付けて保存] を選択すると、手順❷の [名前を付けて保存] 画面が表示され、ファイルの名前を変更できます。

!! 注意 !!

- 上書き保存をおこなうと、開いたもとのファイルの内容が書き換わります。充分に確認してから上書き保存をしてください。
- SPC9では、通常「SPC9 DRAW3ファイル(TPC)形式」で保存されます。ただし、上書き保存の場合は、開いたもとの形式のまま保存されます。
  「SPC5 DRAWファイル(TPB)形式」や「SPC9 DRAWファイル(TPA)形式」で保存することもできますが、機能が一部制限されます。
- 「SPC9 DRAW3ファイル(TPC)形式」で保存したファイルは、「PCラベルシステム SPC5」Ver.1.0や「PCラベルシステム SPC9」Ver.1.0〜2.3、「シンプルラベルソフトSPC3」で開くことはできません。

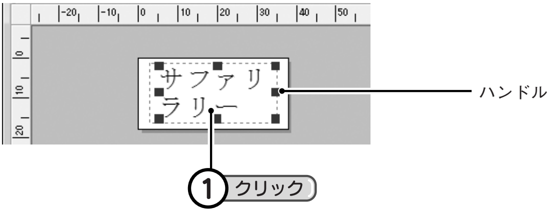
文字の編集

入力した文字は、文字ツールバーで書体やサイズを変更したり、装飾することができます。

書体を変更する

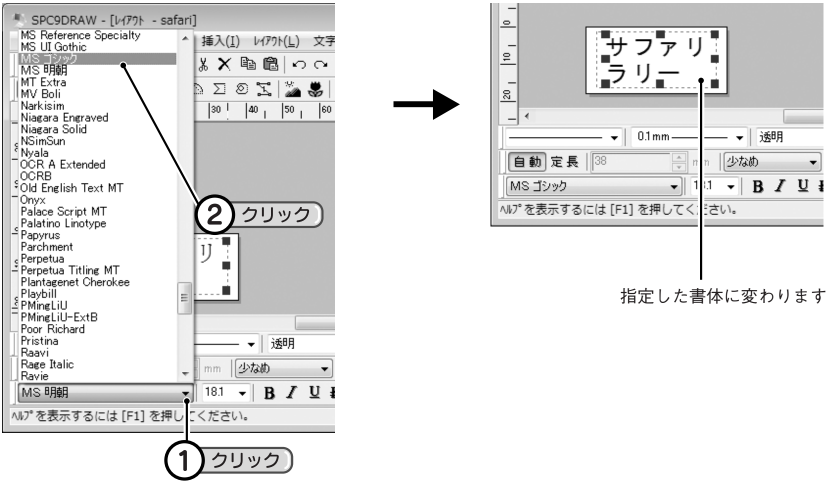
❶ テキストをクリックする

テキストブロックがハンドルつきで表示されます。



❷ 文字ツールバーの［フォント名］で書体を指定する

表示されるリストから書体を選択します。



!! 注意 !!

定型外国語の中国語と韓国語のテキストブロックは書体の変更ができません。

MEMO

- パソコンに内蔵されている書体（True Typeフォントのみ）が指定できます。
- 一部のフォントを使用した場合、テキストブロックからはみ出して表示されます。表示されているテキストが赤点線で表示されている印刷領域内に収めてください。その際、テキストブロックを動かすと残像が出ることがあるので、［表示］ー［再表示］をおこなってください。

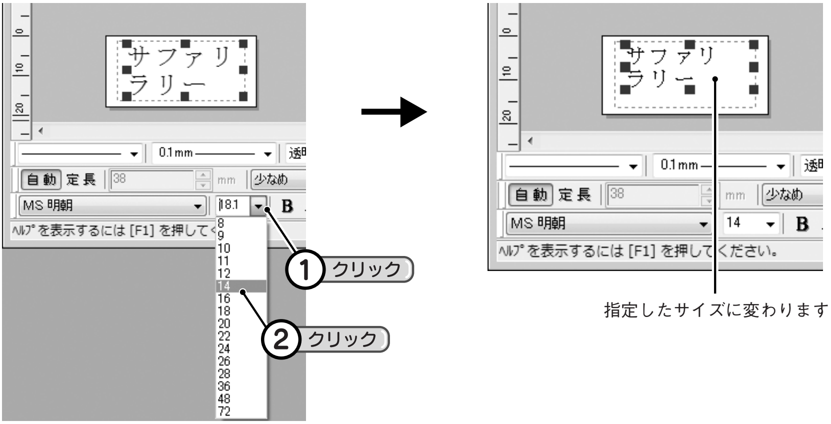
文字サイズを変更する

❶ **テキストをクリックする**

テキストブロックがハンドルつきで表示されます。

❷ **文字ツールバーの［フォントサイズ］で文字サイズを指定する**

表示されるリストから数値を選択するか、直接入力します。



MEMO

文字サイズは、カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに拡大、縮小できます。目的の文字サイズで指定するときは、上図のように数値を指定します。また、キーボードの＜Shift＞キーもしくは＜Ctrl＞キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの大きさを自由に変更しながら拡大、縮小できます。

装飾を指定する

❶ **テキストをクリックする**
テキストブロックがハンドルつきで表示されます。

❷ **文字ツールバーの機能ボタンで装飾を指定する**

B（太字）.................. 文字を太字にします。
I（斜体）.................. 文字を斜体にします。
U（下線）.................. 文字に下線をつけます。
（取消し線）............ 文字に二重線の取り消し線をつけます。
（影）..................... 文字に影をつけます。

（左寄せ）.............. 文字列をブロック内の左側に配置します。
（中央合わせ）......... 文字列をブロック内の中央に配置します。
（右寄せ）.............. 文字列をブロック内の右側に配置します。
（均等割付）............ 文字列をブロック内で均等に配置します。

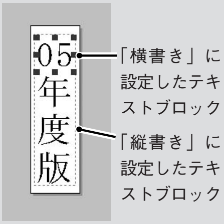
（横書き）.............. 文字列を横書きにします。
（縦書き）.............. 文字列を縦書きにします。

（白抜き）.............. 文字を白抜きにします。
（縁取り）.............. 文字に縁取りをつけます。
（淡文字）.............. 文字を淡い色にします。
（文字の設定）......... ［文字の設定］画面を表示し、フォントや装飾などの詳細を設定します。
参照 P.56「［文字の設定］画面」

MEMO

- フォントや装飾は、テキストブロックを右クリックして［プロパティ］を選択しても変更できます。
- 文字サイズは、カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに拡大、縮小できます。また、キーボードの<Shift>キーもしくは<Ctrl>キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの大きさを自由に変更しながら拡大、縮小できます。
- 操作を間違えて編集した場合は、操作の直後であれば［編集］メニューの［元に戻す］または（元に戻す）で直前の状態に戻すことができます。
- テキストブロックを複数使うと、右図のように、縦書きと横書きが混在するラベルを作成することができます。

「テープの置き方」を「縦」に設定した場合



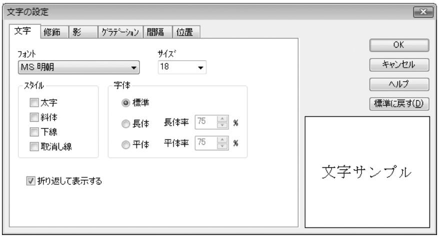
［文字の設定］画面

［文字の設定］画面は、テキストブロックを選択して（文字の設定）をクリックまたは、テキストブロックを右クリックして［プロパティ］を選択すると表示されます。

［文字の設定］画面

タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。
設定の結果は、右側のイメージで確認できます（［間隔］タブは除く）。
設定変更後、［OK］をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

［文字］タブ



フォント .... 書体を選択します。
サイズ .... 文字サイズを選択します。
スタイル .... 文字のスタイルを指定します。
字体 .... 字体を指定します。長体は縦長に、平体は横長になります。
折り返して表示する
.... テキストブロック内で行を折り返すかどうか設定します（設定メニューの環境設定の［文字］タブでは表示されません）。

!! 注意 !!
定型外国語の中国語と韓国語のテキストブロックは、「フォント」で書体を選択できません。

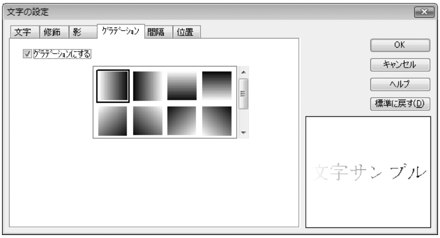
［修飾］タブ

文字の色 .... 文字の表面を選択します。
輪郭をつける ... 文字に輪郭をつけます。
輪郭 .... 輪郭の太さを選択します。「任意指定」にすると、mmで指定できます。

［影］タブ

影をつける ...... 文字に影をつけます。
影の色 .... 影の表面を選択します。

［グラデーション］タブ

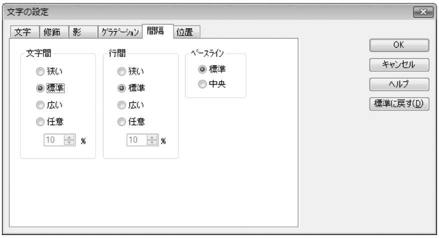


グラデーションにする

.... 文字にグラデーションをつける場合にチェックし、グラデーションのパターンを選択します。

> **MEMO**
> - グラデーションなどの修飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。
> - SR550、SR530、SR520、SR520X、SR3500Pでグラデーションを指定した印刷を実行すると、画面に表示されたイメージよりも粗くなります。

［間隔］タブ



文字間 .... 文字と文字の間を指定します。

行間 .... 行と行の間を指定します。

ベースライン .. 文字のベースラインの位置を指定します。

［位置］タブ

ブロックの座標 ..... テキストブロックの左上の位置を指定します。

ブロックの大きさ ... テキストブロックのサイズを表示します。
ここでサイズを変更することはできません。

ブロックの回転角 .. テキストブロックの回転角度を指定します。

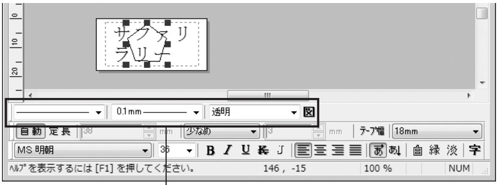
> **MEMO**
> - ［位置］タブは、テキストブロックを右クリックして［プロパティ］を選択したときのみ表示されます。
> - テキストブロックを選択しないで、字（文字の設定）をクリックしたときの［文字の設定］画面で変更した設定内容は、変更後に入力した文字すべてに反映されますが、アプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。文字の設定の初期設定を変更したい場合は、［環境設定］画面（［設定］－［環境設定］を選択）で変更できます。［環境設定］での変更内容は、次回のテキストブロック挿入時より反映されます。

◎図形の編集

図形は、図形ツールバーで線の種類や表面の塗りつぶしを変更できます。

❶ **図形をクリックする**
図形ブロックがハンドルつきで
表示されます。

❷ **図形ツールバーの機能ボタンで装飾を指定する**



図形ツールバー

（線）................ 線の種類を選択します。

（線の太さ）....... 線の太さを選択します。

（塗りつぶし）.... 図形内の塗りつぶしの種類を選択します。

図（図形の設定）....................... 「図形の設定」画面を表示し、線や塗りつぶし、形状などの詳細を設定します。
参照 P.59「［図形の設定］画面」

MEMO

- 線や塗りつぶしは、図形ブロックをダブルクリックして開く図形のプロパティ画面でも変更できます。図形のプロパティ画面は、図形を右クリックして表示される［プロパティ］コマンドでも開きます。
参照 P.59「［図形の設定］画面」
- 塗りつぶしを指定した際、テキストブロックが隠れて見えなくなってしまった場合は、図形ブロックを背面に移動してください。
参照 P.64「前面・背面に移動する」
- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。

!! 注意 !!

塗りつぶしの多い図形は、印刷すると図形や文字にカスレが発生することがあります。

［図形の設定］画面

［図形の設定］画面は、図形を選択して図(図形設定)ボタンをクリック、図形ブロックをダブルクリックまたは右クリックして［プロパティ］を選択すると表示されます。

［図形の設定］画面

タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。
設定の結果は、右側のイメージで確認できます。
設定変更後、［OK］をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

［線］タブ

種類 ...... 線の種類を選択します。

太さ ...... 線の太さを選択します。

矢印 ...... 線を矢印にする場合の形状を指定します。

［塗りつぶし］タブ

種類 ...... 図形の表面の模様を選択します。

［形状］タブ

角丸正方形／角丸長方形
……………… 角の丸みを％で指定します。

正多角形 …. 形状と角数を指定します。星形の場合は比率も指定します。

扇形 ………. 扇形の形状を選択します。

［位置］タブ（［図形のプロパティ］画面のみ）

ブロックの座標 …… 図形ブロックの左上の位置を指定します。

ブロックの大きさ …. 図形ブロックのサイズを指定します。

ブロックの回転角 … 図形ブロックの回転角度を指定します。

MEMO

- ［位置］タブは、図形ブロックをダブルクリックまたは、右クリックして［プロパティ］を選択したときのみ表示されます。
- 図形ブロックを選択しないで、図（図形の設定）をクリックしたときの［図形の設定］画面で変更した設定内容は、変更後に入力した図形すべてに反映されますが、アプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。図形の設定の初期設定を変更したい場合は、［環境設定］画面（［設定］－［環境設定］を選択）で変更できます。［環境設定］での変更内容は次回の図形挿入時より反映されます。

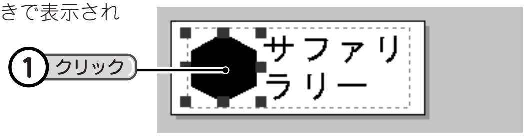
ブロックを編集する

テキストブロックや図形ブロックは、位置を移動したり、同じものを複写することができます。また、重なって隠れている部分の前後を入れ換えたり、複数の要素の位置を揃えて並べることができます。

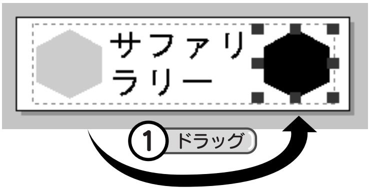
移動する

例：多角形を後ろに移動する

❶ 移動するブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。



❷ ブロックをドラッグして位置を移動する



MEMO

- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。
- ハンドルつきで表示されているブロックは、パソコンのカーソルキーで位置を移動できます。

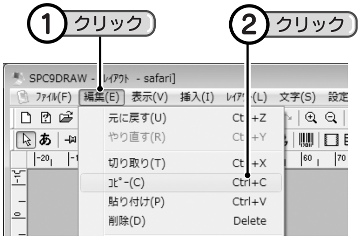
複写する

ブロックをコピーして貼りつけると、同じものが複写できます。

例：多角形を後ろにコピーする

❶ 複写するブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

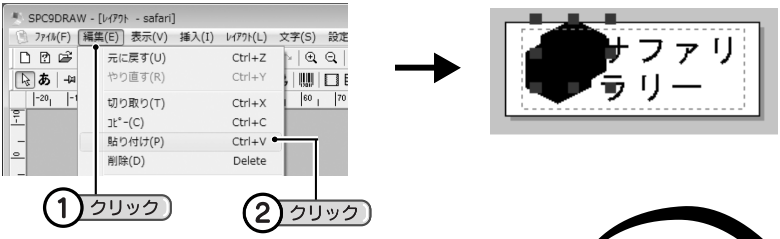
❷［編集］－［コピー］を選択する
ブロックがクリップボードにコピーされます（表示は変わりません）。



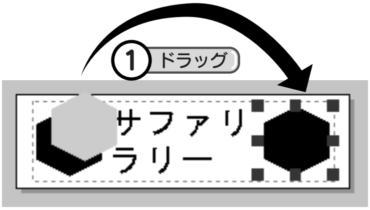
次へ進みます

❸ ［編集］－［貼り付け］を選択する

ブロックがラベル上に貼りつけられます。



❹ 貼りつけたブロックをドラッグして位置を移動する



MEMO

- 手順❷で［コピー］の代わりに［切り取り］を選択すると、選択したブロックが削除されます。そのあとに［貼り付け］を選択すると、切り取ったブロックを貼りつけることができます。
- 手順❸でさらに［貼り付け］を選択すると、複数のブロックを貼りつけることができます。
- 他のソフトでテキストや図形を［コピー］または［切り取り］したあと、このソフト上で［貼り付け］を選択すると、テープ上に貼りつけることができます。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。
- ［コピー］や［貼り付け］などは、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。
- コピーするブロックを選択したあと、パソコンのキーボードの＜Ctrl＞キーを押しながらブロックをドラッグしてもコピーできます。

回転する

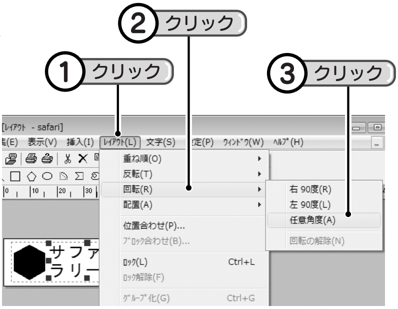
例 ：テキストブロックを任意の角度に回転する

❶ 回転させたいブロックをクリックする

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

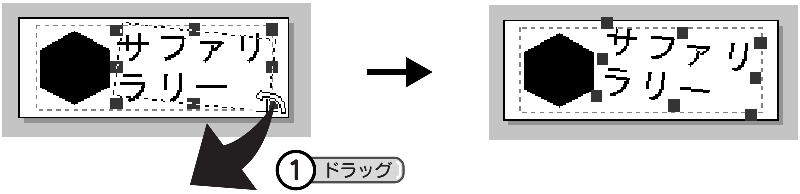
❷ ［レイアウト］－［回転］－［任意角度］を選択する

回転が指定できるようになります（マウスカーソルをハンドルに近づけると、矢印に変わります）。



❸ **ハンドルをドラッグして回転させる**

マウスを離すと、回転角度が固定されます。



MEMO

- 手順❷で［回転］－［右90度］や［左90度］を選択すると、右または左に90度回転します（手順❸の操作は不要です）。
- 手順❸の操作のあとでさらに回転したいときは、再度手順❷の操作をします。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。また、［レイアウト］－［回転］－［回転の解除］を選択してももとに戻ります。

反転する

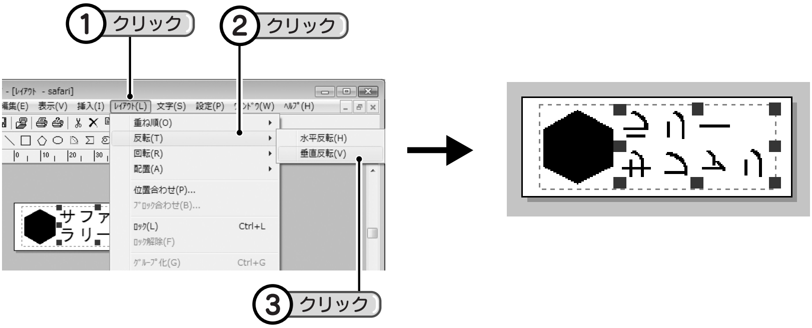
例：テキストブロックを垂直反転する

❶ **反転するブロックをクリックする**

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

❷ **［レイアウト］－［反転］－［垂直反転］を選択する**

上下に反転します。



MEMO

- 手順❷で［反転］－［水平反転］を選択すると、左右に反転します。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。
- グループ化したブロックおよび流し込み機能による流し込み枠は、［反転］は選択できません。

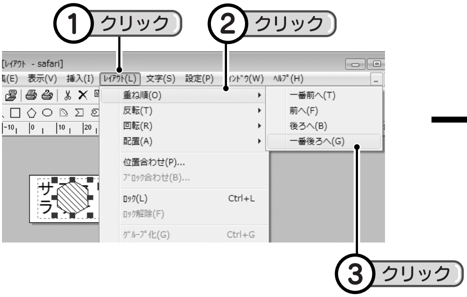
前面・背面に移動する

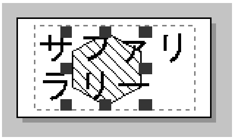
ブロックが重なって隠れてしまった場合、それぞれのブロックを背面や前面に移動することができます。

例：図形ブロックをテキストブロックの背面に移動する

❶ **移動するブロックをクリックする**
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

❷ **［レイアウト］－［重ね順］－［一番後ろへ］を選択する**
図形ブロックがテキストブロックの背面になります。





一番前へ	選択されているブロックを、重なっている図形の最前面に移動します。
前へ	選択されているブロックを、重なっている中で1段階だけ前面に移動します。
後ろへ	選択されているブロックを、重なっている中で1段階だけ背面に移動します。
一番後ろへ	選択されているブロックを、重なっている図形の最背面に移動します。

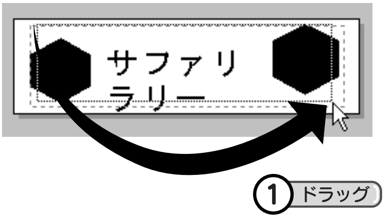
MEMO

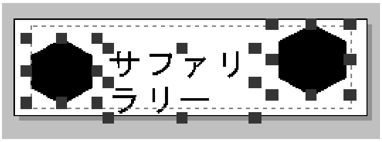
- 手順❷で［後ろへ］を繰り返しおこなっても同じ結果になります。
- 手順❶でテキストブロックを選択し、手順❷で［一番前へ］を選択しても同じ結果になります。
- ブロックの前後関係によっては、背面のブロックをマウスで選択できない場合があります。この場合は、前面のブロックを［後ろへ］移動するなどすれば、選択できるようになります。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。
- 特に設定しない場合、ブロックは作った順に上に重なります。
- 前後の移動コマンドは、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

位置を揃える

例：各ブロックの上下中央を指定した位置（またはブロック）に揃える

❶ **すべてのブロックをマウスでドラッグして囲む**
すべてのブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。



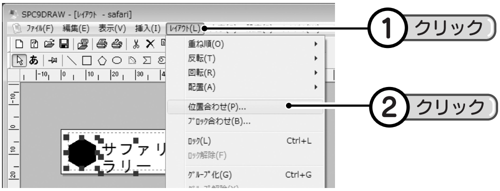


MEMO

パソコンのキーボードの<Shift>キーを押しながら各ブロックをクリックしても、複数のブロックを選択できます。すべてのブロックを選択する場合は、［編集］－［全体選択］を選択します。

❷ ［レイアウト］－［位置合わせ］（または［ブロック合わせ］）を選択する

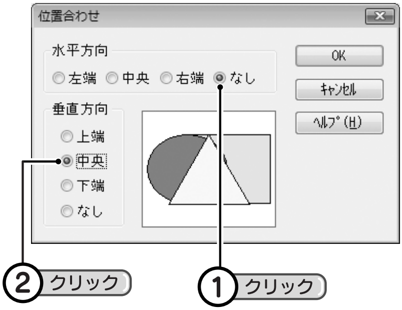
［位置合わせ］画面（または［ブロック合わせ］画面）が表示されます。



❸ 水平方向と垂直方向の位置を選択する

上下の中央に揃える場合は、水平方向を「なし」、垂直方向を「中央」にします。

中央のラベルイメージの位置が変わります。

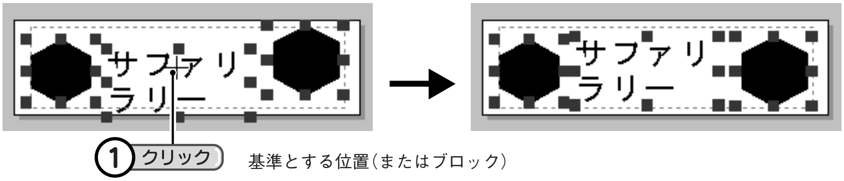


❹ ［OK］をクリックする

レイアウト編集画面に戻ります。

❺ 基準とする位置（またはブロック）をクリックする

選択している他のブロックが基準に対し、指定した条件で揃います。



基準とする位置（またはブロック）

MEMO

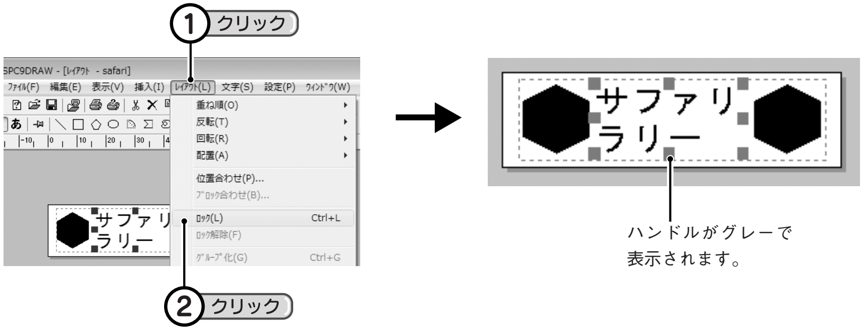
- 各ブロックをラベルの上下中央で揃えるときは、手順❷で［レイアウト］－［配置］－［上下中央］を選択します。［配置］コマンドには、この他、次の機能があります。
  - 左右中央 .... ラベルの左右中央に揃えます（テープ長「定長」設定時のみ）。
  - 水平等間隔 .... 左右の間隔がすべて同じになるよう配置します（ブロックが3つ以上選択されている場合のみ）。
  - 垂直等間隔 .... 上下の間隔がすべて同じになるよう配置します（ブロックが3つ以上選択されている場合のみ）。
  - テープの先端 .... 選択したブロックを印刷範囲（赤い点線）上下中央の左端に配置します。
  - テープの末端 .... 選択したブロックを印刷範囲（赤い点線）上下中央の右端に配置します。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。
- ［位置合わせ］や［ブロック合わせ］は、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

ブロックをロックする

テキストブロックや図形ブロックをロックすると、そのブロックが編集できなくなります。誤って変更すると困る内容は、ロックしておくと安心です。

❶ ロックしたいブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

❷ ［レイアウト］－［ロック］を選択する
選択しているブロックがロックされ、編集できなくなります。



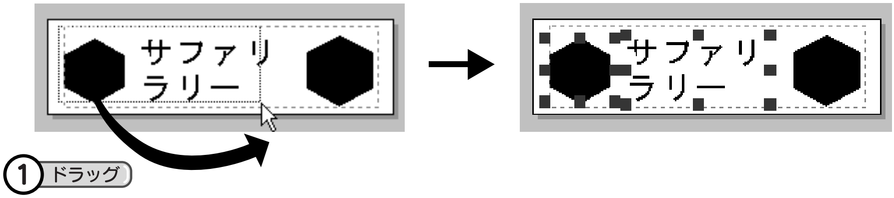
MEMO

- ロック中のブロックは、選択したときのハンドルがグレーで表示されます。
- ロックを解除するには、ブロックを選択し、［レイアウト］－［ロック解除］を選択します。

ブロックをグループ化する

複数のブロックをグループ化すると、一体のブロックとして編集できるようになります。まとめて位置やサイズを変更したい場合などに便利です。

❶ グループ化したいブロックをマウスでドラッグして囲む
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

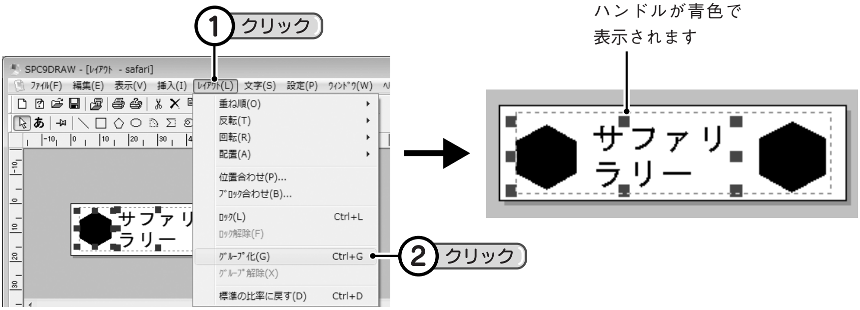


MEMO

- パソコンのキーボードの<Shift>キーを押しながら各ブロックをクリックしても、複数のブロックを選択できます。
- すべてのブロックを選択する場合は、［編集］－［全体選択］で選択できます。

❷ **［レイアウト］－［グループ化］を選択する**

選択しているブロックがグループ化されます。



MEMO

- グループ化したブロックは、選択したときのハンドルが青色で表示されます。
- グループ化したブロックは、反転することができません。
- グループを解除するには、ブロックを選択し、［レイアウト］－［グループ解除］を選択します。
- ［グループ化］は、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

削除する

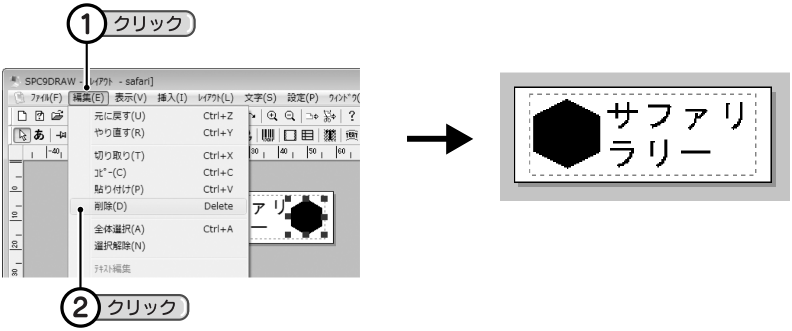
例：後ろの図形ブロックを削除する

❶ **削除するブロックをクリックする**

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

❷ **［編集］－［削除］を選択する**

選択していたブロックが削除されます。



MEMO

- 手順❷でパソコンのキーボードの<Delete>キーを押しても削除できます。
- 手順❷で［編集］－［切り取り］を選択しても削除できます。
- すべてのブロックを削除する場合は、［編集］－［全体選択］で全ブロックを選択してから削除します。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば［編集］－［元に戻す］で直前の状態に戻すことができます。
- ［削除］は、ブロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

Win・SPC9

流し込み機能

流し込み操作の流れ

SPC9では、あらかじめ作っておいたデータの項目をラベルにレイアウトして印刷する機能があります。住所録からあて名ラベルを作るときなどに便利です。

❶ データ作成

流し込み用のデータは、データ作成画面で作成します。
SPC9でデータ作成画面を開き、住所など必要な項目を入力します。
データ作成画面に他のアプリケーションで作った「XLS形式」や「XLSX形式」、「CSV形式」のデータを読み込むこともできます。

参照 ☞P.69「データを新規作成する」

❷ 流し込み(レイアウト操作)

データ作成画面のデータをレイアウト編集画面のラベル上に列単位で流し込み、レイアウトします。

参照 ☞P.72「データを流し込む」

❸ 印刷

印刷します。
データが行ごとに流し込まれ、複数枚のラベルが連続して印刷されます。

参照 ☞P.73「データを流し込み印刷する」

データを新規作成する

データ作成画面を開き、流し込み用のデータを新規に作成します。

❶ ［新規作成］画面で、［データ作成ウィンドウを開く］を設定する

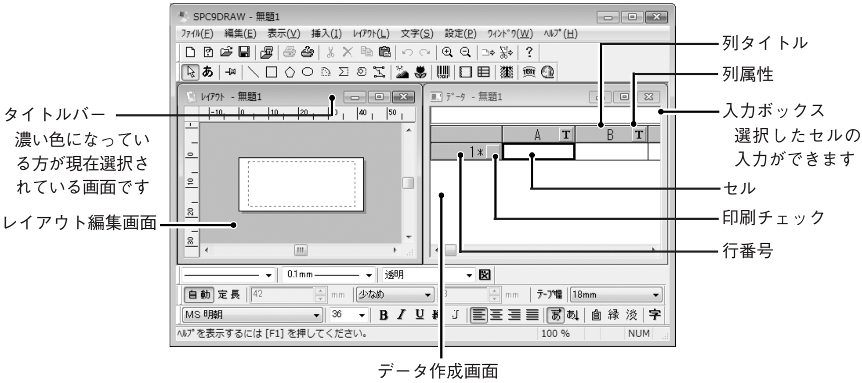
［新規作成］画面で、［データ作成ウィンドウを開く］のチェックボックスにチェックを入れて［OK］をクリックします。

参照 ☞P.39「新規作成」

レイアウト編集画面で［ウィンドウ］－［データ作成ウィンドウを開く］を指定しても開くことができます。

データ作成画面が表示されると、データを入力できます。

参照 ☞P.71「データを入力する」



セル	データを入力する枠です。選択しているセルには太い枠がつきます。
列タイトル	その列のタイトルをつけられます。 タイトルをつけない場合は、A、B…となります。
列属性	その列のデータの種類を示します。 属性には、以下の種類があります。 T（テキストデータ）（イメージデータ）（バーコード）（カスタマバーコード） **参照 ☞P.77「テキスト以外のデータを入力する」**
行番号	何行目かを示します。選択している行には「＊」がつきます。
印刷チェック	流し込み印刷時に、チェックマークをつけた行のみ印刷することができます。

MEMO

カスタマバーコードの表記方法や住所表示番号については、「カスタマバーコードについて」を参照してください。

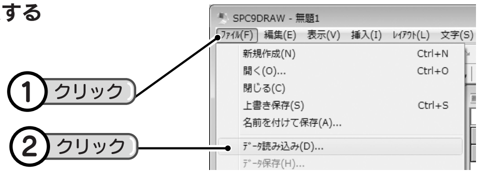
参照 ☞P.105「カスタマバーコードについて」

既にあるデータを読み込む

既にSPC9や市販のアプリケーションで作ってあるデータを読み込んで利用することができます。

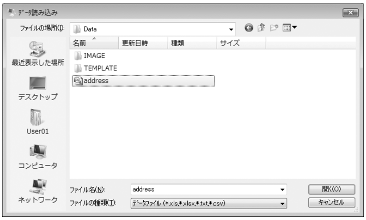
❶ ［ファイル］－［データ読み込み］を選択する

［データ読み込み］画面が表示されます。



❷ ファイルを指定して［開く］をクリックする

［データ読み込み］画面にファイルがない場合は、「ファイルの場所」の ▼ や などをクリックして、保存した場所を表示させます。

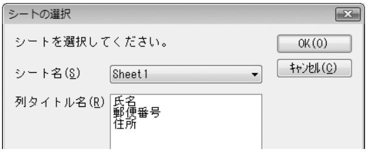


❸ Excelファイルの場合は、シート名を選択し、［OK］をクリックする

「CSV形式」、「TXT形式」の場合はこの手順は不要です。

データ作成画面が表示され、データを流し込めます。

参照 P.72「データを流し込む」



MEMO

- 読み込めるデータは、「XLS形式(Excelで作成したデータ)」、「XLSX形式(Excel2007で作成したデータ)」、「TXT形式」、「CSV形式(カンマ区切りのテキスト)」のファイルです。
- 読み込めるデータは、行数が最大32,767行、列数が最大64列です。
- 既にデータ作成画面にデータが入力されているときは[読み込み方法の選択]画面が表示されますので、読み込み方法を選択してください。
- Excelファイルを読み込む場合は、以下の点に注意してください。
  - 読み込みできるデータは、Microsoft® Excel5.0/7.0/95/97/2000/2002/2003/2007のファイルです。
  - シート名、列のタイトルの1文字目にスペースは使用できません。
  - データは2行目から認識します。1行目には A1から列のタイトルを入力してください。
  - 1行目の列のタイトルは、列タイトルとして読み込まれます。
  - タイトルがついていても、データの入力されていない列は読み込まれません。
  - Excelの表示形式で指定した日付や通貨表示等は読み込まれません。
  - Excelファイルの計算式は反映されません。
  - 数値データは、桁数が多いと指数表示や異なる値で読込まれる場合があります。Excelでセルの表示形式を文字列として入力したデータをお使いください。
  - セルの表示形式が「数値」のものと「文字列」のものが複雑に混在しているデータを読み込む場合、一部のセルの値が読み飛ばされることがあります。このようなデータを読み込む際には、そのシートを「CSV形式」で保存してから使用してください。
  - 保存時に既存のファイル名を指定した場合、ファイルそのものが上書きされます。

!! 注意 !!

「XLS形式」、「XLSX形式」のデータを読み込むには、各ファイル形式に対応したMicrosoft® Excelがインストールされている必要があります。

データを入力する

データ作成画面にデータを入力します。

例：あて名ラベル用の住所データを作る

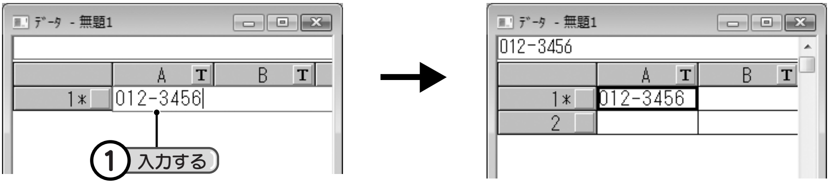
❶ **データ作成画面が表示されていないときは［ウィンドウ］－［データ作成ウィンドウを開く］を選択する**

参照 ☞P.69「データを新規作成する」

❷ **1行目の最初の列をダブルクリックしてデータを入力する**

ダブルクリックすると、セル内にカーソルが表示されて入力できます。

入力後＜Enter＞キーを押すか、入力したセル以外の場所をクリックすると、自動的に2行目が表示されます。



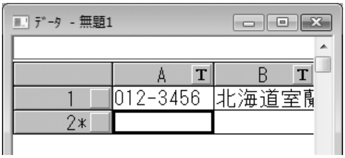
!! 注意 !!

中国語や韓国語を入力することはできません。

MEMO

- データ入力は、セルを選択してから［編集］－［データ入力］を選択しても入力できます。また、入力ボックスでも入力できます。
- セル内に改行を入力することはできません。

❸ **同様に、2列目以降を入力し、1行目を完成する**



MEMO

文字(テキストデータ)以外を入力する場合は列属性を変更します。

参照 ☞P.77「テキスト以外のデータを入力する」

❹ **同様に、2行目以降を入力し、データを完成する**

作ったデータはラベルに流し込んで印刷できます。

❺ **データ流し込み作業をおこない、ラベルを印刷する**

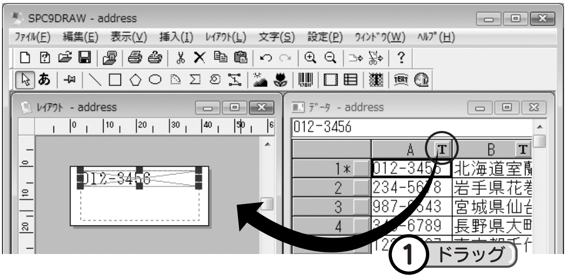
参照 ☞ P.72「データを流し込む」
参照 ☞ P.73「データを流し込み印刷する」

データを流し込む

作ったデータや読み込んだデータをラベル上にレイアウトすると、自動的にデータが流し込まれます。

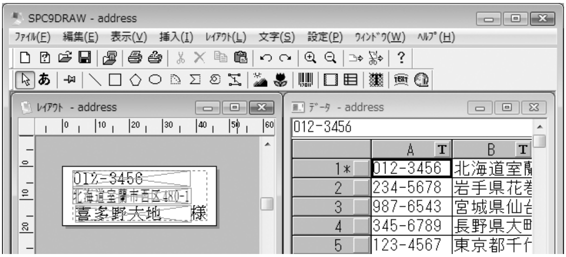
例：あて名ラベルをレイアウトする

❶ **ラベルに流し込みたい列の属性アイコンをドラッグし、ラベル上に移動する**
属性アイコンにマウスカーソルを合わせてドラッグすると、カーソルが手の形に変わります。
ラベル上にデータが流し込まれ、流し込み枠が表示されます。



❷ **同様に、必要な列の属性アイコンをドラッグする**

❸ **流し込み枠の位置とサイズを変更してレイアウトする**
移動やサイズ変更は、テキストブロックや図形ブロックの操作と同じです。



MEMO
データの流し込みは、レイアウト編集画面を選択した状態で［挿入］－［流し込み枠］を選択し、表示される［流し込みデータ選択］画面で列を選択して［OK］をクリックしても流し込めます。

!! 注意 !!
- 流し込み枠の文字サイズは、流し込み枠を超える大きさに設定することはできません。流し込み枠を超える大きさに設定する場合は、流し込み枠のハンドルをドラッグして流し込み枠の大きさを変更してください。
- 流し込みの場合、文字数に関わらず流し込み枠の大きさは一定です。文字数が多い場合、文字の横幅や文字間をつめて流し込み枠内にデータが入るようにします。
- 流し込み枠内で改行・折り返しはできません。

データを流し込み印刷する

❶ 印刷する行に印刷チェックマークをつける

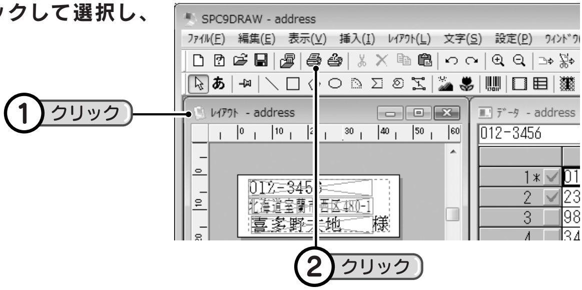
印刷する各行番号の右側のボックスをクリックしてチェックマークをつけます。
すべての行を印刷するときはチェックマークは不要です。

MEMO

チェックマークは、データ作成画面で右クリックしたときに表示される［印刷チェック］メニューでも指定できます。
あらかじめ、目的の行のセルを範囲選択しておき、「選択部分をチェック」を指定することで、選択しているセルの行に一括でチェックを付ける/外すことができます。

❷ レイアウト編集画面をクリックして選択し、（印刷）をクリックする

［印刷］画面が表示されます。



!! 注意 !!

（印刷）は、レイアウト編集画面が選択されていないとクリックできません。

❸ データ流し込み印刷条件を指定して印刷する

「連続流し込みを行う」にチェックマークをつけます。
印刷チェックマークをつけた行のみを印刷するときは、「データ作成ウィンドウでチェックしたデータを印刷する」を選択してから印刷します。
すべての行を印刷するときは、「すべてのデータを使って印刷する」を選択してから印刷します。

参照 ☞P.49「印刷する」

データを保存する

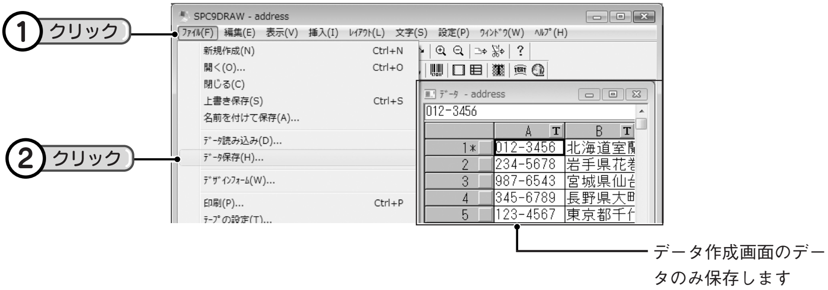
作ったデータは、データのみを保存する方法(「XLS形式」、「XLSX形式」、「TXT形式」、「CSV形式」)と、レイアウトしたラベルごと保存する方法(「TPC形式」、「TPB形式」、「TPA形式」)があります。

データのみ保存する

データ作成画面に入力したデータのみ保存します。

❶ ［ファイル］－［データ保存］を選択する

［データ保存］画面が表示されます。



❷ ファイル名を入力して［保存］をクリックする

データ入力画面部分が保存されます。

「保存する場所」の ▼ や などをクリックして、保存場所を変更することもできます。

MEMO

- 保存できるファイルの形式は、「XLS形式(Excelで作成したデータ)」、「XLSX形式(Excel2007で作成したデータ)」、「TXT形式」、「CSV形式(カンマ区切りのテキスト)」のファイルです。
- 「XLS形式」、「XLSX形式」で保存すると、列タイトルが1行目のデータとして保存されます。「CSV形式」、「TXT形式」の場合、列タイトルは保存されません。
- Excelドライバの仕様により、特定のコードを列タイトルに含むデータの保存もしくは読み込みでエラーになる場合があります。
- 保存したデータを読み込むときは、［ファイル］－［データ読み込み］でファイルを指定します。
- ［ファイル］－［データ保存］では、レイアウトしたラベルは保存されません。

すべて(データとレイアウトしたラベル)を保存する

ラベルを保存する操作と同様、［ファイル］－［上書き保存］または［名前を付けて保存］で保存すると、ラベルレイアウトにデータを含めた状態で保存されます。

参照 ☞P.52「文書を保存する」

行や列を挿入する

❶ 挿入位置の直後の行または列をクリックして選択し、［編集］の［行挿入］または［列挿入］を選択する

行または列が挿入されます。

行や列を削除する

❶ 削除する行または列をクリックして選択し、［編集］の［行削除］または［列削除］を選択する

選択した行または列が削除されます。

MEMO

- ［貼り付け］コマンドでデータを貼りつけると、そのセルのもとのデータは削除され、貼りつけたデータになります。
- 行全体を選択して［削除］すると、その行そのものが削除されます（行削除と同様の結果になります）。列全体を選択して［削除］しても、セル内のデータのみ削除し、列は空白のまま残ります。

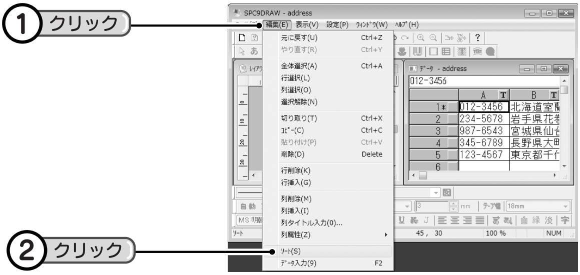
行を並び換える(ソート)

行の表示順を郵便番号順やフリガナの読み順などに並び換えることができます。

例：郵便番号が数字順（JIS コード順）になるように並び換える

❶ ［編集］－［ソート］を選択する

［ソート］画面が表示されます。



❷ 「並び」と「優先順位」を選択する

「並び」では並び換える順番を選択します。「優先順位」では、並び換えのキーワードになる列を選択します。

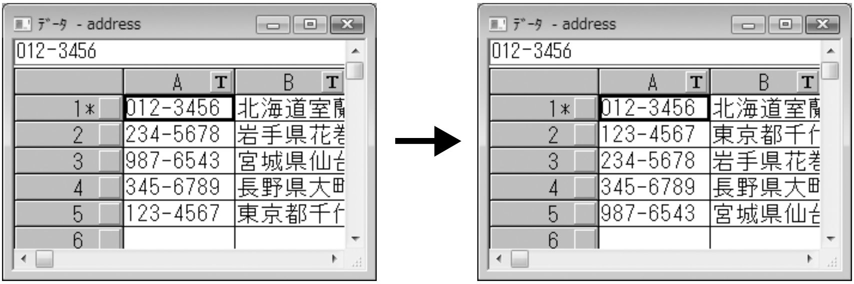
ここでは、郵便番号が入力してある「A列」を選択します。

MEMO

第2優先、第3優先は、第1優先の列に同じ内容のセルがあるときのキーワードになります。

❸ ［OK］をクリックする

データが並び換えられます。



テキスト以外のデータを入力する

データには、住所や名前などのテキスト(文字)だけでなく、イメージやバーコードなどのデータを入力することができます。
テキスト以外のデータを入力するには、列属性を変更する必要があります。

列属性を変更する

変更できる列属性には、以下のものがあります。

T(テキスト) 参照 P.71	文字データを表示できます。	
	データ作成画面	住所や名前などの文字を入力します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で入力した内容を表示します。
(イメージ) 参照 P.78	画像などのイメージを表示できます。	
	データ作成画面	画像などのイメージデータの保存先を指定します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で指定したイメージを表示します。
(バーコード) 参照 P.79	バーコードを表示できます。	
	データ作成画面	指定したバーコードの数字(または英数字)を入力します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で入力したバーコードを表示します。
(カスタマバーコード) 参照 P.79	カスタマバーコードを表示できます。	
	データ作成画面	カスタマバーコードの書式で数字を入力します。
	レイアウト編集画面	データ作成画面で入力したカスタマバーコードを表示します。

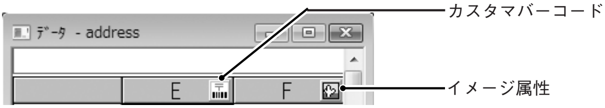
MEMO

- 指定できるバーコードの種類は、[挿入] − [バーコード] で指定するバーコードと同じです。
  参照 **P.100「バーコードを挿入する」**
- カスタマバーコードは、[挿入] − [カスタマバーコード] で指定するカスタマバーコードと同じ要領で指定します。
  参照 **P.105「カスタマバーコードを挿入する」**
- カスタマバーコードは20桁まで入力可能です。21桁以上入力されたセルを指定すると、21桁目以降の数字はカスタマバーコードに反映されません。
- PCD形式のイメージ読み込みには対応していません。

❶ 属性を変更する列をクリックして選択し、[編集] − [列属性] で属性を選択する

変更すると、列の属性アイコンが変わります。
バーコードのときは、バーコードの種類も選択します。

❷ 同様の操作で他の列も変更する



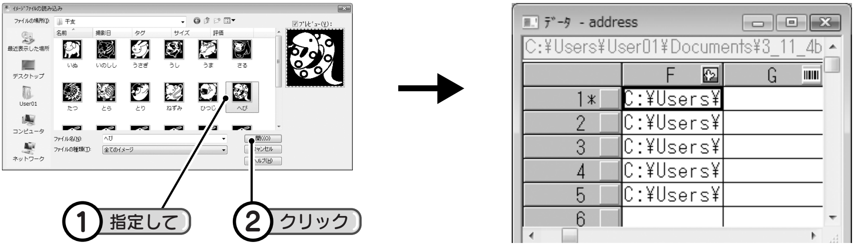
イメージファイルを入力する

❶ 列属性をイメージに変更する

[編集] − [列属性] − [イメージ] を選択します。
参照 ☞P.77「列属性を変更する」

❷ ファイルを指定する

セルをダブルクリックすると、[イメージファイルの読み込み]画面が開いてイメージファイルを指定できます。
セル内には、イメージデータの保存先とファイル名が表示されます。



[イメージファイルの読み込み] 画面にファイルがない場合は、「ファイルの場所」の ▼ や などをクリックして、保存場所を表示させます。

!! 注意 !!

イメージファイルを指定した保存先から移動や削除をおこなうと、反映できなくなります。

バーコードを入力する

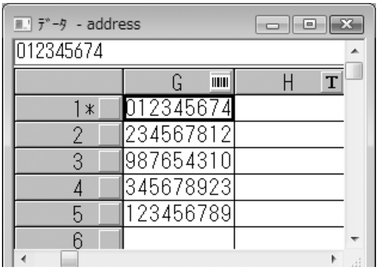
❶ 列属性をバーコードに変更する

［編集］－［列属性］－［バーコード］でバーコードの種類を選択します。

参照 P.77「列属性を変更する」

❷ データを入力する

バーコードの数字を入力します。
レイアウト編集画面に流し込むとバーコードに変換されます。



MEMO

バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。

参照 P.103「バーコードの設定項目」

!! 注意 !!

セル内に改行を入力することはできません。

カスタマバーコードを入力する

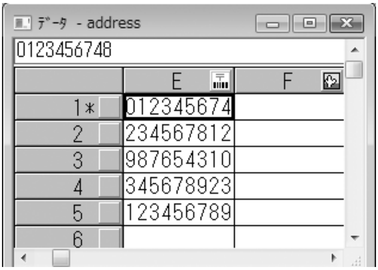
❶ 列属性をカスタマバーコードに変更する

［編集］－［列属性］－［カスタマバーコード］を選択します。

参照 P.77「列属性を変更する」

❷ データを入力する

カスタマバーコードの数字を入力します。
レイアウト編集画面に流し込むとカスタマバーコードに変換されます。
カスタマバーコード入力時、郵便番号の－（ハイフン）は入力しないでください。



MEMO

カスタマバーコードの表記方法や住所表示番号については、「カスタマバーコードを挿入する」を参照してください。

参照 P.105「カスタマバーコードを挿入する」

列のタイトルを変更する

分類しやすいように列のタイトルを変更できます。

❶ A列をクリックして選択し、［編集］－［列タイトル入力］を選択する

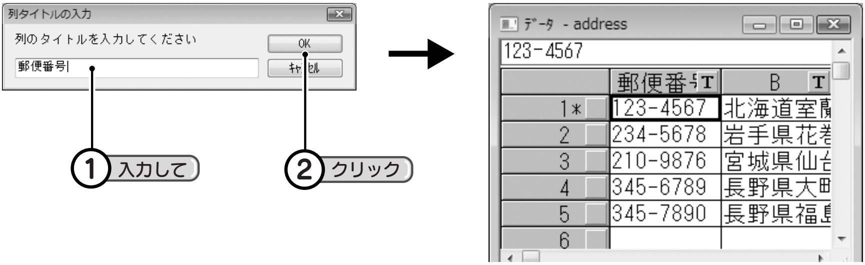
［列タイトルの入力］画面が表示されます。

MEMO

［列タイトルの入力］コマンドは、列を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

❷ 列タイトルを入力して［OK］をクリックする

列タイトルが変更されます。



❸ 同様の操作でB列以降も変更する

貼り合わせラベルを印刷する（貼り合わせ印刷）

ラベル2～8枚を貼り合わせて、約2～8倍の幅のラベルを作ることができます。

貼り合わせラベルを作成する

貼り合わせ印刷をするには、テープ幅の倍率を指定します。

1 「PCラベルシステム SPC9」を起動する

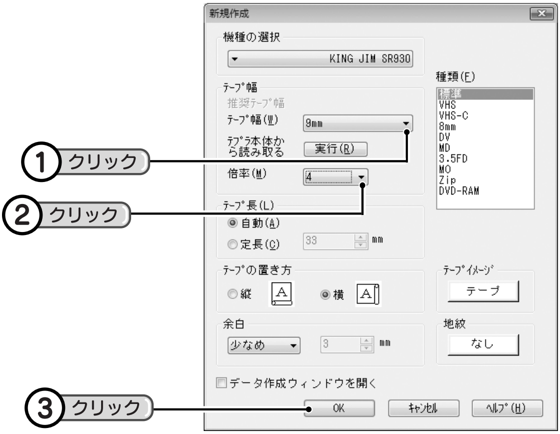
［新規作成］画面が表示されます。

MEMO

レイアウト編集画面から［新規作成］画面を開くときは、［ファイル］－［新規作成］を選択するか、標準ツールバーの（新規ファイル）をクリックします。

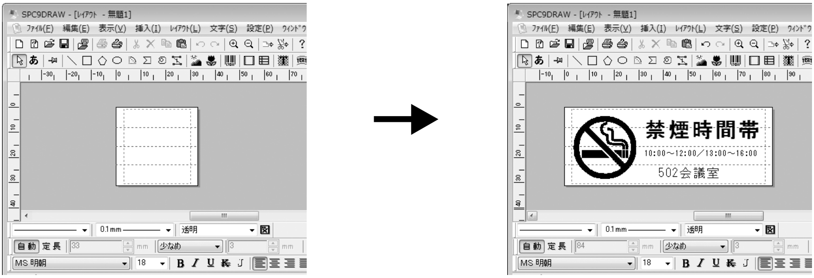
2 ［新規作成］画面でテープ幅と倍率を設定する

［倍率］の項目では貼り合わせたい枚数（1～8）を設定します。
設定後、［OK］をクリックします。



3 ラベルの内容を入力する

［新規作成］画面で設定したラベルの大きさに合わせて文字や記号、イラストなどを入力します。



貼り合わせラベルを印刷する

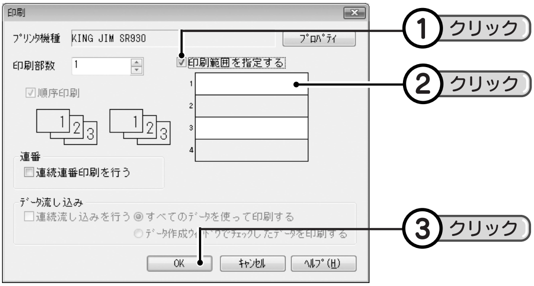
❶ (印刷)をクリックする

［印刷］画面が表示されます。

❷ 印刷を指定する

全体を印刷する場合はそのまま［OK］をクリックします。

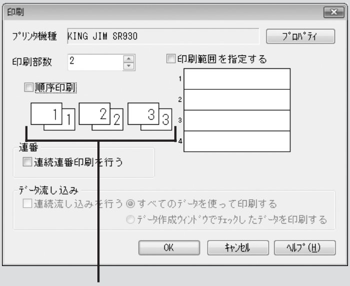
ラベルの一部分を印刷する場合は、「印刷範囲を指定する」にチェックマークをつけ、印刷するラベルをクリックして指定します。



MEMO

- 貼り合わせるラベルそれぞれを、同じ幅の違う色のテープに印刷するとカラフルなラベルを作れます。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換えるときにはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。
- 順序印刷の項目は、貼り合わせラベルの印刷時に「印刷部数」で複数枚数を指定したときに設定できます。チェックマークをつけると、1列目、２列目…とデータ順に印刷します。チェックマークをはずすと、同じ列を指定枚数分続けて印刷してから次の列を印刷します。

チェックを入れたとき



チェックを入れなかったとき

- 貼り合わせるラベルには、それぞれ上下に余白があります。上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。
- 貼り合わせラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。

地紋を挿入する

ラベルの背景に、地紋を入れられます。

!! 注意 !!

地紋は、画面表示の位置と実際の印刷位置が異なる場合があります。

あらかじめ用意された地紋から選ぶ

❶ (地紋)をクリックする

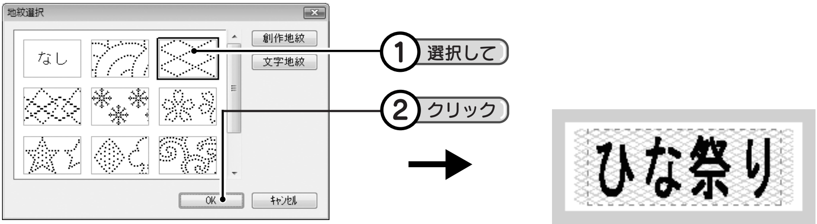
［地紋選択］画面が表示されます。

MEMO

［地紋選択］画面は、［ファイル］－［テープの設定］で表示される［テープ設定］画面で［地紋］をクリックしても表示されます。

❷ 挿入する地紋を選択し、［OK］をクリックする

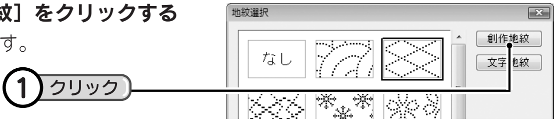
ラベルの背景に地紋が挿入されます。



創作地紋を作る

❶ ［地紋選択］画面で［創作地紋］をクリックする

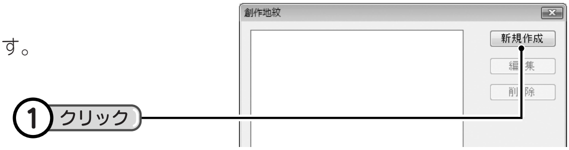
［創作地紋］画面が表示されます。



次へ進みます

❷ ［新規作成］をクリックする

［地紋編集］画面が表示されます。



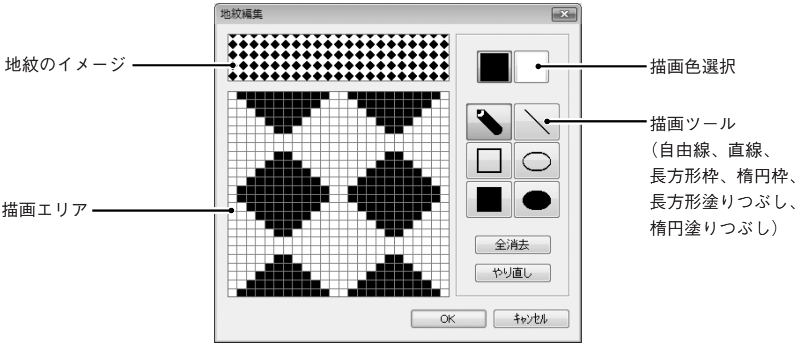
MEMO

- 既に作ってある地紋を変更するときは［編集］をクリックします。
- 作った地紋をラベルに挿入するときは、一覧から選択します(手順❺)。
- 全面を塗りつぶした創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。

❸ 地紋の模様を描く

描画エリアに模様を描きます。

描画色選択で色を選んだあと、ツールを選び、描画エリアのドットを塗りつぶします。

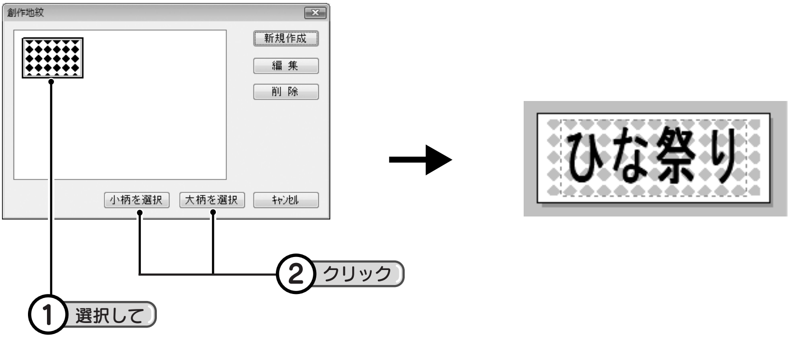


❹ ［OK］をクリックする

創作地紋のリストに登録されます。

❺ 挿入する地紋を選択し、［小柄を選択］または［大柄を選択］をクリックする

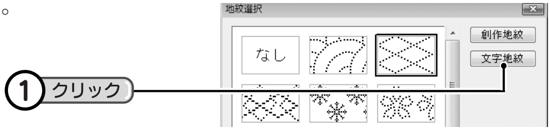
ラベルの背景に地紋が挿入されます。



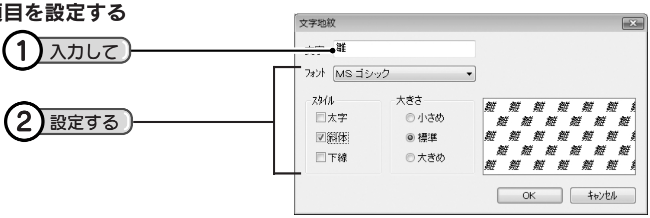
文字地紋を作る

❶ ［地紋選択］画面で［文字地紋］をクリックする

［文字地紋］画面が表示されます。

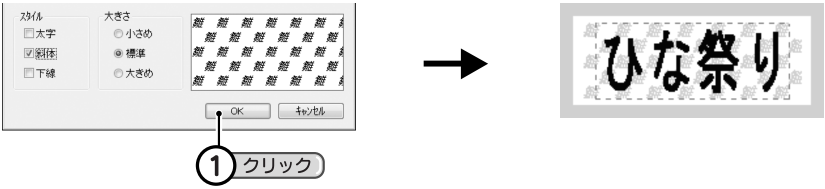


❷ 文字を入力し、各項目を設定する



❸ ［OK］をクリックする

ラベルの背景に地紋が挿入されます。



MEMO

文字の大きさ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。

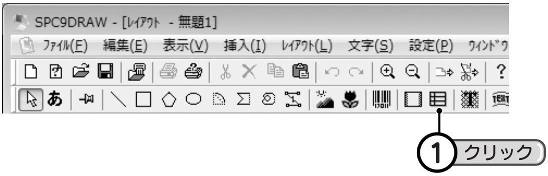
表組みを挿入する

表組み機能を使うと、カンタンに表組みを挿入することができます。

❶ (表組み)をクリックする

［表組み］画面が表示されます。

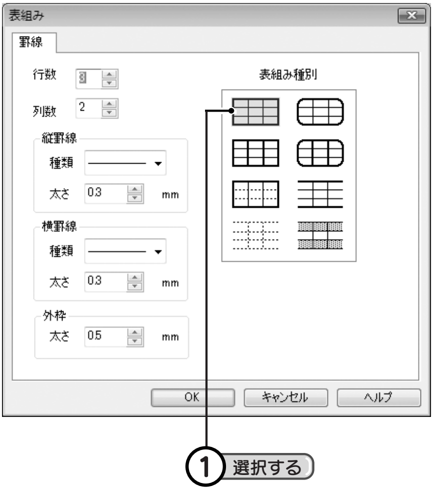
［挿入］-［表組み］を選択しても表示されます。



❷ 内容を指定する

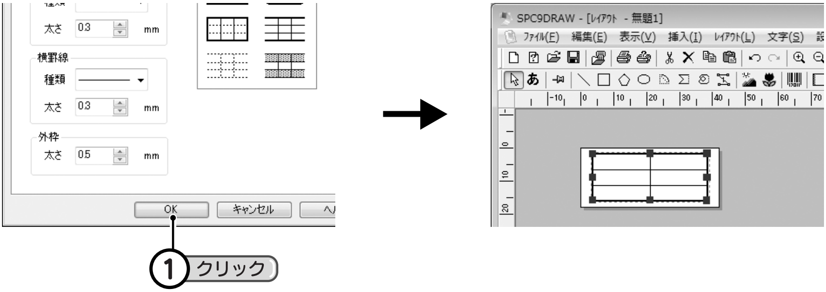
右側の「表組み種別」で表のスタイルを選択し、行数と列数を指定します。
各罫線の種類や太さも変更できます。

表組み種別 .. 表組みのスタイルを指定します。
行数 .... 表の行数を指定します。
1～20の範囲で指定します。
列数 .... 表の列数を指定します。
1～20の範囲で指定します。
縦罫線 .... 縦罫線の種類や太さを指定します。
0.1～5.0の範囲で指定します。
横罫線 .... 横罫線の種類や太さを指定します。
0.1～5.0の範囲で指定します。
外枠 .... 外枠の太さを指定します。
0.1～5.0の範囲で指定します。



❸ ［OK］をクリックする

ラベル幅に合わせて表組みが挿入されます。

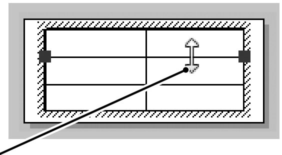


❹ サイズや位置を決める

ハンドルつきの状態でサイズや位置を変更できます。
表組み以外の場所をクリックすると、表組みのサイズや位置が確定します。
表組みをクリックすると、罫線の位置を変更できます。
文字を入力し、表組みに合わせてサイズや位置を調整します。

罫線編集

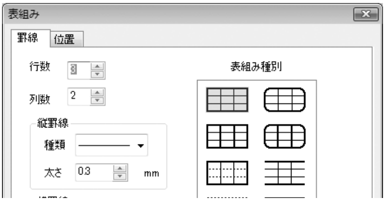
表組みをクリックすると、表組みの周囲にハンドルが表示されます。この状態で内側の罫線をクリックしてハンドルつき状態でドラッグすると位置を変更できます。
さらに、内側の罫線をダブルクリックすると[罫線の変更]画面が表示され、罫線の種類や太さを変更できます。



[表組み] 画面

表組みを右クリックして［プロパティ］を選ぶと［表組み］画面が表示されます。
タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。
設定変更後、[OK］をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

[表組み] タブ



各項目の設定は表組み挿入時と同じです。
参照 ☞P.86「表組みを挿入する」

[位置] タブ

ブロックの座標
.... 表組みブロックの左上の位置を指定します。

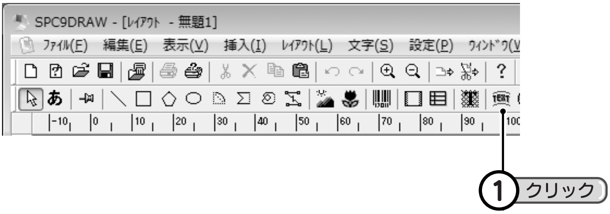
ブロックの大きさ
.... 表組みブロックのサイズを指定します。

アートテキストを挿入する

曲線文字や変形文字を入力できます。

❶ (アートテキスト)をクリックする

［アートテキスト］画面が表示されます。



MEMO

［アートテキスト］画面は、［挿入］ー［アートテキスト］を選択しても開きます。

❷ 文字を入力する

文字を入力し、各項目を設定します。
設定の結果は、右側の文字サンプルで確認できます。

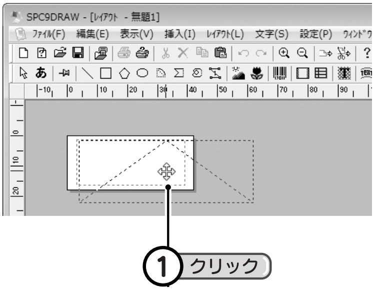
MEMO

- 「文字の向き」を「正立」にすると、文字が常に縦向きになります。「標準」にすると、ベースラインに対して垂直になります。
- ［修飾］タブでは、［文字の設定］画面同様、塗りつぶしなどの修飾を選択できます。
  参照☞P.56「［文字の設定］画面」
- アートテキストは全角で32文字、半角で64文字入力できます。

3 [形状] タブでデザインを選択し、[OK] をクリックする。

カーソルがアートテキストの枠になります。

4 アートテキストを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする。



5 サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

アートテキスト以外の場所をクリックすると、アートテキストのサイズや位置が確定します。

Win・SPC9

イメージファイルを挿入する

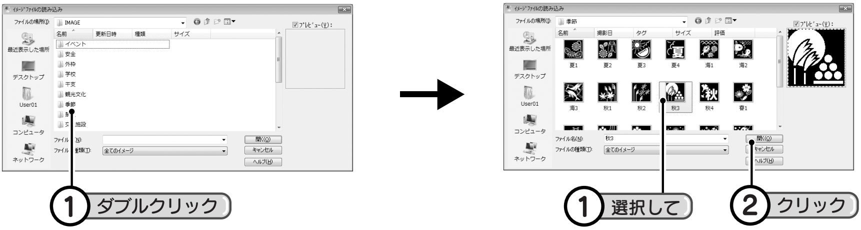
SPC9には、いろいろなイメージファイルがあり、イメージを確認しながら挿入できます。

❶ (イメージ)をクリックする

［イメージファイルの読み込み］
画面が表示されます。

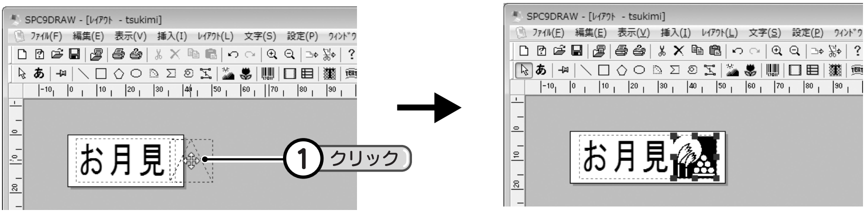
❷ カテゴリをダブルクリックで開き、挿入するイメージを選択し、［開く］をクリックする

カーソルがイメージの枠になります。



❸ イメージを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

イメージが挿入されます。



❹ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
イメージ以外の場所をクリックすると、イメージのサイズや位置が確定します。

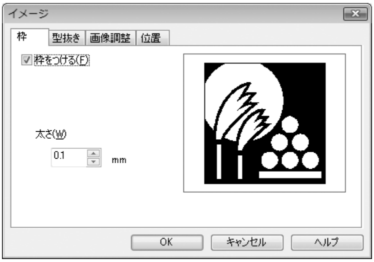
MEMO

- 市販のアプリケーションで作成したイメージファイル（BMP、WMF、EMF、JPG、TIF形式のファイル）を挿入する場合は、手順❷で目的のイメージファイルの保存先とファイル名を指定してください。ただし、場合によりイメージファイルが挿入できないことがあります。イメージは自動的に白黒（2値）の画像に変換されます。
- イメージをダブルクリックして開く［イメージ］画面ではイメージファイルの枠や形などを設定できます。

[イメージ] 画面

イメージをダブルクリックすると、[イメージ] 画面が表示されます。
タブをクリックし、それぞれの項目を指定します。指定の結果は、右側のイメージで確認できます。
指定変更後、[OK] をクリックすると指定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

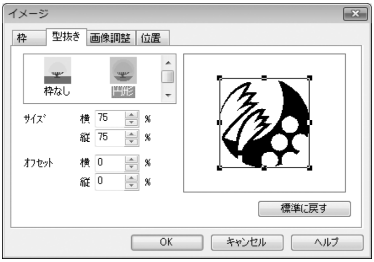
[枠] タブ



枠をつける ... イメージに枠をつけるときにチェックします。

太さ .... 枠の太さを選択します。

[型抜き] タブ



種類 .... 円形・星型・ハートなどイメージを型抜きする図形を選択します。

サイズ .... 型抜き図形の縦横の比率を選択します。

オフセット ... 型抜きの位置を選択します。

[画像調整] タブ

減色方式 .... イメージファイルがカラーデータの場合に2値化(白/黒への減色)方法を選択します。

閾値(いきち) ... カラーデータを近似色減色する場合の白/黒の境界値を選択します。

[位置] タブ

ブロックの座標 .... 図形ブロックの左上の位置を指定します。

ブロックの大きさ .... 図形ブロックのサイズを指定します。

ブロックの回転角 .... 図形ブロックの回転角度を指定します。

◯記号を挿入する

SPC9には、いろいろな記号があり、一覧から選択して挿入できます。

❶ (記号)をクリックする

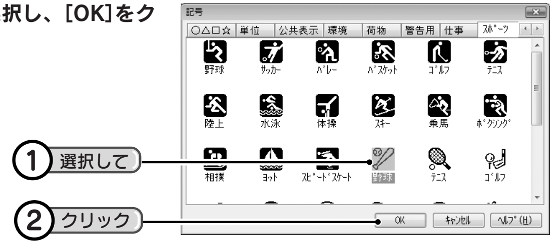
［記号］画面が表示されます。

MEMO

［記号］画面は、［挿入］－［記号］を選択しても開きます。

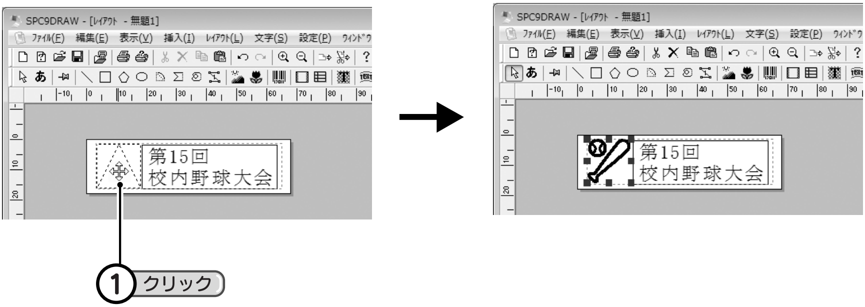
❷ 各タブの中から挿入する記号を選択し、[OK]をクリックする

カーソルが記号の枠になります。



❸ 記号を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

記号が挿入されます。



❹ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

記号以外の場所をクリックすると、記号のサイズや位置が確定します。

◉定型外国語を挿入する

SPC9には、定型文を日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で表示する定型外国語機能があります。日本語の読みを入力し、検索結果から定型文を選ぶだけで、自動的に対応する英語、中国語、韓国語の文章が呼び出されます。さらに定型文によっては記号の入ったラベルになるため、注意ラベルなどの作成に役立ちます。

定型外国語に対応している定型文は、よく使う注意文や表示文、名詞など約800フレーズにおよび、いろいろな用途に利用できます。

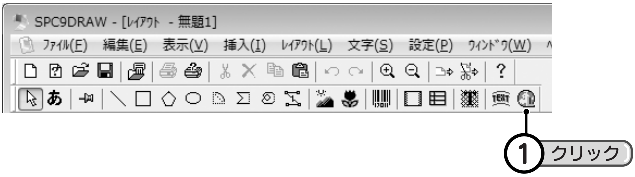
MEMO

- 日本語と英語のテキストブロックはフォントを変更できますが、中国語と韓国語のテキストブロックはフォントを変更できません。
- 日本語と英語のテキストブロックをダブルクリックすれば文章を変更できますが、中国語と韓国語は変更できません。
- レイアウトで縦書きラベルを指定すると右図のようになり、英語部分は縦書きになりません。
- Windows XPで制限付きユーザーの場合、システムにフォントを登録する権限がないため、起動時に「定型外国語機能はお使いになれません」、「韓国語フォントファイルをシステムに登録できません」などのメッセージが表示されます。その場合でもアプリケーションの起動はできますが、定型外国語機能は無効になります。

定形外国語を入力する

❶ （定型外国語）をクリックする

［定型外国語検索］画面が表示されます。

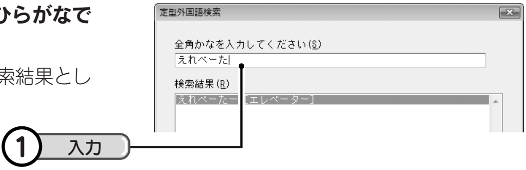


MEMO

［定型外国語検索］画面は、［挿入］ー［定型外国語］を選択しても開きます。

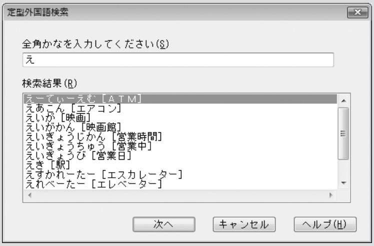
❷ 入力ボックスに検索したい内容を、ひらがなで入力し、確定する

入力された文字に対応する定型文が検索結果として表示されます。



MEMO

- 定型文は、最初の1文字を入力しただけでも検索できます。
- 全角ひらがな以外を入力した場合は定型文を検索できません。
- 入力された文字に対応する定型文がない場合は、検索結果になにも表示されません。



❸ 検索結果の一覧から目的の定型文を選択し、［次へ］をクリックする

［定型外国語確認］画面が表示されます。

❹ 内容を確認し、［OK］をクリックする

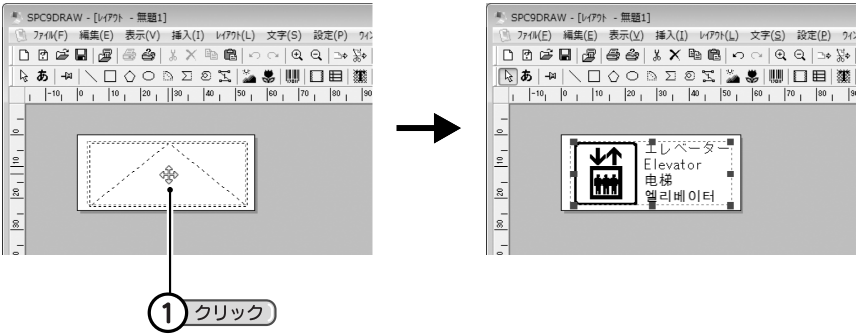
記号つきの定型文ラベルの場合は、記号のあり／なしをチェックボックスで設定できます。
レイアウトでは、ラベル幅と縦書き／横書きを指定できます。
右下のイメージボックスで、レイアウトイメージが確認できます。

MEMO

用意されているレイアウトは24mm、36mm幅ラベル用ですが、挿入後にサイズやレイアウトを変更することで、その他の幅のラベルでも定型外国語を使うことができます。

❺ 定型外国語を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

定型外国語が挿入されます。



❻ サイズや位置を決める

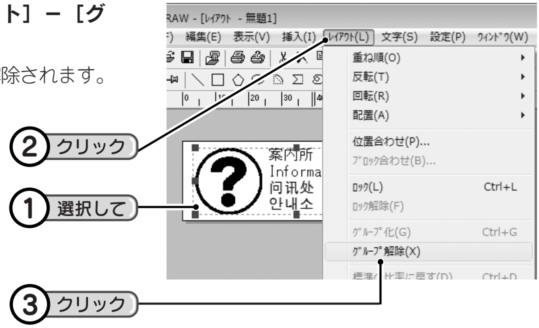
ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
記号以外の場所をクリックすると、記号のサイズや位置が確定します。

定型外国語を編集する

定型外国語は、各言語および記号が1つのブロックにグループ化されています。配置などを編集する場合は、グループ解除をしてから操作します。

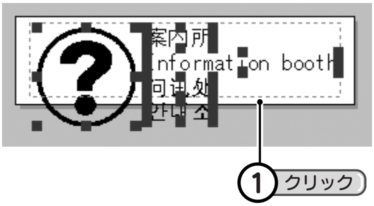
❶ ブロックをクリックし、[レイアウト] ー [グループ解除] をクリックする

選択しているブロックのグループが解除されます。



❷ ブロック以外の場所をクリックする

全ブロックの選択が解除されます。



❸ 編集したいブロックを選択し、編集する

各言語のブロックごとに、文字サイズや太字などの装飾や移動、削除ができます。

MEMO

- 日本語と英語のテキストブロックはフォントを変更できますが、中国語と韓国語のテキストブロックはフォントを変更できません。
- 日本語と英語のテキストブロックをダブルクリックすれば文章を変更できますが、中国語と韓国語は変更できません。
- レイアウトで縦書きラベルを指定すると右図のようになり、英語部分は縦書きになりません。
- グループ化したブロックは、[反転] が選択できません。

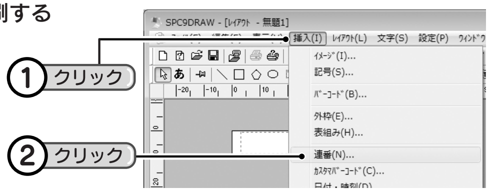
連番を設定する

連番機能で、連続した英数字のラベルを作れます。

例：1、2、3の入ったラベルを連番で印刷する

❶ ［挿入］－［連番］を選択する

［連番］画面が表示されます。



❷ 連番の内容を指定し、［OK］をクリックする

例では、「属性」が「数字」、「書式」が「顧客リスト＃」、「初期値」、「増分」、「繰り返し数」がすべて「1」になります。

①属性	：	「数字」または「アルファベット」を選択します。 ＊「アルファベット」を選択した場合は、「③初期値」と「⑥最大(小)値」に大文字と小文字を混在させないでください。
②書式	：	表示させる数を「＃」で表します。連番以外の文字も入力できます。 ＊連番は最大9桁まで表示できます。 ＊シンボルやイラストは入力できません。 **参照 P.98 MEMO「連番の設定方法について」**
③初期値	：	「①属性」で「数字」を選択した場合は、カウントを始める最初の数字、「アルファベット」を選択した場合は、カウントを始める最初のアルファベットを入力します。
④増分	：	印刷するごとに加算される増分を最大5桁までの半角数字で指定します。マイナス値や小数点も指定できます。 ＊例えば、増分を「1」にすると、1、2、3・・・と数字が1つずつ増え、増分を「－2」にすると、1、－1、－3・・・と数字が2つずつ減ります。
⑤繰り返し数	：	増分するまで同じ内容を何枚印刷するかを半角数字で指定します。
⑥最大(小)値	：	増分が＋の場合は最大値、－の場合は最小値を半角数字で指定します。
⑦フォント	：	連番に使用する文字のフォントを指定します。
⑧サイズ	：	連番に使用する文字のサイズを指定します。 ＊サイズはレイアウト時にも変更できます。
⑨文字配置	：	ブロック範囲内での配置を選択します。
⑩スタイル	：	斜体・太字・下線・取消し線を指定します。

次へ進みます

MEMO

連番の設定方法について

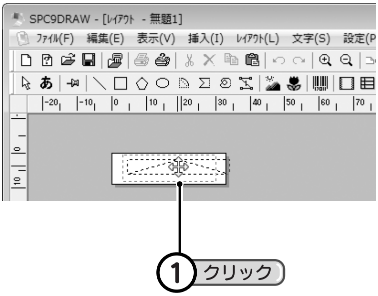
書式の入力内容によって、連番の表示内容を変更することができます。

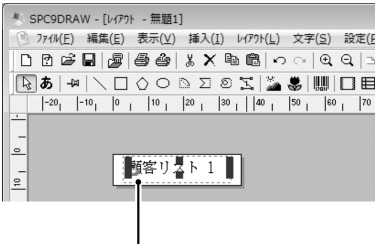
- **連番の前の桁に「0(ゼロ)」を表示させる場合(例：0010)**
  入力する「#」の前に「0」を入力します。
  例)連番「0010」と表示させる場合
  書式：0####　初期値：10

- **カンマを表示させる場合(例：1,000)**
  入力する「#」の間にカンマ(,)を入力します。
  例)連番「1,000」と表示させる場合
  書式：#,###　初期値：1000

- **連番以外の文字と合わせて表示させる場合**
- **桁数制限を必要としない場合**
  (例：LABEL55)
  連番以外の文字と「#」を一緒に入力します。
  また、桁数制限を必要としない場合は「#」を1つだけ入力します。
  例)連番「LABEL55」と表示させる場合
  書式：LABEL#　初期値：55

❸ **連番を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする**
連番が挿入されます。表示される連番の番号は初期値です。





❹ **サイズや位置を決める**
ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
連番以外の場所をクリックすると、連番のサイズや位置が確定します。

❺ 連続印刷を指定して印刷する

「連続連番印刷を行う」にチェックマークをつけ、印刷部数を指定します。
「繰り返し数」と「最大(小)値」で指定した連番ラベルが枚数分印刷されます。

参照 ☞P.49「印刷する」

MEMO

- ここで指定する印刷部数は、印刷する全ての枚数になります。
- ハーフカットONで連番のくり返し回数を2回以上に指定して連続印刷を実行した場合、ハーフカットは自動でOFFになります。

バーコードを挿入する

数字をバーコードにして印刷できます。

❶ (バーコード)をクリックする

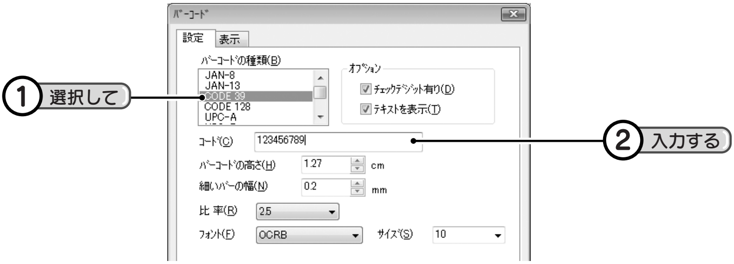
［バーコード］画面が表示されます。

MEMO

［バーコード］画面は、［挿入］－［バーコード］を選択しても開きます。

❷ バーコードの種類を選択し、コードを入力する

「オプション」などの項目も指定します。

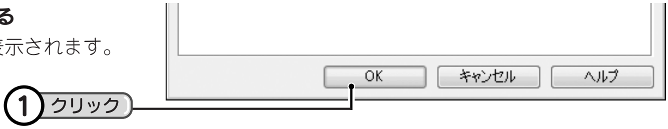


MEMO

- バーコードの種類により設定できる項目が異なります。表示される項目を設定してください。
- バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。
  参照 P.103「バーコードの設定項目」
- QR CODEの場合、携帯電話に対応した電話帳やURLなどを入力する機能があります。また、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。詳細は「QR CODEについて」を参照してください。
  参照 P.102「QR CODEについて」

❸ [OK] をクリックする

マージン確認画面が表示されます。

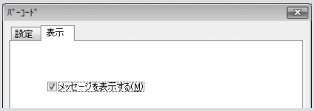


❹ [OK] をクリックする

カーソルがバーコードの枠になります。

MEMO

このメッセージ画面を表示しないように設定する場合は、表示タブのチェックを解除してください。

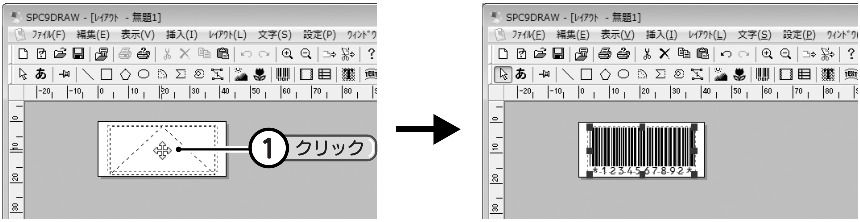


!! 注意 !!

バーコードを挿入するときは、左右に空白(マージン)を確保してください。
QR CODE指定時は上下左右の空白(マージン)が必要になります。

❺ バーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

バーコードが挿入されます。



❻ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
バーコード以外の場所をクリックすると、バーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- バーコードブロックを小さくすると、空白になったり、☒となり、バーコードが表示･印刷されなくなります。バーコードが表示される大きさにしてください。
- バーコードの数値や種類を変更する場合は、バーコードをダブルクリック(またはバーコードを右クリックして [プロパティ] を選択) して [バーコード] 画面を表示し、内容を変更します。
- 印刷したバーコードは、バーコードリーダーで読み取れることを確認してから、ご使用ください。バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒インクのテープのご使用をおすすめします。
- お持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、[バーコード] 画面を表示し、指定を変更するなどして再度確認してください。
- バーコードを回転したり、縦横の比率を極端に変えたり、サイズを小さくすると、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。
- 外側の囲み枠は印刷されません。

QR CODEについて

QR CODEの場合、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。

QR CODEの最大入力可能文字数：

機種	テープ幅	モデル1		モデル2	
		全角	半角	全角	半角
SR950/SR930/SR920/ SR750/SR3900P	36	299	692	346	692
SR720/SR3700P	24	177	690	167	652
SR550/SR530/SR520/ SR520X/SR3500P	24	177	690	167	652

※4mm、6mmテープにはQR CODEを印刷することができません。
※上表は、「誤り訂正レベル＝7%」、「シンボルサイズ＝極小」と設定した場合の文字数です。

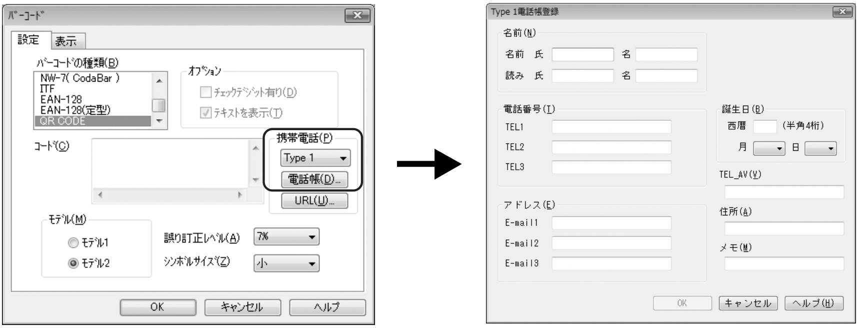
QR CODEには、携帯電話に対応した電話帳やURLなどを入力する機能があります。
それぞれ表示される専用画面からコードの内容を簡単に入力できます。

MEMO

携帯電話向けのQR CODEでは「モデル2」に設定してください。

電話帳の場合：

［バーコード］画面でタイプを選択し、［電話帳］をクリックします。
表示される［電話帳登録］画面で必要な項目を入力します。



MEMO

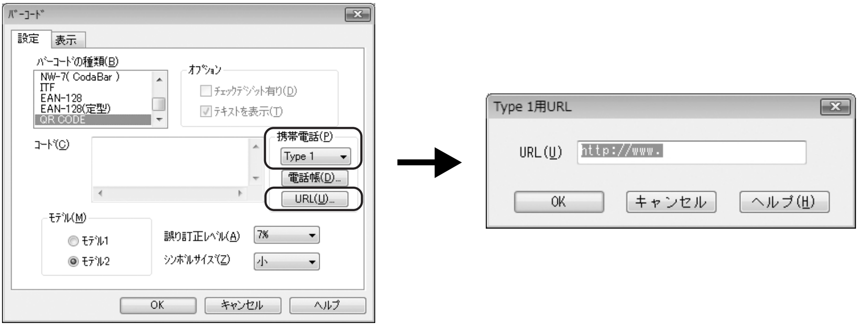
・［Type 1］はdocomo向け、［Type 2］はau向け、［Type 3］はSoftBank向けです（2010年4月現在）。
・誕生日や住所など、携帯電話の機種によっては利用できない場合があります。
・入力できる文字には、以下の制限があります。
　名前の「読み」にはカタカナを入力してください。
　電話番号には半角「#、＊、0～9、-」を入力してください。ただし、Type 1では、「-」が使用できません。Type 2では、「P」が使用できます。
　アドレスには半角英数字を入力してください。また、Type 2、Type 3では、「¥ [ ] " ' ( ) | ` { } < > # , : ;」が使用できません。

各項目に入力できる文字数は以下のとおりです。

項目	文字数
名前	全角12文字、半角24文字 （Type 1のみ 氏：全角6文字、半角12文字 名：全角6文字、半角12文字）
読み	全角12文字、半角24文字 （Type 1のみ 氏：全角6文字、半角12文字 名：全角6文字、半角12文字）
TEL	半角24文字
E-mail	半角64文字（Type 1のみ 半角50文字）
TEL-AV	半角24文字
メモ	全角32文字、半角64文字
住所	全角16文字、半角32文字

URLの場合：

［バーコード］画面でタイプを選択し、［URL］をクリックします。
表示される［URL］画面でURLを入力します。



MEMO

［Type 1］はdocomo向け、［Type 2］はau向け、［Type 3］はSoftBank向けです（2010年4月現在）。

バーコードの設定項目

!! 注意 !!

- 次表の「テキスト」とは、バーコードの下に表示される数字などを指しています。
- 全バーコードに対し、高さは0.1〜100cm、細いバーの幅は0.1〜25mmが指定可能です。但し、バーコードリーダーでの読み取り保証範囲ではありませんのでご注意ください。
- 次表のQR CODEの文字数は、SR950で36mm幅テープカートリッジを使用して、「誤り訂正レベル＝7%」、「シンボルサイズ＝極小」と設定した際に印刷範囲内に収まる最大数です。他の機種をお使いの場合は、印刷範囲内に収まる文字数は異なります。

JAN-8/JAN-13	コード	数字のみ入力可　(チェックデジットは自動計算され付加されます) JAN-8：7桁/JAN-13：12桁
	テキスト	チェックデジットも出力します
Code 39	コード	数字･大文字のアルファベットおよび「.」、「　」(スペース)、「＄」、「/」、「+」、「-」、「%」を入力可　最大128桁
	比率	2.5〜3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できます
Code 128	コード	数字、英字(大文字、小文字)、記号、特殊コードを入力可　最大128桁 特殊コードは右に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「・」と表示されます Code Aのみに対応します
	テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
UPC-A	コード	数字のみ入力可　11桁(チェックデジットは自動計算され付加されます)
	テキスト	チェックデジットも出力します
UPC-E	コード	数字のみ入力可　6桁(チェックデジットは自動計算され付加されます)
	テキスト	チェックデジットも出力します
NW-7(CodaBar)	コード	数字･および「.」、「:」、「＄」、「/」、「+」、「-」、を入力可　最大126桁 コード前後には必ず「A」「B」「C」「D」のいずれかを付加
	比率	2.5〜3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できます
ITF(Interleaved2of5)	コード	数字のみ入力可　最大128桁
	比率	2.5〜3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できます
EAN-128	コード	数字、英字(大文字、小文字)、記号、特殊コードを入力可　最大128桁 特殊コードは右に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「･」と表示されます Code Aのみに対応します
	テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
EAN-128(定型)	コード	数字および「(」、「)」、「-」を入力可　44桁 入力された記号は、テキスト表示にのみ利用しバーコードの生成には利用しません(チェックデジットは自動計算され付加されます) 44桁目のチェックデジットは所定の計算式による入力が必要です
	テキスト	所定の計算式により入力したチェックデジットが表示されます
QR CODE	コード	英数字・記号(半角のみ)・および漢字 モデル1：半角英数のみ最大692文字、全角のみ最大299文字 全角半角混在486文字相当(半角換算) モデル2：半角英数のみ最大692文字、全角のみ最大346文字 全角半角混在486文字相当(半角換算)
	テキスト	表示されません
GS1データバー	コード	オムニディレクショナル、トランケート、スタック、スタック・オムニディレクショナル、リミテッド：数字のみ13桁入力可 エクスパンデッド、エクスパンデッド･スタック：数字最大73桁、英字最大40桁入力可
	テキスト	チェックデジットも出力します

カスタマバーコードを挿入する

郵便番号と住所表示番号を入力してカスタマバーコードを印刷できます。

カスタマバーコードについて

カスタマバーコードは「郵便番号」+「住所表示番号」で指定します。
基本的なルールは、町域名までの住所を「郵便番号」で、町域名以降の住所の数値部分を「住所表示番号」で表わします。

カスタマバーコードの例

＜住所表示が数字のみの場合＞

東京都青梅市河辺町 → 「郵便番号」101-0123

11丁目6番1号　永井タワー601 → 「住所表示番号」11-6-1-601

＜住所表示にアルファベットがある場合＞

神戸市中央区港島中町 → 「郵便番号」678-9012

9丁目7-6　南シティA棟1階1号 → 「住所表示番号」9-7-6A1-1

例：郵便番号「101-0123」、住所表示番号「11-6-1-601」の場合

1 ［挿入］－［カスタマバーコード］を選択する

［カスタマバーコード］画面が表示されます。

2 郵便番号や住所表示番号を入力する

!! 注意 !!

住所表示番号は、数字、大文字のアルファベット、ー(ハイフン)のみ入力してください。

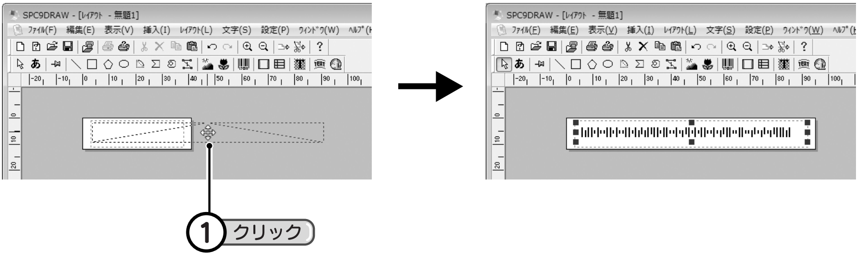
3 ［OK］をクリックする

カーソルがカスタマバーコードの枠になります。

次へ進みます

❹ カスタマバーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

カスタマバーコードが挿入されます。



❺ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

カスタマバーコード以外の場所をクリックすると、カスタマバーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- カスタマバーコードブロックを小さくすると、空白になったり、☒となり、カスタマバーコードが表示・印刷されなくなります。カスタマバーコードが表示される大きさにしてください。
- カスタマバーコードの数値を変更する場合は、カスタマバーコードをダブルクリック（またはカスタマバーコードを選択した状態で［編集］－［プロパティ］を選択）して［カスタマバーコード］画面を表示し、内容を変更します。
- カスタマバーコードは20桁まで入力可能です。

日付・時刻を挿入する

日付や時刻を入力できます。日付の入ったラベルを作るだけでなく、ファイルを開いたときや印刷するときの日付、時刻を印刷するように設定できますので、製造日などを入れるラベルにも便利です。

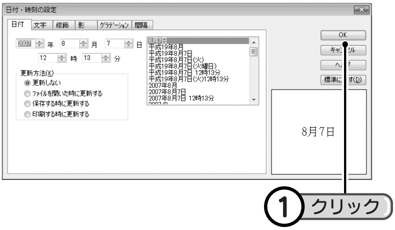
❶ ［挿入］－［日付・時刻］を選択する

［日付・時刻の設定］画面が表示されます。

❷ 日付や時刻の内容を指定し、［OK］をクリックする

日付と時刻、更新方法を選択し、さらに右端のリストから表示形式を選択します。

設定の結果は、右側の文字サンプルで確認できます。

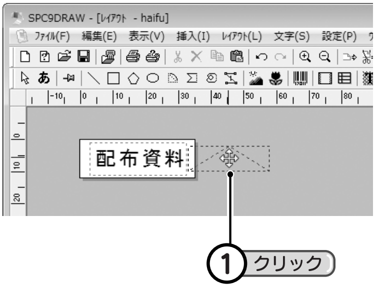


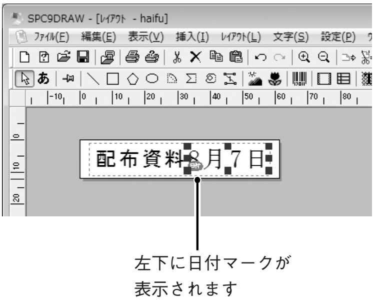
MEMO

- 挿入される日付や時刻はパソコンの設定を利用します。
- ［文字］［修飾］［影］［間隔］の各タブでは、「文字の設定」画面同様、フォントや修飾などの詳細を選択できます。
  参照 P.56「［文字の設定］画面」

❸ 日付・時刻を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

日付・時刻が挿入されます。表示される日付・時刻は現在の値です。





❹ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

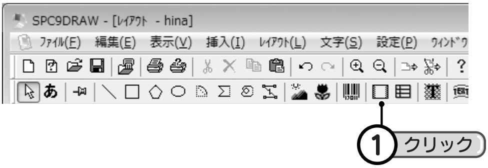
日付・時刻以外の場所をクリックすると、日付・時刻のサイズや位置が確定します。

外枠を挿入する

SPC9には、いろいろな外枠があり、一覧から選択して挿入できます。

1 (外枠)をクリックする

［外枠］画面が表示されます。

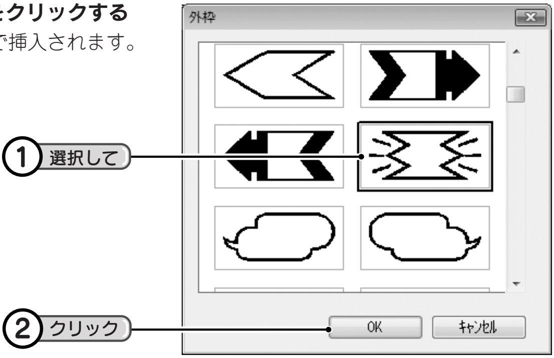


MEMO

［外枠］画面は、［挿入］－［外枠］を選択しても開きます。

2 挿入する外枠を選択し、［OK］をクリックする

外枠がラベル幅いっぱいのサイズで挿入されます。



3 サイズや位置を決定する

ハンドルつきで表示されている状態で、サイズや位置を変更できます。
外枠以外の場所をクリックすると、外枠のサイズや位置が確定します。

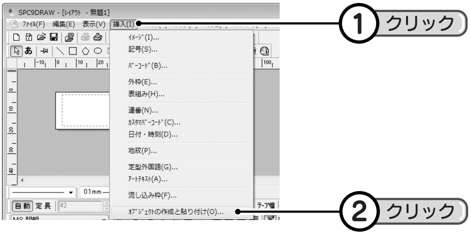
市販のアプリケーションから印刷してみよう

オブジェクトとして取り込む

市販のアプリケーションを呼び出して作成する場合

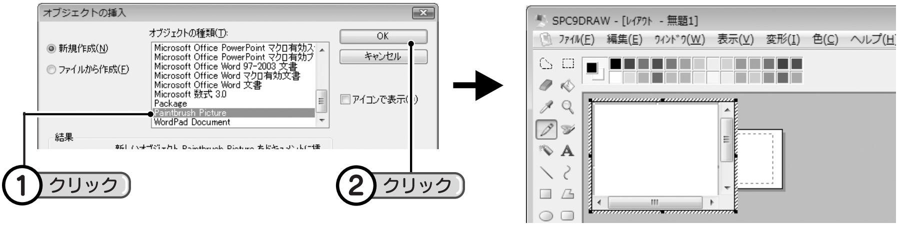
❶ ［挿入］－［オブジェクトの作成と貼り付け］を選択する

［オブジェクトの挿入］画面が表示されます。



❷ 呼び出すソフトを選択し、［OK］をクリックする

SPC9のレイアウト編集画面に選択したアプリケーションが表示されます。

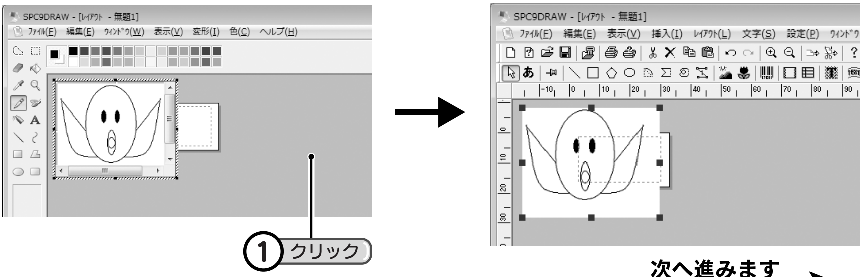


MEMO

- アプリケーションの種類によっては、SPC9のレイアウト編集画面に表示されず、アプリケーションが起動することがあります。
- 「アイコンで表示」にチェックマークをつけると、画面や印刷結果には内容が表示されず、アイコンだけが表示/印刷されます。アイコンリストなどを印刷するときに利用してください。

❸ 呼び出したアプリケーションでデータを作ったあと、オブジェクト以外の部分をクリックする

SPC9の編集画面に戻り、データが貼りつけられます。



次へ進みます

MEMO

手順❷でアプリケーションが起動したときは、データ作成後［ファイル］メニューから［閉じてxxに戻る］や［終了してxxに戻る］などのコマンドを選択してアプリケーションを終了します。アプリケーションで作ったデータがオブジェクトとしてSPC9の編集画面に貼りつけられます。

❹ **サイズや位置を決める**

ハンドルつきで表示されている状態で、サイズや位置を変更できます。
オブジェクト以外の場所をクリックすると、オブジェクトのサイズや位置が確定します。

MEMO

オブジェクトをダブルクリックすると、作ったアプリケーションが呼び出され（手順❸と同じ表示）、内容を変更することができます。

市販のアプリケーションで作成したファイルを読み込む場合

❶ **［挿入］－［オブジェクトの作成と貼り付け］を選択する**

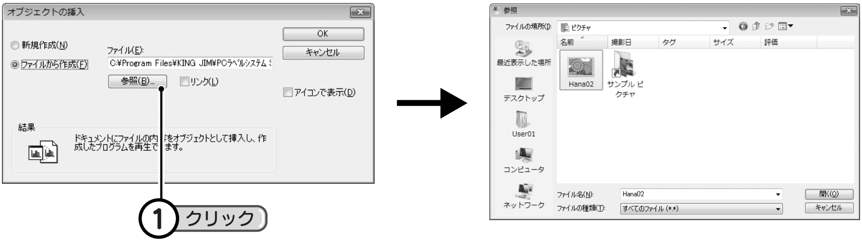
［オブジェクトの挿入］画面が表示されます。

❷ **「ファイルから作成」をクリックする**

ファイルを指定する画面が表示されます。

❸ ［参照］をクリックし、読み込むファイルを指定して［開く］をクリックする

［参照］画面にファイルがない場合は、「ファイルの場所」の ▾ や などをクリックして、目的のファイルを表示させます。

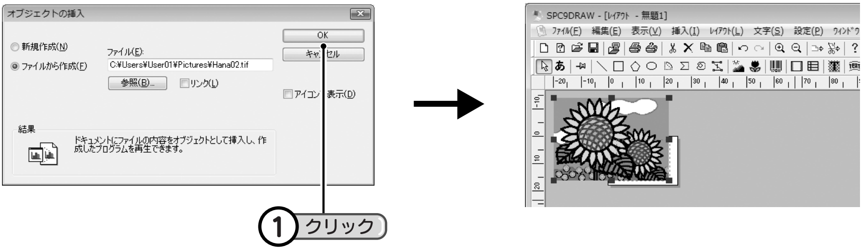


MEMO

- ［オブジェクトの挿入］画面で「リンク」にチェックマークをつけると、もとのファイルとリンクされます。リンクした状態では、参照元のファイルの内容を変更すると取り込んだオブジェクトの内容に反映され、逆に取り込んだオブジェクトの内容を変更すると参照元のファイルの内容にも反映されます。リンク機能の詳細は、Windowsの説明書またはヘルプを参照してください。
- 「アイコンで表示」にチェックマークをつけると、画面には内容が表示されず、アイコンだけが表示され、印刷するときもアイコンが印刷されます。アイコンリストを印刷する場合に利用してください。
- ファイルから読み込む場合、「アイコンで表示」にチェックマークを付けなくてもアイコンだけが表示されることがあります。

❹ ［OK］をクリックする

SPC9のレイアウト編集画面に選択したファイルのデータが貼りつけられます。



❺ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。
オブジェクト以外の場所をクリックすると、オブジェクトのサイズや位置が確定します。

MEMO

- オブジェクトをダブルクリックすると、作ったアプリケーションが呼び出され、内容を変更することができます。
- SPC9で取り込んだオブジェクトを「テプラ」PRO本体で印刷すると、白黒の濃淡で表現されるため、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
- 市販のアプリケーションで作成したイメージファイルは、(イメージ)ボタンで挿入することもできます。P.90の「イメージファイルを挿入する」の手順❷で目的のイメージファイルを指定してください。イメージは自動的に白黒(2値)の画像に変換されます。

市販のアプリケーションから印刷する

「テプラ」PRO本体を指定することで、市販のアプリケーション(Word、Excelなど)からも印刷することができます。市販のアプリケーションを利用するときは、以下の注意をよくお読みになってご使用ください。

MEMO

SPC3やSPC9をインストールすると、テンプレート(Word 97/98/2000/2002/2003/2007用、Excel 97/2000/2002/2003/2007用)がインストール先に保存されます。テンプレートを利用すると、その他の市販アプリケーションを使用するよりも簡単にラベルを作成することができます。

参照 P.113「テンプレートを利用する」

- **プリンタ名には必ず現在パソコンと接続している「テプラ」PRO本体の機種名(例:KING JIM SR930)を指定**してから、文書を作ってください。
- 印刷前には、**必ず「印刷プレビュー」で印刷状態を確認**してください。
- 用紙の設定は、「テプラ」本体にセットしている**テープカートリッジのテープ幅に合わせて**ください。
- **ヘッダーやフッター**は**指定しない**でください。 また、**ページ番号は入れない**でください。
- **文字サイズ**の指定は、**テープ幅に合ったポイント**になるよう調整するか、拡大率を指定してください。
- **文字数の多い文章**はテープの幅に収まらない可能性があります。
- **画像やイラスト**を印刷するときは、**テープ幅に収まるサイズ**になるよう調整してください。レイアウトがわからないときは、「印刷プレビュー」で状態を確認してください。
- 画像やイラストを「テプラ」PRO本体で印刷すると、白黒の濃淡で表現されるため、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
- グラデーションなどの装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。
- アプリケーションによっては正しく印刷できないものがあります。
- 「Word 97/98/2000/2002/2003/2007」、「Excel 97/2000/2002/2003/2007」から印刷するときは、テンプレートを利用することをおすすめします。テンプレートを利用するときは、テンプレートのデータフォルダを**各アプリケーションのテンプレートフォルダにコピー**してください。各アプリケーションのテンプレートフォルダの場所や操作方法については、お使いのアプリケーションの説明書を参照してください。
- 幅の狭いテープで余白値を大きくすると、上下の印刷範囲が狭くなり文字が入力できなくなることがありますので、上下余白の設定は、下表を参考にできるだけ余白を小さく設定してください。
  左右の余白値はお好みで設定してください。

SR950/SR930/SR920/SR750/SR3900P

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	3mm
6mm	0.7mm	3mm
9mm	0.9mm	3mm
12mm	1.1mm	3mm
18mm	1.6mm	3mm
24mm	2.1mm	3mm
36mm	4.7mm	3mm

SR720/SR550/SR530/SR520/SR520X/SR3700P/SR3500P

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	10mm
6mm	0.7mm	10mm
9mm	0.9mm	10mm
12mm	1.1mm	10mm
18mm	1.7mm	10mm
24mm	3.1mm	10mm

* 上下左右の余白値はテープを横置きにした場合です。
縦置きの場合は「上下余白」が「左右余白」、「左右余白」が「上下余白」となります。

* 「上下余白」(縦置きの場合は「左右余白」)を表の値より小さくすることはできません。

* アプリケーションによっては、表の設定で正しく印刷できないものがあります。

テンプレートを利用する

SPC3やSPC9には、Word 97/98/2000/2002/2003/2007用やExcel 97/2000/2002/2003/2007用のテンプレートが用意されており、本機に適応した書式・余白・用紙幅の設定で簡単に文書が作成できます。

テンプレートは、「C(お使いのハードディスクドライブ):¥Program Files(64bit版OSでは、Program Files(x86))¥KING JIM¥PCラベルシステム SPC9 3.6(またはシンプルラベルソフト SPC3 1.0)¥DATA¥TEMPLATE」以下に次の名称で収録されています。

Excel(¥Excel¥機種名(例：SR930))

ファイル名	用途	
4mm テープ.xlt	4mmテープ用	
6mm テープ.xlt	6mmテープ用	
9mm テープ.xlt	9mmテープ用	
12mm テープ.xlt	12mmテープ用	
18mm テープ.xlt	18mmテープ用	
24mm テープ.xlt	24mmテープ用	
36mm テープ.xlt	36mmテープ用	※
24mm テープ(ケーブル用).xlt	24mmテープ用	
36mm テープ(ケーブル用).xlt	36mmテープ用	※

Word(¥Word¥機種名(例：SR930))

ファイル名	用途	
18mmテープ横.dot	18mmテープ横書き用	
18mmテープ縦.dot	18mmテープ縦書き用	
24mmテープ横.dot	24mmテープ横書き用	
24mmテープ縦.dot	24mmテープ縦書き用	
36mmテープ横.dot	36mmテープ横書き用	※
36mmテープ縦.dot	36mmテープ縦書き用	※

※は36mmテープ幅対応機種のみ

テンプレートの使いかた

ここでは、テンプレートの使いかたを、Word 2007を例に説明します。

1. **「C:¥Program Files(64bit版OSでは、Program Files(x86))¥KING JIM¥PCラベルシステム SPC9 3.6(またはシンプルラベルソフト SPC3 1.0)¥DATA¥TEMPLATE」にある「¥Word¥機種名(例:SR930)」フォルダをWord 2007で設定されているユーザーテンプレートフォルダにコピーする**

2. **Word 2007を起動し、[Office]ボタンから[新規作成]を選択する**

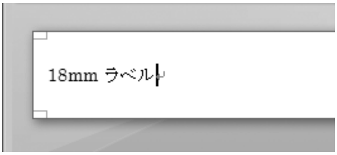
3. **[新しい文書]ダイアログボックスで「マイテンプレート」をクリックする**

4. **「テプラ」PRO本体の機種名のタブ(例：[SR930]タブ)をクリックし、目的のテープを選択し[OK]をクリックする**

   選択したテープ幅の新規文書が開きます。

5. **文字を入力し、印刷する**

   余白の設定値は変更しないでください。



!!注意!!

テンプレートの用紙情報は、「テプラ」PRO本体で印刷できるように設定されています。用紙情報を変更するとうまく印刷できない場合があります。

MEMO

コピー先となるテンプレートフォルダの場所や、アプリケーションの機能および使いかたについては、アプリケーションのバージョンや設定によって異なります。お使いのソフトの説明書をご覧ください。Word 2007の場合、[Wordのオプション] ー [詳細設定] ー [全般/ファイルの場所] でユーザーテンプレートフォルダの場所を参照できます。Word 2002/2003の場合、[ツール] ー [オプション] ー [既定のフォルダ]でユーザーテンプレートフォルダの場所を参照できます。また、「¥Program Files(64bit版OSでは、Program Files(x86))¥KING JIM¥PCラベルシステム SPC9 3.6(またはシンプルラベルソフト SPC3 1.0) ¥ DATA¥TEMPLATE¥Word(または¥Excel)¥機種名(例:SR930)」フォルダにあるデータをダブルクリックしても表示することができます。

Word、Excel の操作、テンプレートファイルの互換性などにつきましては、Microsoftにお問い合わせください。
ラベルソフトの最新情報については、当社ホームページ(アドレス http://www.kingjim.co.jp/)をご覧ください。

データ転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」編

転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」を利用して「テプラ」PRO本体のデータをパソコンでやりとりする方法について説明します。

転送ソフトの特長

転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.3.6は、「テプラ」PRO本体で作成したファイルデータやあて名データ、名前データ、外字データをパソコンに転送し、1つのファイルとして保存することができます。

■ 「テプラ」PRO本体のデータをパソコンで保存できます

- **安心のデータバックアップとして**
  「テプラ」PRO本体のデータをパソコンに保存しておけば、「テプラ」PRO本体のデータが消失した場合も安心です。
- **共用時のデータ入れ換え**
  「テプラ」PRO本体を共用しているときなど、個人ごとのデータをパソコンに保存し、使うときだけ「テプラ」PRO本体に戻せば、データを他の人に見られる心配がありません。
- **他の「テプラ」PRO本体での共用**
  パソコンに保存してあるデータを他の「テプラ」PRO本体に転送すれば、同じデータを共用することができます。また、Eメールなどで送信して、別の部署でデータを共用することも可能です。

■ 「テプラ」PRO本体で作成したあて名、名前データはパソコンでも利用できます

「テプラ」PRO本体で作成したあて名、名前データを「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」などに変換することができます。また、「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」などで作成したあて名や名前用のファイルを「テプラ」PRO本体で利用できるように変換することもできます。

■ 外字がパソコンで編集できます

「テプラ」PRO本体で作成した外字をパソコン上で編集するだけでなく、新たに外字を作成して「テプラ」PRO本体に転送することができます。描画方法はマウスを使うだけなので、とても簡単に作成できます。

!! 注意 !!

- 「テプラ」PRO本体の取扱説明書では、作成したラベルのデータを「ファイル」と呼んでいますが、本書ではパソコンのファイルと区別するため、「データ」と呼んでいます。
- パソコンに接続できない「テプラ」PRO本体は「DATAメモリーシステム SDM9」を利用できません。
- 「DATAメモリーシステム SDM9」は、パソコンに「テプラ」PRO本体を複数接続した状態では通信できません。パソコンに接続する「テプラ」PRO本体は1台にしてご使用ください。
- 複数の「テプラ」PROで利用する場合、同じ機種ではデータの共用ができますが、異なる機種間では共用できない、あるいはデータが使えないことがあります。
- 「DATAメモリーシステム SDM9」は、共有設定されたネットワークプリンタ上の「テプラ」PRO本体には接続できません。

SR3900P、SR3700P、SR3500Pをお使いの方へ：
上記「テプラ」PRO本体では「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.3.6を利用できません。

「DATAメモリーシステム SDM9」の詳しい使用方法は、「DATAメモリーシステム SDM9」のヘルプを参照してください。

Mac OS X･セットアップ編

Mac OS Xで本製品をはじめてお使いの方はここからお読みください。
必要なソフトをMacにインストールします。

Macにインストールする

動作環境

インストールする前に、お使いのMacが以下の条件に合っているかを確認してください。

インストールできるMacの条件

対応OS	Mac OS X 10.6 Snow Leopard/10.5 Leopard/10.4 Tiger （各OSの推奨環境以上でお使いください）
対応Mac	Intelプロセッサを搭載したMac／PowerPC G5/G4/G3 （対応OSが正常に動作するMac）
ハードディスク占有容量	約40MB
ドライブ	CD-ROMドライブ
ディスプレイ	解像度1024 × 768 ピクセル以上
インターフェイス	USB接続

!! 注意 !!

- OS X 10.3以前のOSは未対応です。
- 他のOSのエミュレート環境での動作は保証できません。
- 古いアプリケーションソフトやドライバはあらかじめアンインストールしてから、インストールしてください。
- SMA3の対応機種はSR950、SR750、SR550、SR3700Pです。
- SMA3のアプリケーションとプリンタドライバは必ず同梱されているものをセットで使用してください。異なる組み合わせでは印刷できません。
- パソコン接続専用機以外の機種はUSBケーブルが同梱されていません。別途ご購入ください。
- 印刷中にスクリーンセーバや省エネルギー機能などが開始されると、画面表示や印刷などのソフトウェア動作に問題が発生することがあります。このような場合はスクリーンセーバや省エネルギー機能の設定を解除してお使いください。

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

以下の2つのソフトを順にインストールします。

「シンプルラベルソフト SMA3」	Macでレイアウトしたラベルを「テプラ」PRO本体で印刷するラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ	Macから「テプラ」PRO本体で印刷するために必要なソフトです。

!! 注意 !!

プリンタドライバのインストールが終了するまで「テプラ」PRO本体をMacに接続しないでください。

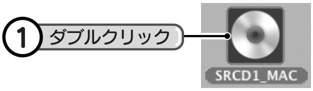
- 本取扱説明書は、CD-ROMに含まれるラベル編集ソフト「シンプルラベルソフト SMA3」、プリンタドライバのインストールや使いかたについて説明する内容になっており、OS XやMacの操作については詳しく説明しておりません。また、OS XやMacについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合はOS XやMacの説明書をお読みください。
- CD-ROMに含まれるプログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。
- インストールにはインストール可能な管理者権限のパスワードが必要です。

1 Macを起動する

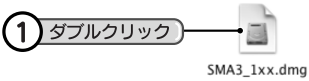
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。
ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

2 同梱のCD-ROMをMacのCD-ROMドライブに入れる

3 デスクトップのCDのアイコンをダブルクリックする

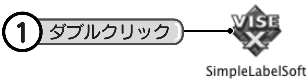


4 [SMA3_1xx.dmg] アイコンをダブルクリックして、ディスクイメージをマウントする



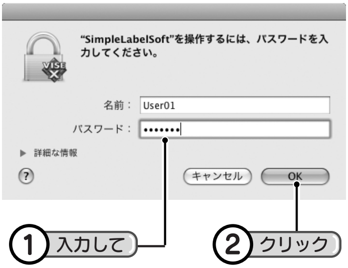
5 [SimpleLabelSoft] アイコンをダブルクリックする

インストールプログラムが起動します。



次へ進みます

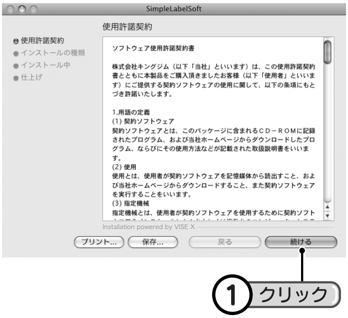
❻ インストール可能な管理者権限のパスワードを入力して［OK］をクリックする



MEMO

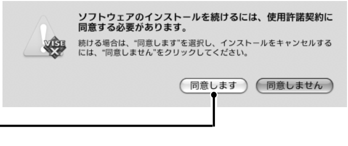
パスワード入力画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

❼ 使用許諾契約の内容を確認して［続ける］をクリックする



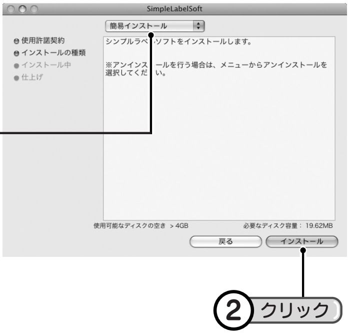
❽ 同意する場合は「同意します」をクリックする

同意しない場合は「同意しません」をクリックしてください。インストールは中止されます。



❾ インストールの種類が「簡易インストール」になっていることを確認して［インストール］をクリックする

インストールが開始されます。



❿［終了］をクリックする

アプリケーションのインストールが終了すると完了を確認する画面が表示されます。

続いてプリンタドライバをインストールします。

⓫ ［Driver］アイコンをダブルクリックする

インストールプログラムが起動します。

MEMO

［Driver］アイコンが表示されていないときは、手順❶〜❹の操作で［SMA3_1xx.dmg］を開いてください。

⓬ 手順❻〜❿の操作を繰り返してプリンタドライバをインストールする

インストールが終了します。

⓭ 「テプラ」PRO本体をMacに接続する

参照 P.20「パソコンと「テプラ」PRO本体を接続する」

!! 注意 !!

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、「CD-ROM」のインストールプログラムで削除してください。
  参照 P.122「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」
- 「テプラ」PRO本体は直接MacのUSBポートに接続して使用してください。USBハブ（キーボード含む）へ接続、AirMacへ接続、ネットワーク環境下での接続では印刷できません。
- 1台のMacに同じ機種の「テプラ」PRO本体を複数接続する場合は、事前にプリンタ名を変更してください。

アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

!! 注意 !!

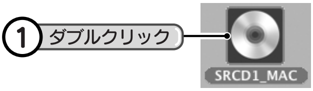
- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、かならず下記に記載の手順でおこなってください。
- プリンタドライバをアンインストールするときは、Macから「テプラ」PRO本体をはずしてください。

❶ **Macを起動する**

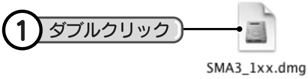
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。
ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

❷ **同梱のCD-ROMをMacのCD-ROMドライブに入れる**

❸ **デスクトップのCDのアイコンをダブルクリックする**

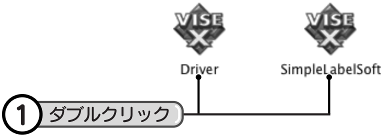


❹ **[SMA3_1xx.dmg] アイコンをダブルクリックして、ディスクイメージをマウントする**

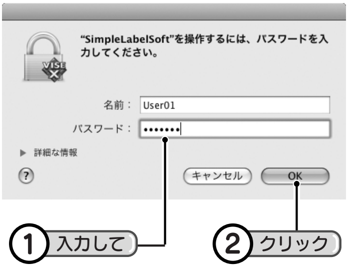


❺ **削除するアイコンをダブルクリックする**

「シンプルラベルソフト SMA3」を削除するときは [SimpleLabelSoft] アイコンを、プリンタドライバを削除するときは [Driver] アイコンをダブルクリックします。



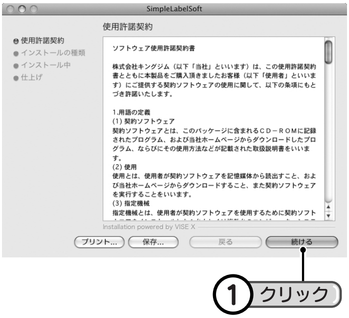
❻ **インストール可能な管理者権限のパスワードを入力して [OK] をクリックする**



MEMO

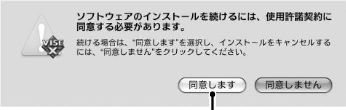
パスワード入力画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

❼ 使用許諾契約の内容を確認して［続ける］をクリックする



❽ 同意する場合は「同意します」をクリックする

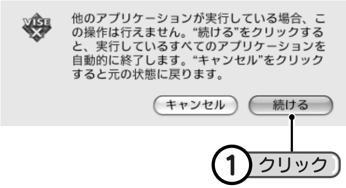
同意しない場合は「同意しません」をクリックしてください。アンインストールは中止されます。



❾ インストールの種類をプルダウンして「アンインストール」を選び、［アンインストール］をクリックする

アンインストールが開始されます。

❿［続ける］をクリックする



⓫［終了］をクリックする

アンインストールが終了すると完了を確認する画面が表示されます。

アプリケーションのアンインストールはここで終了です。

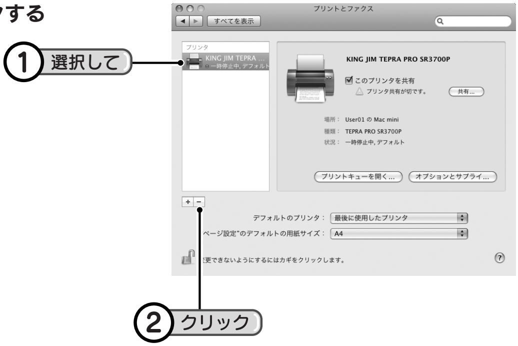
プリンタドライバのアンインストールは引き続き手順⓬に進みます。

次へ進みます →

⑫ ［システム環境設定］－［プリントとファクス］を開く

Appleメニューまたは Dockから開きます。

⑬ 削除する機種を選択し、－をクリックする



⑭ 確認画面で［OK］をクリックする

プリンタが削除されます。

Mac OS X 用「シンプルラベルソフト SMA3」編

Mac OS X 用「シンプルラベルソフト SMA3」でラベルを作るときの操作方法を説明します。

◯「シンプルラベルソフト SMA3」の起動～終了

起動する

❶ **Macを起動する**

❷ **HDD内の［アプリケーション］をダブルクリックする**

❸ **［TEPRA PRO］フォルダをダブルクリックする**

❹ **［シンプルラベルソフト SMA3］をダブルクリックする**

MEMO

プリンタドライバがインストールされていない場合は、「使用できる「テプラ」が見つかりません。」というメッセージが表示されます。「シンプルラベルソフト SMA3」の「機種」設定が「―――」の状態になります。プリンタドライバをインストールしてください。そのあとに、本体を接続するとドライバが「プリントとファクス」に登録され、印刷できるようになります。

SMA3が起動します。

新規作成

❶ (新規)をクリックする

新規ラベルが表示されます。

MEMO

編集中のラベルが保存されていない場合は、保存を確認する画面が表示されます。必要に応じて保存してください。

参照 P.134「文書を保存する」

テープ設定を変更する

テープ設定はツールバーで変更できます。

①機種の選択　：接続している「テプラ」PRO本体名を選択します。

②テープ幅　：「テプラ」PRO本体にセットしているテープ幅を選択します。(テープ幅取得)をクリックすると、「テプラ」PRO本体にセットされているテープ幅を読み取ります。テープ幅は、本体がパソコンリンク状態でMacと接続されているときに読み取れます。

③テープ長　：[固定]にチェックをすると、ラベルの長さを10mm～2300mmの範囲で指定できます。チェックをしない状態では文章の長さに応じてテープの長さが自動的に調節されます。

④余白　：ラベルの前後の余白の長さを設定します。初期設定は「ふつう」です。

MEMO

- テープの長さや幅、余白は、レイアウト編集中でも変更できます。
- テープ設定は［テープの設定］メニューでも変更できます。

ファイルを開く

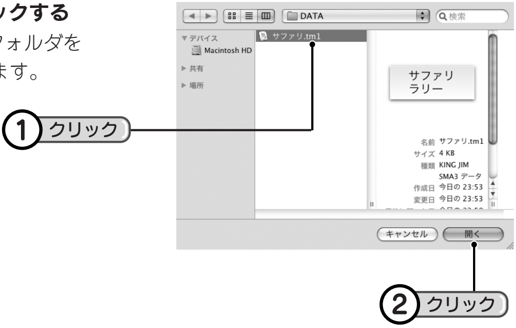
ファイルに保存してあるラベルを表示するには、目的のファイルを開きます。

❶ **(開く)をクリックする**

［開く］画面が表示されます。

❷ **ファイルを指定して［開く］をクリックする**

［開く］画面にファイルがない場合は、フォルダを切り換えて、保存した場所を表示させます。



指定したファイルが表示され編集ができます。

参照 ☞P.131「文字を入力する」

MEMO

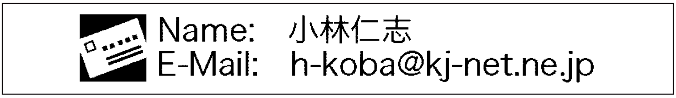
ここでは事前に「サファリ」というファイルを保存していた場合を例に説明しています。初期状態では「サファリ」というファイルは存在しません。

参照 ☞P.134「文書を保存する」

デザインフォームで作成

あらかじめ用意されているデザインフォームを利用すれば、簡単にラベルを作ることができます。
それぞれのデザインフォームのレイアウトは、デザインフォームを選択する画面で確認できます。

例：

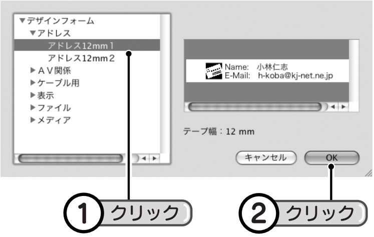


❶ (デザインフォーム)をクリックする

［デザインフォーム］画面が表示されます。

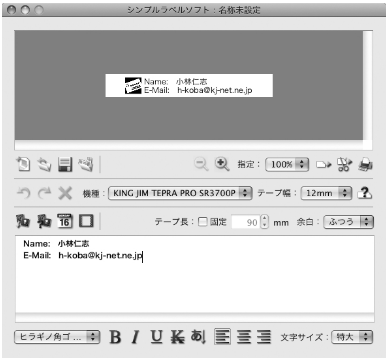
❷ デザインフォームを指定して［OK］をクリックする

分類名の前にある ▶ をクリックすると、その中に含まれている内容が表示されます。



指定したデザインフォームが表示され編集ができます。

参照☞P.131「文字を入力する」



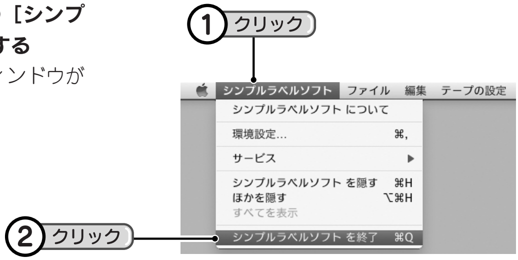
!! 注意 !!

- 「インデックスラベル」の横書きは、上下反転しません。
- 「ケーブル表示ラベル」の入力は1行目のみおこなってください。
- デザインフォームのプレビュー画面はテキストボックスの表示倍率と連動しています。

SMA3を終了する

❶ **［シンプルラベルソフト］メニューの［シンプルラベルソフトを終了］をクリックする**

文書が保存されていれば、そのままウィンドウが閉じます。



MEMO

編集中のラベルが保存されていない場合は、保存を確認する画面が表示されます。必要に応じて保存してください。

参照☞P.134「文書を保存する」

SMA3の基本操作

文字を入力する

❶ テキストボックスに文字を入力する

文字入力後、キーボードの＜スペース＞キーで変換し、＜return＞キーで確定します。
文字確定後＜return＞キーを押すと、次の行に改行され、2行目が入力できます。
ラベルの状態は、プレビューで確認できます。

テキストボックス　　プレビュー

MEMO

- 入力できる最大文字数は1000文字、最大行数は6行です。
- 印刷できる行はテープ幅により異なります。プレビューで確認しながら入力してください。
- 表示されるプレビューはイメージです。実際のラベルとは多少の誤差があります。
- 文字を縦書きにするときは、あ（縦書き）をクリックします。

印刷する

❶ **「テプラ」PRO本体に印刷するサイズに合ったテープカートリッジがセットされていることを確認する**

❷ **「テプラ」PRO本体をパソコンリンク状態にする**

SR3700Pは、パソコンとUSB接続することで印刷可能状態になります。
キーボードのある「テプラ」PRO本体の場合は［パソコンリンク］または［PCリンク］ボタンを操作します。

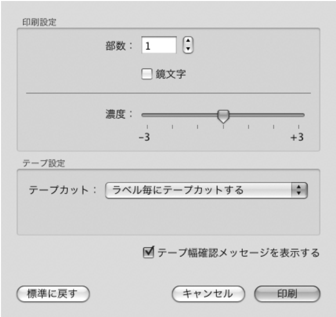
❸ **(印刷)をクリックする**

印刷の設定画面が表示されます。

❹ **印刷の設定画面の内容を確認する**

必要に応じて設定を変更します。

項目	内容
部数	同じラベルを複数印刷するときは、「部数」を変更します。
鏡文字	イメージを左右反転します。アイロン転写テープで印刷する場合はチェックしてください。
濃度	印刷の濃さを調整します。濃くしたいときは設定を＋側にしてください。
テープカット	テープの自動カットをラベル1枚ごとにするか、1回の印刷ごとにするか、カットしないかを指定できます。
テープ幅確認メッセージを表示する	印刷時に表示されるテープ確認メッセージを表示するか、しないかを指定できます。



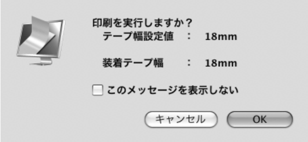
MEMO

- 耐熱ラベル、透明つや消しラベルを使用するとき、あるいは上質紙ラベル、アイロン転写テープ、グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は、「濃度」を「+3」に設定してください。
- 耐熱ラベル、アイロンラベル、マグネットテープ、透明つや消しラベルを使用するときは、「テープカットしない」に設定してください。

❺［印刷］をクリックする

テープ幅確認のメッセージが表示されます。

❻テープ幅を確認する



テープ幅設定値　：　設定したテープ幅が表示されます。

装着テープ幅　：「テプラ」PRO本体に装着されているテープカートリッジのテープ幅が表示されます。

「テープ幅設定値」と「装着テープ幅」が異なっていると、正確な印刷結果が得られません。そのときは［キャンセル］をクリックして［テープ幅設定値］と［装着テープ幅］が揃うように設定してください。

MEMO

手順❹で「テープ幅確認メッセージを表示する」にチェックをしていない場合は、テープ幅確認のメッセージは表示されません。

テープ幅確認メッセージは、表示しないように設定することもできます。表示しないように設定するには、手順❹の印刷設定画面で「テープ幅確認メッセージを表示する」のチェックマークをはずしてください。

❼［OK］をクリックする

印刷を開始します。

!! 注意 !!

- 本機の印刷中や、テープ送り時にACアダプタ・USBケーブルをはずさないでください。印刷やテープ送りができなくなります。
- 長いラベルを印刷する場合、印刷開始までに時間がかかる場合があります。
- 塗りつぶしの多いイラスト、文字などによっては印刷するとカスレが発生することがあります。
- 印刷中にスクリーンセーバや省エネルギー機能などが開始されると、画面表示や印刷などのソフトウェア動作に問題が発生することがあります。このような場合はスクリーンセーバや省エネルギー機能の設定を解除してお使いください。

文書を保存する

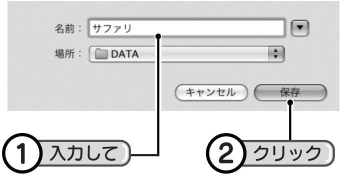
作ったラベルの保存は、現在のファイル名でそのまま保存する「上書き保存」と、別のファイル名を入力して保存する「名前を付けて保存」があります。

❶ （保存）をクリックする

ファイルを開いた場所に同じ名前で上書き保存します。新規に作成したラベルの場合は、［別名で保存］画面が表示されます（手順❷へ）。

❷ ファイル名を入力して［保存］をクリックする

作った文書が保存されます。
「名前」の▼をクリックして、保存場所を変更することもできます。



MEMO

別のファイル名で保存する場合は、［ファイル］ー［別名で保存］を選択します。［別名で保存］を選択すると、手順❷の［別名で保存］画面が表示され、ファイルの名前を変更できます。

!! 注意 !!

上書き保存をおこなうと、開いたもとのファイルの内容が書き換わります。充分に確認してから上書き保存をしてください。

文字の編集

入力した文字は、書体やサイズを変更したり、装飾することができます。

書体を変更する

1 ［フォント］のリストから書体を選択する
文書全体の書体が変更されます。

選択する

指定した書体に変わります

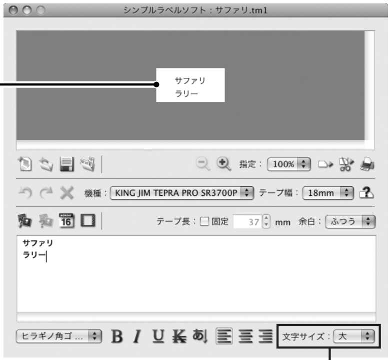
!! 注意 !!

- インストールされている書体が指定できますが、書体によっては文字サイズ、印刷位置、字形などが乱れることがあります。
- また後から追加した書体などの一部の書体については、正常に使用できない場合があります。

文字サイズを変更する

1 ［文字サイズ］のリストからサイズを選択する
文書全体の文字サイズが変更されます。

指定したサイズに
変わります



選択する

装飾を指定する

❶ 機能ボタンで装飾を指定する

文書全体の装飾が変更されます。

ボタン	内容
B（太字）	テキスト全体を太字にします。
I（斜体）	テキスト全体を斜体にします。
U（下線）	テキスト全体に下線をつけます。
K（取消し線）	テキスト全体に二重線の取り消し線をつけます。
あ（縦書き）	テキスト全体を縦書きにします。
≡（左寄せ）	テキストを左側基準で配置します。複数行のテキストは左寄せになります。テープ長を固定した場合、入力したテキストがテープ長を越えるとテキストの右端が切れます。
≡（中央合わせ）	テキストをラベルの中央に配置します。複数行のテキストも中央合わせになります。テープ長を固定した場合、入力したテキストがテープ長を越えるとテキストの両端が切れます。
≡（右寄せ）	テキストを右側基準で配置します。複数行のテキストは右寄せになります。テープ長を固定した場合、入力したテキストがテープ長を越えるとテキストの左端が切れます。

MEMO

- 機能のボタンを再度クリックすると装飾を解除します。
- 書体によっては、字形などが乱れることがあります。

イメージファイルを挿入する

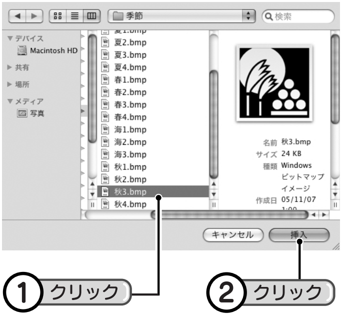
SMA3には、いろいろなイメージファイルがあり、イメージを確認しながら挿入できます。

イメージを挿入する

❶ （イメージの挿入）をクリックする

［ファイルの読み込み］画面が表示されます。

❷ カテゴリをダブルクリックで開き、挿入するイメージを選択し、［挿入］をクリックする



MEMO

イメージファイルは、インストールされたフォルダ［TEPRA PRO］－［SMA3 1.0］－［IMAGE］内に収録されています。

指定したイメージファイルがラベルの左端に挿入され、プレビューで確認できます。
イメージの位置は［イメージ設定］で変更します。

MEMO

市販のアプリケーションで作成したイメージファイル（BMP、JPEG、PDF、PNG、TIFF形式のファイル）を挿入する場合は、手順❷で目的のイメージファイルの保存先とファイル名を指定してください。ただし、場合によりイメージファイルが挿入できないことがあります。イメージは自動的に白黒（2値）の画像に変換されます。

Mac・SMA3

イメージの設定を変える

イメージの位置などは、挿入後に［イメージ設定］画面で変更できます。

❶ (イメージ設定)をクリックする

［イメージ設定］画面が表示されます。

❷ 設定を変更する

項目	内容
イメージの位置	ラベル上のイメージの位置を設定します。
白黒しきい値	カラーデータを減色する場合の白/黒の境界値を選択します。

❸ ［OK］をクリックする

MEMO

- イメージは1つだけ選択できます。
- イメージを削除するときは、「イメージの位置」を「なし」にします。
- イメージのサイズは、テープ幅に合わせて自動的に調整されます。
- イメージを「全体」に設定するとラベル全体にイメージを配置します。「イメージの挿入」で選択できる「外枠」の合成に最適です。

日付・時刻を挿入する

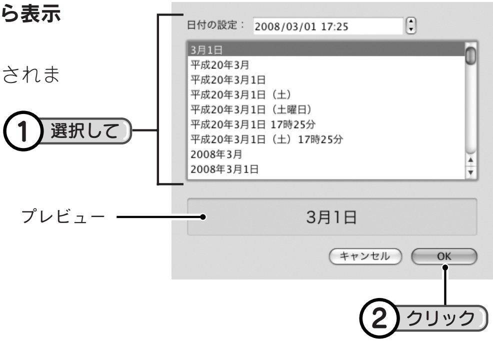
日付や時刻を入力するときは、日時の数字を入力するだけで形式を選択して入力できます。

❶ 日付を入力したい位置に文字カーソルを移動し、16（日付の挿入）をクリックする

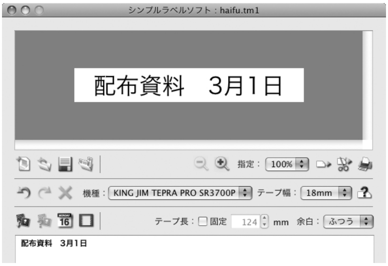
［日付の挿入］画面が表示されます。

❷「日付の設定」で日時を指定し、一覧から表示形式を選択し、［OK］をクリックする

入力されるイメージがプレビューに表示されます。



指定した日付のテキストが文字カーソルの位置に挿入されます。



MEMO

- 最初に表示される日付や時刻はMacの設定を利用します。
- 入力後は通常のテキストとして編集できます。

●外枠を挿入する

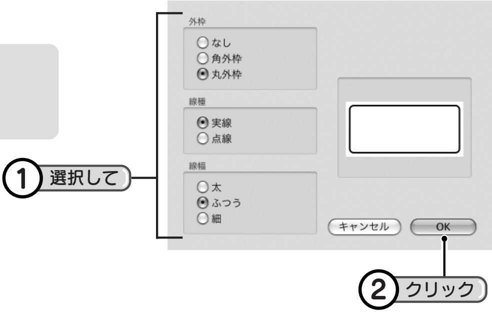
2種類の形状の外枠が選択できます。

❶ 🔲（外枠）をクリックする

［外枠］画面が表示されます。

❷ 設定を変更し、［OK］をクリックする

> **MEMO**
> 外枠を削除するときは「なし」を選択します。



指定した外枠がラベルに挿入され、プレビューで確認できます。

> **MEMO**
> この他、イメージファイルとして挿入できる外枠もあります。
> 参照☞P.137「イメージファイルを挿入する」

市販のアプリケーションから印刷する

市販のアプリケーションを利用する

プリンタに「テプラ」PRO本体を指定することで、市販のアプリケーションからも印刷できます。市販のアプリケーションを利用するときは、以下の注意をよくお読みになってご使用ください。

- **プリンタ名には必ず現在Macと接続している「テプラ」PRO 本体の機種名（例：KING JIM TEPRA PRO SR3700P）を指定**し、**用紙設定でラベルの幅と長さを指定**してから、文書を作ってください。
- 用紙の設定は、「テプラ」本体にセットしている**テープカートリッジのテープ幅に合わせて**ください。
- 印刷前には、**必ず「印刷プレビュー」で印刷状態を確認**してください。
- **ヘッダーやフッター**は**指定しない**でください。 また、**ページ番号は入れない**でください。
- **文字サイズ**の指定は、**テープ幅に合ったポイント**になるよう調整するか、拡大率を指定してください。
- **文字数の多い文章**はテープの幅に収まらない可能性があります。
- **画像やイラスト**を印刷するときは、**テープ幅に収まるサイズ**になるよう調整してください。レイアウトがわからないときは、「印刷プレビュー」で状態を確認してください。
- 画像やイラストを「テプラ」PRO本体で印刷すると、白黒の濃淡で表現されるため、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
- グラデーションなどの装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。
- アプリケーションによっては正しく印刷できないものがあります。
- 「Word」、「Excel」から印刷するときは、テンプレートを利用することをおすすめします。テンプレートは［アプリケーション］フォルダー［TEPRA PRO］－［SMA3 1.0］－［TEMPLATE］の中に保存されています。各アプリケーションの操作方法については、お使いのアプリケーションの説明書を参照してください。
- 幅の狭いテープで余白値を大きくすると、上下の印刷範囲が狭くなり文字が入力できなくなることがありますので、上下余白の設定は、下表を参考にできるだけ余白を小さく設定してください。
  左右の余白値はお好みで設定してください。

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	10mm
6mm	0.7mm	10mm
9mm	0.9mm	10mm
12mm	1.1mm	10mm
18mm	1.7mm	10mm
24mm	3.1mm	10mm

* 上下左右の余白値はテープを横置きにした場合です。
縦置きの場合は「上下余白」が「左右余白」、「左右余白」が「上下余白」となります。
* 「上下余白」（縦置きの場合は「左右余白」）を表の値より小さくすることはできません。
* アプリケーションによっては、表の設定で正しく印刷できないものがあります。

テンプレートを利用する

SMA3には、Word 2001/2004/2008やExcel 2001/2004/2008で使用できるテンプレートが用意されており、本機に適応した書式・余白・用紙幅の設定で簡単に文書が作成できます。

テンプレートは、[アプリケーション] フォルダー [TEPRA PRO] ー [SMA3 1.0] ー [TEMPLATE] 以下に次の名称で収録されています。

Excel（[Excel] ー [機種名]（例：SR3700P））

ファイル名	用途
4mmテープ.xlt	4mmテープ用
6mmテープ.xlt	6mmテープ用
9mmテープ.xlt	9mmテープ用
12mmテープ.xlt	12mmテープ用
18mmテープ.xlt	18mmテープ用
24mmテープ.xlt	24mmテープ用

Word（[Word] ー [機種名]（例：SR3700P））

ファイル名	用途
18mmテープ横.dot	18mmテープ横書き用
18mmテープ縦.dot	18mmテープ縦書き用
24mmテープ横.dot	24mmテープ横書き用
24mmテープ横.dot	24mmテープ縦書き用

- 各アプリケーションから新規作成するときに目的のテンプレートを選択してください。
- [TEMPLATE] フォルダにあるデータをダブルクリックしても使用できます。

MEMO

アプリケーションの機能および使いかたについては、アプリケーションのバージョンや設定によって異なります。お使いのアプリケーションの説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テンプレートの用紙情報は、「テプラ」PRO本体で印刷できるように設定されています。用紙情報を変更するとうまく印刷できない場合があります。

Word、Excel の操作、テンプレートファイルの互換性などにつきましては、Microsoftにお問い合わせください。
ラベルソフトの最新情報については、当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

付録

テープカートリッジを使いわける

耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・ケーブル表示ラベル・グレー文字ラベルをご使用の際は下記の設定でお使いください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル	Windowsはプリンタドライバで、Macは印刷時の設定画面で「テープカットしない」に設定してください。 **参照** P.132「印刷する」（Mac）
ハーフカッター使用禁止（ハーフカッター機能搭載機種のみ）	耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・ケーブル表示ラベル	Windowsのプリンタドライバで「ハーフカットしない」に設定してください。
オートトリマー使用禁止（オートトリマー機能搭載機種のみ）	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・上質紙ラベル	「テプラ」PRO本体のオートトリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル・透明つや消しラベル	Windowsはプリンタドライバで、Macは印刷時の設定画面で「濃度」を「＋3」に設定してください。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル	印刷がカスレた場合、Windowsはプリンタドライバで、Macは印刷時の設定画面で「濃度」を「＋3」に設定してください。 **参照** P.132「印刷する」（Mac）

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。

故障かな？ と思ったら

動作しない、印刷できないなど、問題が発生した場合は、次の項目を確認してください。

印刷を実行しても「テプラ」PRO本体が動作しない

パソコンの画面にエラーメッセージが表示されていませんか？

エラーが発生すると印刷できません。エラーメッセージの内容を確認してください。

プリンタドライバがインストールされていますか？

プリンタドライバがインストールされていないと印刷できません。
プリンタドライバをインストールしてください。
また、インストール後に、パソコンを再起動しなかった場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。プリンタドライバをインストールしなおしてください。

参照☞P.8「パソコンにインストールする」
参照☞P.118「Macにインストールする」

「テプラ」PRO本体が正しくパソコンに接続されていますか？

パソコンと適切なケーブルで接続されているか確認してください。

参照☞P.20「パソコンと「テプラ」PRO本体を接続する」

「テプラ」PRO本体がパソコンリンク状態になっていますか？

「テプラ」PRO本体のディスプレイに「パソコン通信可能」または「PC通信可能」が点滅しているか確認してください。

参照☞P.28「印刷する」（Windows・SPC3）
参照☞P.49「印刷する」（Windows・SPC9）
参照☞P.132「印刷する」（Mac）

正しいプリンタ名が選択されていますか？

他のプリンタを指定していると正しく印刷されません。選択しているプリンタ名を確認してください。

参照☞P.28「印刷する」（Windows・SPC3）
参照☞P.49「印刷する」（Windows・SPC9）
参照☞P.132「印刷する」（Mac）

プリンタがオフラインになっていませんか？（Windowsのみ）

「テプラ」PRO本体を接続していない状態でパソコンを起動すると、「プリンタの設定」がオフラインになることがあります。接続しても印刷できないときは、以下の方法でオフラインの状態を解除してください。
Windows Vista/XPは、［プリンタ］（Windows XPは［プリンタとFAX］）画面で機種名を選択し、右クリックで表示されるメニューから「プリンタをオフラインにする」を指定し、チェックをはずしてください。
Windows 7は、［デバイスとプリンター］画面で機種名を右クリックして「印刷ジョブの表示」を選択し、表示される「印刷ジョブ」画面で［プリンター］－［プリンターをオフラインで使用する］を指定し、チェックをはずしてください。

機能が選択できない

カーソルがになっていませんか？（SPC9のみ）

カーソルがのときは機能を選択できません。

対象範囲を選択していますか？（Windowsのみ）

SPC3で文字を装飾する場合は、変更したい部分の文字をテキストボックスで範囲選択してください。
SPC9の場合は、変更したいブロックを選択してください。

文字がきちんと印刷されない

テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR36C、SR24C）または、ヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

きれいに印刷できない

印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドが汚れると印刷がカスレることがあります。「テプラ」PRO本体の取扱説明書を参照して、印刷ヘッドをクリーニングしてください。

途中までしか印刷されない

テープカートリッジの残りがありますか？

新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷しなおしてください。

ラベル印刷後、自動カットされない

テープカットを「テープカットしない」に指定していませんか？

「テープカット」を「テープカットしない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこないません。Windowsはプリンタドライバで、Macは印刷時の設定画面で設定を確認してください。
参照 P.132「印刷する」（Mac）

カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 巻末「アフターサービスについて」

文字が欠けたり、カスレる

テープカートリッジは正しく装着されていますか？

テープがたるんでいると、文字が欠けたり、カスレたりすることがあります。
テープ送りをして、たるみを取ってください。

印刷位置がおかしい

アプリケーションで正しく設定していますか？

市販のアプリケーションを使用している場合、アプリケーションによっては、余白の設定や印刷位置の調整が必要なものがあります。「印刷プレビュー」機能などで印刷状態を確認してください。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 巻末「アフターサービスについて」

ハーフカットがうまくできない

ハーフカットは「する」になっていますか？

Windowsのプリンタドライバのオプションタブでハーフカットを設定してください。

テープカット「しない」になっていませんか？

Windowsのプリンタドライバで、テープカット「しない」になっている場合はハーフカットも動作しません。

ハーフカットの刃が磨耗してませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッター刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 巻末「アフターサービスについて」

定型外国語がきちんと表示されない（SPC9のみ）

ひらがなで入力していますか？

定型外国語はひらがなで入力してから検索してください。漢字などに変換すると検索できません。
参照 P.93「定型外国語を挿入する」

索引

英数字

CD-ROM .... 8、118
Code39/128（バーコード） 104
CSV形式（CSVファイル） .... 70、74
DATAメモリーシステム SDM9 .... 9、115
DOT形式（テンプレート） .... 113、142
EAN-128（バーコード） 104
Excel .... 70、112、142
ITF（バーコード） 104
JAN-8/JAN-13（バーコード） 104
Mac
　～の条件 118
NW-7（バーコード） 104
PCラベルシステム SPC9 .... 9、37
QR CODE（バーコード） .... 102、104
SPC5 DRAWファイル .... 42、52
SPC9 DRAW3ファイル .... 42、52
SPC9 DRAWファイル .... 42、52
TE1形式（SPC3ファイル） 30
TPA形式（SPC9 DRAWファイル） .... 42、52
TPB形式（SPC5 DRAWファイル） .... 42、52
TPC形式（SPC9 DRAW3ファイル） .... 42、52
TXT形式（テキストファイル） 70
Type（QR CODE） 103
UPC-A（バーコード） 104
UPC-E（バーコード） 104
URL 103
USB .... 8、118
USBケーブル 20
Word .... 112、142
XLSX形式（Excel2007ファイル） 70
XLS形式（Excelファイル） 70
XLT形式（テンプレート） .... 113、142

あ

アートテキスト 88
アフターサービスについて .... 巻末
アプリケーション .... 9、16、119、122
淡文字（文字の設定） 55
アンインストール .... 16、122
　アプリケーション .... 16、122
　プリンタドライバ .... 16、122
安全上のご注意 1
アンダーライン（下線） .... 32、55、136
閾値（イメージファイル） 91
位置
　～合わせ（レイアウト） 65
　[イメージ]画面 91
　[図形の設定]画面 60
　[文字の設定]画面 57
　～を揃える 64
一番後ろへ（レイアウト） 64
移動する
　ブロックを～ 61
イメージデータ
　データ作成 77
イメージの位置 .... 34、138
イメージファイル .... 33、90、137
　データ作成 78
色（テープイメージ） 40
印刷 .... 28、49、68、132
　～チェック .... 69、73
　データ流し込み 73
　貼り合わせラベル 82
　～部数 .... 28、50、132
　連番 99
印刷範囲 40
　～を指定する 82
インストール .... 8、118
　アプリケーション .... 10、119
　プリンタドライバ .... 13、121
上書き保存 .... 30、52、134
英語 93
円（図形） 48
扇形（図形） .... 48、60
オブジェクト 109
オプション
　バーコード 100
折り返して表示する（文字の設定） 56

か

回転 62
回転角
　[イメージ]画面 91
　[図形の設定]画面 60
　[文字の設定]画面 57
ガイドライン 40
鏡文字 132
角丸正方形 60
角丸長方形 60

影（文字の設定） ..... 55、56
重ね順 64
カスタマバーコード 105
　データ作成 ..... 77、79
下線 ..... 32、55、136
画像調整（イメージファイル） 91
形抜き（イメージファイル） 91
間隔（文字の設定） 57
環境設定 ..... 57、60
韓国語 93
記号 92
機種の選択 ..... 23、39、127
起動
　SMA3の～ 126
　SPC3の～ 22
　SPC9の～ 38
基本操作
　SMA3 131
　SPC3 27
　SPC9 46
行
　～番号 69
　～を削除する 75
　～を挿入する 75
　～を並び換える 76
行間 57
共有プリンタ 19
曲線文字 88
均等割付（文字の設定） 55
グラデーション（文字の設定） 57
繰り返し数 97
グリッド 40
グループ化 66
形状
　アートテキスト 89
　図形 60
罫線編集（表組み） 87
減色方法（イメージファイル） 91
更新方法（日付・時刻） 107
項目（デザインフォーム） 43
コード（バーコード） 100
故障かな？と思ったら 145
固定（テープ長） 127
コピーする 61

さ

サイズ
　文字の設定 56
　連番 97
最大（小）値 97
削除
　図形 67
　ソフトウェア（アンインストール） ..... 16、122
座標
　[イメージ]画面 91
　[図形の設定]画面 60
　[文字の設定]画面 57
左右中央 65
四角形（図形） 48
時刻 ..... 35、107、139
字体 56
自動（テープ長） ..... 39、41
市販のアプリケーション ..... 109、112、141
地紋 ..... 40、83
斜体 ..... 32、55、136
修飾（文字の設定） ..... 32、55、136
住所表示番号 105
自由線（図形） 48
終了
　SMA3を～ 130
　SPC3を～ 26
　SPC9を～ 45
種類
　新規作成 39
　バーコード 100
紹介
　ラベルソフトの～ 3
条件
　Mac 118
　パソコン 8
初期値（連番） 97
書式（連番） 97
書体を変更する ..... 31、53、135
白黒しきい値（イメージファイル） ..... 34、138
白抜き（文字の設定） 55
新規作成
　SMA3 127
　SPC3 23
　SPC9 39
　データ作成 69
シンプルラベルソフト SMA3 ..... 119、125
シンプルラベルソフト SPC3 ..... 9、21
垂直等間隔 65
垂直反転 63
水平等間隔 65
水平反転 63
図形
　～ツールバー 58

～の設定 ... 59
～のプロパティ ... 60
～の編集 ... 58
～ブロック ... 58
～を描画する ... 48
スタイル
文字の設定 ... 56
連番 ... 97
すべてを保存する ... 74
正多角形 ... 48、60
接続 ... 20
設定項目（バーコード） ... 103
セットアップ ... 7、117
セル ... 69
線（図形） ... 58、59
～の種類 ... 48、58、59
～の太さ ... 48、58、59
～を変更する ... 58
線種（図形） ... 48
前面に移動（レイアウト） ... 64
創作地紋 ... 83
装飾を指定する ... 32、55、136
増分 ... 97
ソート ... 76
属性
列～ ... 69
連番 ... 97
外枠 ... 36、108、140
揃える（位置） ... 64

た

縦書き ... 32、55、136
縦（テープの置き方） ... 39
チェックデジット ... 104
中央合わせ ... 32、55、136
中国語 ... 93
直線（図形） ... 48
ツールボタン（図形） ... 48
定型外国語 ... 93
定長（テープ長） ... 39、41
データ
～作成画面 ... 68、69
～作成と流し込み ... 68
～流し込み ... 72
～のみ保存する ... 74
～読み込み ... 70
～を入力する ... 71
～を開く ... 70
～を編集する ... 75
～を保存 ... 74
データ作成ウィンドウを開く ... 40
テープ
～イメージ（色） ... 40
～種類 ... 39
～設定画面 ... 41
～設定ツールバー ... 23、41、127
～長 ... 23、39、41、127
～の置き方 ... 39
～の設定 ... 23、39、41、127
～幅 ... 23、39、41、81、127
テープカートリッジを使い分ける ... 144
テープカット ... 28、49、132
テープの端（配置） ... 65
テープ幅確認 ... 28、50、132
テキスト
～以外のデータ ... 77
～データ ... 77
～ブロック ... 46
～ボックス（→ブロック） ... 46
テキストボックス ... 27、131
デザインの選択 ... 25、43、129
デザインフォーム ... 25、43、129
テプラ「PRO」本体から読み取る ... 39
転送ソフト（SDM9） ... 9、115
テンプレート ... 112、113、142
取消し線 ... 32、55、136

な

流し込み ... 68
流し込み枠 ... 72
名前を付けて保存 ... 30、52、134
並び（ソート） ... 76
二重線 ... 32、55、136
入力（文字） ... 27、46、131
入力ボックス ... 69、71
塗りつぶし（図形） ... 48、58、59
ネットワーク管理者 ... 15
濃度 ... 28、132

は

バーコード ... 100
データ作成 ... 77、79
ハーフカット ... 144
配置 ... 65
背面に移動（レイアウト） ... 64
倍率（テープ設定） ... 39、81
パソコン
～の条件 ... 8
～の接続 ... 20
パソコンリンク ... 20

貼り合わせ印刷 81
貼り付け 62
反転 63
ハンドル .... 46、48
左寄せ .... 32、55、136
日付 .... 35、107、139
描画（図形） 48
表組み 86
　～のプロパティ 87
表示形式（日付・時刻） .... 35、107、139
開く（ファイル）
　SMA3 128
　SPC3 24
　SPC9 42
ファイルを開く
　SMA3 128
　SPC3 24
　SPC9 42
フォント .... 31、53、56、135
　～サイズ .... 31、54、135
　連番 97
複写する 61
縁取り（文字の設定） 55
太さ（輪郭） 56
太字 .... 32、55、136
プリンタ機種 50
プリンタドライバ .... 9、16、119、122
プリンタプロパティ 49
ブロック合わせ 65
ブロックを編集する 61
文書を保存 .... 30、52、134
分類（デザインフォーム） .... 25、43、129
ベースライン（文字の設定） 57
ベジェ曲線（図形） 48
変形文字 88
保存 .... 30、52、134
　データ流し込み 74

ま

右寄せ .... 32、55、136
文字
　～サイズを変更する .... 31、54、135
　～ツールバー .... 31、53、55、135
　～の色 56
　～の設定 .... 32、55、56、136
　～の編集 .... 31、53、135
　配置（連番） 97
　～を入力する .... 27、46、131
文字間 57
文字地紋 85

や

矢印 59
優先順位（ソート） 76
郵便番号 105
横書き（文字の設定） 55
横（テープの置き方） 39
余白 .... 23、39、41、127

ら

ラベルソフトの紹介 3
ラベル編集ソフト .... 9、119
　SMA3 125
　SPC3 21
　SPC9 37
輪郭をつける（文字の設定） 56
リンク 111
レイアウト
　～編集画面 68
列
　～を削除する 75
　～を挿入する 75
　～属性 69
　～属性を変更する 77
　～タイトル 69
　～タイトル入力 80
　～のタイトルを変更する 80
連続印刷 99
連続直線（図形） 48
連番 97
ロック 66

わ

枠（イメージファイル） 91

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本体およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、**お買い上げ販売店**、**「テプラ」取扱店**または**当社お客様相談室**にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

FAXからの場合　0120-79-8102
携帯電話からの場合　0570-06-4759
※通話料お客様負担
受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前9時～午後5時30分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、**お買い上げ販売店**、**「テプラ」取扱店**、または下記へお問い合わせください。

株式会社キングジム　〒101-0031　東京都千代田区東神田2丁目10番18号

札幌	TEL 011-811-0593	名古屋	TEL 052-935-4038
仙台	TEL 022-236-4110	大阪	TEL 06-6263-1654
さいたま	TEL 048-651-0198	広島	TEL 082-291-8458
本社	TEL 0570-06-4759	福岡	TEL 092-413-3977

株式会社キングビジネスサポート
TEL 03-3864-5646
FAX 03-3864-5647

「テプラ」PRO ラベルソフトSRCD1取扱説明書
（対象機種：SR950、SR930、SR920、SR750、SR720、SR550、SR530、SR520、SR520X、SR3900P、SR3700P、SR3500P）
2010年 8月 第5版

ラベルソフト SRCD1
取扱説明書

KING JIM

・お問い合わせ
フリーダイヤル（全国共通） ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107
受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9時～午後5時30分
ホームページアドレス http://www.kingjim.co.jp/

©2008 Printed in China PAT.04-⑤